

文学部専門科目

国際教養学科

(授業科目名五十音順)

科目名	OCP I 事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ留学への準備	実習	
担当者	E. ウィリアムズ		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。

[授業概要]

本授業では、留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。
米国ピッツァー大学短期留学で英語を学ぶとともに、ホームステイ、現地学生との文化交流、地域でのボランティア活動やインターンシップを行う体験学習プログラムの事前学習である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

- 1、オリエンテーション/ガイダンス:前期授業内容の説明、留学とは何?
- 2、異文化コミュニケーションと異文化理解
- 3、ホームステイとアメリカのファミリーについて
- 4、アメリカの大学生活について & Pitzer College
- 5、アメリカ事情:社会と政治
- 6、アメリカ事情:文化と多民族国家
- 7、カリフォルニアについて:社会と食文化
- 8、カリフォルニアについて:政治と若者の政治的な活動
- 9、カリフォルニアについて:多文化、多民族国家、言葉
- 10、米国に関する研究調査①
- 11、米国に関する研究調査②
- 12、米国に関する研究調査③
- 13、口頭発表とまとめ

科目名	OCP I 事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	アメリカ留学への準備	実習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[成績評価方法] 課題(50%)、レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし 随時、資料を配布します。</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし 随時、資料を配布します。</p>			

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	カナダ留学への準備	実習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(4週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(4週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。 カナダのダグラスカレッジ短期留学で英語を学ぶとともに、ホームステイ、現地学生との文化交流、地域でのボランティア活動、多文化体験学習プログラムの事前学習を行う。さらに、英語の能力をブラッシュアップする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション/ガイダンス:前期授業内容の説明、留学とは何? 2.異文化コミュニケーションと国際交流 3.ホームステイ、異文化理解、カルチャーショック 4.カナダ事情:基礎知識、社会 5.カナダ事情:文化と多民族国家 6.バンクーバー事情:社会と多民族国家 7.バンクーバー事情:教育と若者の政治活動 8.バンクーバー事情:大学生活、ディスカッションスキル 9.ダグラスカレッジの紹介、オンライン異文化交流 10.カナダに関する研究調査の準備とディスカッション① 11.カナダに関する研究調査の準備とディスカッション② 12.カナダに関する研究調査の準備とディスカッション③ 13.口頭発表とまとめ</p>			

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	カナダ留学への準備	実習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[成績評価方法] 課題(50%)、レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性 /自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画力・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし 随時、資料を配布します。</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし 随時、資料を配布します。</p>			

S44002 [LGH2-025]

科目名	OCP I 事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	海外の大学の学生と交流しSDGsについて知ろう	実習	
担当者	野口 和美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。

[授業概要]

本授業では、留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。国連持続可能な開発目標2030(SDGs)について、新聞記事でみる事例、実際の地域単位(企業や教育機関、NGOなど)の事例、海外の事例について調査し、可能な限り現場(フィールド)に足を運び、国内や海外の大学との交流を行う予定である。zoomを活用する。後期(2023年2月~3月予定のスタディツアーに向けて、危機管理や留意点、事前に国内外のSDGsについて調査し、プレゼンテーションを行う。なお、どのSDGsの分野に焦点をあてるのかは、教員と学生と相談して決める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

SDGsの各目標に関する基本的事項は事前に調べる。海外の大学の学生との交流においては、担当教員のガイダンスの下、プレゼンテーションの練習を実施する。使用言語は、日英語の半々である。各回、予習復習に4時間程度。

[授業計画]

1. 持続可能な開発のための目標(Sustainable Development Goals:SDGs)
2. SDGsの成り立ちと変遷
3. 新聞記事で見るSDGsの事例 ①
4. 新聞記事で見るSDGsの事例 ②
5. 新聞記事で見るSDGsの事例 ③
6. 地域(企業やNGO)のSDGs事例 ①
7. 地域(企業やNGO)のSDGs事例 ②
8. 地域(企業やNGO)のSDGs事例 ③(学外講師と担当教員との協働授業)
9. 海外のSDGs事例 ①
10. 海外のSDGs事例 ②
11. 海外のSDGs事例 ③(学外講師と担当教員との協働授業)
12. 学生の調査に基づいた発表
13. 学生の調査に基づいた発表

科目名	OCP I 事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	海外の大学の学生と交流しSDGsについて知ろう	実習	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] 課題(50%)、レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 授業中に必要な資料を配布する。</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業中に必要な参考資料を配布する。</p>			

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	ドイツ研究	実習	
担当者	室屋 安孝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。

[授業概要]

本授業では、留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。同時に、生活のさまざまな場面で使われるドイツ語を基礎的な会話を中心に学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

1. ガイダンス:ドイツ文化への誘い
2. ドイツ語会話とドイツの芸術
3. ドイツ語会話とドイツのものづくり
4. ドイツ語会話とドイツ人の国民性
5. ドイツ語会話とドイツ人のライフスタイル
6. ドイツ語会話とドイツの大学
7. ドイツ語会話と女性の社会進出
8. ドイツ語会話とジェンダー論
9. ドイツ語会話とドイツのエネルギー政策
10. ドイツ語会話とドイツの多文化主義
11. ドイツ語会話とドイツの戦後史
12. ドイツ語会話と日独交流史
13. まとめ・ドイツ文化についての復習

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	ドイツ研究	実習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[成績評価方法] 課題 (50%)、レポート (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 現代ドイツを知るための67章(第3版) 著者名:浜本隆志、高橋憲編著 出版社:明石書店 (9784750000000)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S44021 [LGH2-025]

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	韓国留学(3週間)の準備	実習	
担当者	高城 建人		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。

[授業概要]

本授業では、留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。
3週間の韓国・高麗大学語学研修への準備学習として、現代韓国についての基礎的な事柄を学ぶ。適宜、映画などの映像資料も用いる予定である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

1. イントロダクション、韓国政治①(統治制度)
2. 韓国政治②(政党)
3. 韓国の文化①(食文化)
4. 韓国の文化②(教育)
5. 韓国の文化③(ドラマ、音楽、映画などポップカルチャー)
6. 韓国の文化④(伝統行事)
7. 韓国の社会①(人口状況)
8. 韓国の社会②(経済状況)
9. 韓国の社会③(社会福祉状況)
10. 近年韓国で起きている争点①(地域感情)
11. 近年韓国で起きている争点②(ジェンダー問題)
12. 発表①
13. 発表②

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	韓国留学(3週間)の準備	実習	
担当者	高城 建人		
<p>[成績評価方法] 課題(50%)、レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 現代韓国を知るための60章(第2版) 著者名:石坂浩一、福島みのり 出版社:明石書店 (9784750000000) 知りたくなる韓国 著者名:新城道彦ほか 出版社:有斐閣 (9784640000000) 韓国朝鮮を知る事典 著者名:伊藤亜人ほか 出版社:平凡社 (9784580000000) 「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし 著者名:加藤圭木監修、一橋大学社会学部加藤圭木ゼミナール編 出版社:大月書店 (9784270000000) 韓国学ハンマダン 著者名:緒方義広・古橋綾編 出版社:岩波書店 (9784000000000)</p>			

S44031 [LGH2-025]

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(3週間)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(3週間)もしくは国内外でのスタディツアーに行く前の準備学習を行う。 OCP I (静宜大学)に参加する学生が履修する科目である。</p> <p>台湾に関する基本的な知識を学び、協定校・静宜大学(台湾)との交流イベントで自ら現地の雰囲気を経験する。事前学習で学んだ内容を通して、台湾の留学中に取り組みたいテーマを探る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 授業内容は主に以下の三点になる: ①台湾社会に関する基本的な知識を学ぶ。 ②静宜大学の学生との文化交流体験授業も行い、現地学生との交流を通して、台湾に関する様々な議題を学習する。 ③留学に際しての準備を整える。</p> <p>※交流授業は、口語練習・文化現象討論が中心になる。</p> <p>【授業のスケジュール】 1. オリエンテーション 2. 台湾の地理 3. 台湾の歴史 4. 台湾の社会 5. 留学の準備(パスポート、申請書類、保険) 6. 研究計画書作成 7. 『台湾を知るための72章』Ⅲ社会 第26章～32章の輪読 8. 『台湾を知るための72章』Ⅲ政治と経済 第16章～19章、第22章～25章の輪読 9. 『台湾を知るための72章』Ⅲ社会 第35章～第41章の輪読 10. 文化交流体験(静宜大学と共催) 11. 『台湾を知るための72章』Ⅳ文化と芸術 第47章～51章の輪読 12. 『台湾を知るための72章』Ⅳ文化と芸術 第52章～56章の輪読 13. 留学計画のプレゼンテーション</p> <p>※「留学計画のプレゼンテーション」はパワポ発表になります。</p>			

科目名	OCP I 事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(3週間)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
<p>[成績評価方法]</p> <p>1. 輪読・演習発表の評価 30%</p> <p>2. 授業後課題 20%</p> <p>3. レポート(2000字) 50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>課題のフィードバックはmanabaを通して行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>『台湾を知るための72章』 著者名:赤松美和子、若松大祐編著 出版社:明石書店 (978-4750353777) 授業中に適宜、追加資料を配布する 著者名:なし</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>適宜に資料を配布する。</p>			

S44041 [LGH2-025]

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	中国留学(半年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。 OCPⅢ(華南師範大学)に参加する学生が履修する科目である。</p> <p>中国に関する基本的な知識を学び、協定校・華南師範大学(中国)との交流イベントで自ら現地の雰囲気を経験する。事前学習で学んだ内容を通して、中国の留学中に取り組みたいテーマを探る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 授業内容は主に以下の三点になる：</p> <p>①中国社会に関する基本的な知識を学ぶ。 ②華南師範大学、もしくは静宜大学の学生との文化交流体験授業も行い、現地学生との交流を通して、台湾に関する様々な議題を学習する。 ③留学に際しての準備を整える。</p> <p>【授業のスケジュール】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 中国事情(1)地理 3. 中国事情(2)歴史 4. 留学の準備(パスポート、申請書類、健康証明、財務状況証明、保険) 5. 留学中に取り組んでみたいテーマ(研究計画書作成) 6. 留学準備:パスポート、申請書類、保険 7. 研究計画書作成 8. 中国事情(5)社会 9. 中国事情(6)社会 10. 文化交流体験 11. 中国事情(7)食文化 12. 中国事情(8)大学事情 13. 留学計画のプレゼンテーション <p>※「留学計画のプレゼンテーション」はパワポ発表になります。</p>			

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	中国留学(半年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
<p>[成績評価方法]</p> <p>1. 輪読・演習発表の評価 30%</p> <p>2. 授業後課題 20%</p> <p>2. レポート(2500字) 50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>課題のフィードバックはmanabaを通して行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)]</p> <p>中国超入門 これだけは知っておきたい中国社会の基礎知識 著者名:ニューズヴィーク日本版編集部 出版社:CCCメディアハウス□9784480000000 必要に応じて適宜に配布する。</p> <p>[参考書 (ISBN)]</p> <p>DVDで学ぶ中国文化 著者名:洪潔清 出版社:金星堂 (9784760000000)</p>			

S44051 [LGH2-029]

科目名	OCPⅢ事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	中国留学(1年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。 OCPⅢ(華南師範大学; 1年)に参加する学生が履修する科目である。</p> <p>中国と台湾に関する基本的な知識を学び、協定校との交流イベントで自ら現地の雰囲気を経験する。事前学習で学んだ内容を通して、中国や台湾の長期留学中に取り組みたいテーマを探る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 授業内容は主に以下の三点になる:</p> <p>①中国社会に関する基本的な知識を学ぶ。 ②華南師範大学、もしくは静宜大学の学生との文化交流体験授業も行い、現地学生との交流を通して、台湾に関する様々な議題を学習する。 ③留学に際しての準備を整える。</p> <p>【授業のスケジュール】 1. オリエンテーション 2. 中国事情(1)地理 3. 中国事情(2)歴史 4. 留学の準備(パスポート、申請書類、健康証明、財務状況証明、保険) 5. 留学中に取り組んでみたいテーマ(研究計画書作成) 6. 留学準備:パスポート、申請書類、保険 7. 研究計画書作成 8. 中国事情(5)社会 9. 中国事情(6)社会 10. 文化交流体験 11. 中国事情(7)食文化 12. 中国事情(8)大学事情 13. 留学計画のプレゼンテーション</p> <p>※「留学計画のプレゼンテーション」はパワポ発表になります。</p>			

科目名	OCPⅢ事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	中国留学(1年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
<p>[成績評価方法]</p> <p>1. 輪読・演習発表の評価 30%</p> <p>2. 授業後課題 20%</p> <p>3. レポート(3000字) 50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>manabaもしくはメール</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>『中国超入門』これだけは知っておきたい中国社会の基礎知識 著者名:ニューズヴィーク日本版編集部 出版社:株式会社版急コミュニケーションズ (978-4484122281)</p> <p>『台湾を知るための72章』著者名:赤松美和子など 出版社:明石書店 (978-4750353777)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>なし</p>			

S44061 [LGH2-029]

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(半年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。

[授業概要]

本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。
OCPⅢ(静宜大学)に参加する学生が履修する科目である。

台湾に関する基本的な知識を学び、協定校・静宜大学(台湾)との交流イベントで自ら現地の雰囲気を経験する。事前学習で学んだ内容を通して、台湾の留学中に取り組みたいテーマを探る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

授業内容は主に以下の三点になる:

- ①台湾社会に関する基本的な知識を学ぶ。
- ②静宜大学の学生との文化交流体験授業も行い、現地学生との交流を通して、台湾に関する様々な議題を学習する。
- ③留学に際しての準備を整える。

【授業のスケジュール】

- 1.オリエンテーション
- 2.台湾事情(1)『台湾物語』第一章「1」
- 3.台湾事情(2)Ⅲ社会 26章～32章
- 4.留学の準備(パスポート、申請書類、健康証明、財務状況証明、保険)
- 5.留学中に取り組んでみたいテーマ(研究計画書作成)
- 6.台湾事情(3)Ⅲ社会 33章、『台湾物語』第二章「1」「2」
- 7.台湾事情(4)Ⅳ文化 54章、『台湾物語』第三章
- 8.台湾事情(5)『台湾物語』第五章
- 9.台湾事情(6)Ⅳ文化 52章、『台湾物語』第六章
- 10.文化交流体験
- 11.台湾事情(7)Ⅲ社会 41章、Ⅳ文化 51章
- 12.台湾事情(8)Ⅲ社会 38章～39章
- 13.留学計画のプレゼンテーション

※「台湾事情」の授業は、テキストの輪読形式で行います。予習したうえ、説明・質問・討論したい事項をご用意ください。

※「留学計画のプレゼンテーション」は、パワポ発表になります。

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(半年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
<p>[成績評価方法]</p> <p>1. 輪読・演習発表の評価 30%</p> <p>2. 授業後課題 20%</p> <p>3. レポート(2500字) 50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>課題のフィードバックはmanabaを通して行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>台湾を知るための72章 著者名:赤松美和子、若松大祐 編著 出版社:筑摩書房 (9784750000000)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>台湾物語 著者名:新井一二三 出版社:明石書店 (978-4480016812)</p>			

S44071 [LGH2-029]

科目名	OCPⅢ事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(1年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。

[授業概要]

本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。
OCPⅢ(静宜大学, 1年)に参加する学生が履修する科目である。

台湾と中国に関する基本的な知識を学び、協定校との交流イベントで自ら現地の雰囲気を経験する。事前学習で学んだ内容を通して、台湾と中国の長期留学中に取り組みたいテーマを探る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

授業内容は主に以下の三点になる:

- ①台湾社会に関する基本的な知識を学ぶ。
- ②静宜大学の学生との文化交流体験授業も行い、現地学生との交流を通して、台湾に関する様々な議題を学習する。
- ③留学に際しての準備を整える。

【授業のスケジュール】

- 1.オリエンテーション
- 2.台湾事情(1)『台湾物語』第一章「1」
- 3.台湾事情(2)Ⅲ社会 26章～32章
- 4.留学の準備(パスポート、申請書類、健康証明、財務状況証明、保険)
- 5.留学中に取り組んでみたいテーマ(研究計画書作成)
- 6.台湾事情(3)Ⅲ社会 33章、『台湾物語』第二章「1」「2」
- 7.台湾事情(4)Ⅳ文化 54章、『台湾物語』第三章
- 8.台湾事情(5)『台湾物語』第五章
- 9.台湾事情(6)Ⅳ文化 52章、『台湾物語』第六章
- 10.文化交流体験
- 11.台湾事情(7)Ⅲ社会 41章、Ⅳ文化 51章
- 12.台湾事情(8)Ⅲ社会 38章～39章
- 13.留学計画のプレゼンテーション

※「台湾事情」の授業は、テキストの輪読形式で行います。予習したうえ、説明・質問・討論したい事項をご用意ください。

※「留学計画のプレゼンテーション」は、パワポ発表になります。

科目名	OCPⅢ事前学習	後期	2 単位
サブタイトル	台湾留学(1年)の準備	実習	
担当者	莊 千慧		
<p>[成績評価方法]</p> <p>1. 輪読・演習発表の評価 30%</p> <p>2. 授業後課題 20%</p> <p>3. レポート(2500字) 50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>manabaもしくはメール</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>『台湾を知るための72章』 著者名:赤松美和子、若松大祐編著 出版社:明石書店 (978-4750353777)</p> <p>『中国超入門』これだけは知っておきたい中国社会の基礎知識 著者名:ニューズウィーク日本版編集部 出版社:CCCメディアハウス (9780000000000)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>なし</p>			

S44081 [LGH2-029]

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	タイに関する基礎知識	実習	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。 タイの国家や周辺地域、そして市民社会について学んだ後、研究調査の準備を行う。 チェンマイ大学とオンラインを通して、授業を行うこともある。更に、研究準備段階で、SDGs(持続可能な開発目標)の目標について、タイでの実施状況についてレポートを書くことも行う。現地研修での準備を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 予習復習に4時間程度かけること。毎回の授業準備のために課題を出します。</p> <p>[授業計画] 1)チェンマイ大学プログラムについて (野口) 2)チェンマイについて ① (野口) 3)チェンマイについて ② (野口) 4)チェンマイについて ③ (野口) 5)チェンマイについて ④ (野口) 6)チェンマイについて ⑤ (野口) 7)タイ語 ① (チェンマイ大学とのオンライン学習)(野口) 8)タイ語 ② (チェンマイ大学とのオンライン学習)(野口) 9)タイについて① (野口) 10)タイについて② (野口) 11)タイについて③ (野口) 12)タイについて④ (野口) 13)タイについて⑤ (学外講師)</p>			

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	タイに関する基礎知識	実習	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] ディスカッションへの参加度 (30%) レポート作成のための調査 (40%)、口頭発表 (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] mana以上にコメントを載せます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] タイを知るための72章(第2版) 出版社:明石書店 (9784750000000)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 物語タイの歴史 微笑みの国の真実 出版社:中央公論新社 (9784120000000)</p>			

S44091 [LGH2-029]

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	タイ及びバンコクの基礎知識	実習	
担当者	野口 和美、平松 秀樹、チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学(半年～1年)に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 本授業では、留学(半年～1年)に行く前の準備学習を行う。各回、予習復習合わせて4時間程度。事前学習では、国際ビジネスの学習を行った後、文学・仏教などの文化方面およびジェンダーなどの社会的方面からタイ国について総合的に学んでいく。授業に際しては、文学テキストや映画作品などに即し具体的な事例を通して学んでいく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] タイやバンコクに関する調査を事前に実施すること。 教科書の予習復習を含め、4時間程度行うこと。</p> <p>[授業計画] 1. プログラム参加に向けて (カセサート大学の紹介を含む)(野口) 2. 文学作品を通してみたタイ社会①(平松) 3. 文学作品を通してみたタイ社会②(平松) 4. 仏教の視点からみたタイ社会(平松) 5. ジェンダーの視点からみたタイ社会①(平松) 6. ジェンダーの視点からみたタイ社会②(平松) 7. タイと日本の関係①(歴史的経緯)(平松) 8. タイと日本の関係②(タイ文学・映画に描かれた日本および日本文学・映画に描かれたタイ)(平松) 9. 現代タイ事情①(平松) 10. タイの市民社会 (野口) 11. タイと国際社会 (野口) 12. タイとベトナムとの関係①(チャン) 13. タイとベトナムとの関係②(チャン)</p>			

科目名	OCPⅢ事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	タイ及びバンコクの基礎知識	実習	
担当者	野口 和美、平松 秀樹、チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法] ディスカッションへの参加度 (30%) レポート作成のための調査 (40%)、口頭発表 (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 提出されたレポートについて全体的にフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 特に指定しない。授業中に資料を配布する。</p> <p>[参考書 (ISBN)] 特に指定しない。</p>			

科目名	OCPIV事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ留学への準備	実習	
担当者	野口 和美、E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 留学に必要な現地についての基礎知識を習得し、OCP先についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] 米国の留学準備授業である。米国の文化、社会、政治などを事前に学修する。 米国に関する調査のための事前調査やサーヴィス・ラーニング、SDGsの状況など学修する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業の予習及び復習を行うこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業のオリエンテーション、留学とは？(ウィリアムズ) 2) 異文化理解と異文化コミュニケーション(ウィリアムズ) 3) アメリカ事情: 基礎知識と歴史(ウィリアムズ) 4) アメリカ事情: 政治と若者の政治活動(ウィリアムズ) 5) アメリカ事情: 多民族国家(ウィリアムズ) 6) アメリカ事情: 若者の文化と大学生の生活(ウィリアムズ) 7) カリフォルニア事情 :政治 (野口) 8) カリフォルニア事情 :社会 (野口) 9) カリフォルニア事情 :市民社会 (野口) 10) カリフォルニア事情 :自治体 (野口) 11) カリフォルニア事情 :教育(野口) 12) カリフォルニア事情 :文化(野口) 13) カリフォルニア事情 :歴史(野口) 			

科目名	OCPIV事前学習	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ留学への準備	実習	
担当者	野口 和美、E. ウィリアムズ		
<p>[成績評価方法] ディスカッションの参加(30%)、毎週の小レポート(40%)、口頭発表(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし 随時、資料を配布します。</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし 資料等は、授業中に配布する。</p>			

科目名	アジアの言語 I	前期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[授業概要]

中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。

・毎課の新出語句の単語をしっかりと復習して欲しい。

・復習する際は読む練習、書く練習、聞く練習、話す練習を意識して行って欲しい。

・中国語(漢族語・漢語)は、日本語とは異なる語族に属する言語である。このことを常に意識しながら学習して欲しい。

[授業計画]

主な授業の流れ:

- 1.教科書の会話を漢字だけでノートに書き写す。
- 2.会話の解説を聴いて会話の内容を理解し、発音及び会話練習を繰り返す。
- 3.置替え練習を中心とした練習を行ない、文型を把握し定着させる。
- 4.小テストを随時実施する。

以下は計画の詳細:

月曜1限【会話】担当: 莊 千慧

- 1.【会話】導入・発音編1
- 2.【会話】発音編2
- 3.【会話】発音編3
- 4.【会話】発音編4
- 5.【会話】まとめ。発音・聞取試験①
- 6.【会話】第1課
- 7.【会話】第2課
- 8.【会話】第3課
- 9.【会話】第4課
- 10.【会話】第5課
- 11.【会話】第6課
- 12.【会話】まとめ。発音・聞取試験②
- 13.【会話】期末試験

金曜1限【読解】担当: 東條 智恵

- 1.【読物】導入・発音編1
- 2.【読物】発音編2
- 3.【読物】発音編3
- 4.【読物】発音編4
- 5.【読物】ヒンイン練習
- 6.【読物】第1課
- 7.【読物】第2課
- 8.【読物】第3課
- 9.【読物】まとめ。漢字試験①
- 10.【読物】第4課
- 11.【読物】第5課
- 12.【読物】第6課
- 13.【読物】まとめ。漢字試験②

科目名	アジアの言語 I	前期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	荘 千慧、東條 智恵		
<p>[成績評価方法] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaやメールで行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『みんなの中国語 会話編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4-86398-079-2) 『みんなの中国語 読物編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4863980785)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S40240 [LGH1-007]

科目名	アジアの言語 I	前期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[授業概要]

韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習・復習合わせて2時間程度必要。

[授業計画]

1. ガイダンス、Lesson 1 基本母音(担当:高城)
2. Lesson 2 子音①:平音(担当:権)
3. Lesson 2 子音②:激音、子音③:濃音(担当:高城)
4. Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音(担当:権)
5. 日本語のハングル表記。第1課「私は日本人です」【文法】(担当:高城)
6. 韓国の地図、教室でよく使う表現、挨拶。第1課「私は日本人です」【会話】(担当:権)
7. 第2課「日本人ではありません」【文法】(担当:高城)
8. 第2課「日本人ではありません」【会話】(担当:権)
9. 第3課「それは何ですか」【文法】(担当:高城)
10. 第3課「それは何ですか」【会話】(担当:権)
11. 第4課「約束があります」【文法】(担当:高城)
12. 第4課「約束があります」【会話】(担当:権)
13. 復習(担当:高城)
14. 中間のまとめ(担当:権)
15. 第5課「会社はどこにありますか」【文法】(担当:高城)
16. 第5課「会社はどこにありますか」【会話】(担当:権)
17. 第6課「週末は何をしますか」【文法】(担当:高城)
18. 第6課「週末は何をしますか」【会話】(担当:権)
19. 第7課「そんなに遠くありません」【文法】(担当:高城)
20. 第7課「そんなに遠くありません」【会話】(担当:権)
21. 第8課「いつ行きますか」【文法】(担当:高城)
22. 第8課「いつ行きますか」【会話】(担当:権)
23. 第9課「釜山までどうやって行きますか」【文法】(担当:高城)
24. 第9課「釜山までどうやって行きますか」【会話】(担当:権)
25. 期末のまとめ(担当:高城)
26. 韓国文化の理解(担当:権)

科目名	アジアの言語 I	前期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容: 国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級 I 新装版』 著者名: 李志映 出版社: DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[授業概要]

中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。

- ・毎課の新出語句の単語をしっかりと復習して欲しい。
- ・復習する際は読む練習、書く練習、聞く練習、話す練習を意識して行って欲しい。

[授業計画]

後期の授業は、11月の第4日曜日に行われる、中国語検定試験の準4級合格を目指して進める。

月曜1限【会話】担当: 莊 千慧

- 1.【会話】前期内容の復習
- 2.【会話】第7課
- 3.【会話】第8課
- 4.【会話】第9課
- 5.【会話】第10課
- 6.【会話】まとめ。発音・聞取試験①
- 7.【会話】第11課
- 8.【会話】第12課
- 9.【会話】第13課
- 10.【会話】第14課
- 11.【会話】第15課
- 12.【会話】まとめ。発音・聞取試験②
- 13.【会話】期末試験

金曜1限【読解】担当: 東條 智恵

- 1.【読物】第7課
- 2.【読物】第8課
- 3.【読物】第9課
- 4.【読物】第10課
- 5.【読物】第11課
- 6.【読物】漢字試験①
- 7.【読物】中国語検定準4級練習 受験概要・実力テスト
- 8.【読物】第12課
- 9.【読物】第13課
- 10.【読物】中国語検定準4級練習 受験準備
- 11.【読物】第14課
- 12.【読物】第15課
- 13.【読物】漢字試験②

※11月の第4日曜日は中国語検定試験の日。この日を必ず空けてください。

科目名	アジアの言語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		
<p>[成績評価方法] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaやメールで行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『みんなの中国語 会話編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4-86398-079-2) 『みんなの中国語 読物編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4863980785)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[授業概要]

韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習・復習合わせて2時間程度必要。

[授業計画]

- 1.前期学習内容の復習(担当:権)
- 2.第10課「何時からですか」【文法】(担当:高城)
- 3.第10課「何時からですか」【会話】(担当:権)
- 4.第11課「いつ日本へ来ましたか」【文法】(担当:高城)
- 5.第11課「いつ日本へ来ましたか」【会話】(担当:権)
- 6.第12課「お名前は？」【文法】(担当:高城)
- 7.第12課「お名前は？」【会話】(担当:権)
- 8.第13課「どちらへ行っていましたか」【文法】(担当:高城)
- 9.第13課「どちらへ行っていましたか」【会話】(担当:権)
- 10.第14課「日本と韓国は似てるけど、けっこう違うでしょう？」【文法】(担当:高城)
- 11.第14課「日本と韓国は似てるけど、けっこう違うでしょう？」【会話】(担当:権)
- 12.第15課「温泉に行きたいです」【文法】(担当:高城)
- 13.第15課「温泉に行きたいです」【会話】(担当:権)
- 14.中間のまとめ(担当:高城)
- 15.復習(担当:権)
- 16.第16課「プレゼントを買うのでたくさんお金を使います」【文法】(担当:高城)
- 17.第16課「プレゼントを買うのでたくさんお金を使います」【会話】(担当:権)
- 18.第17課「結婚式に何を着ていけばいいですか」【文法】(担当:高城)
- 19.第17課「結婚式に何を着ていけばいいですか」【会話】(担当:権)
- 20.第18課「食事でも一緒にしましょうか」【文法】(担当:高城)
- 21.第18課「食事でも一緒にしましょうか」【会話】(担当:権)
- 22.第19課「写真をちょっと撮っていただけますか」【文法】(担当:高城)
- 23.第19課「写真をちょっと撮っていただけますか」【会話】(担当:権)
- 24.第20課「自転車に乗ることができますか」【文法】(担当:高城)
- 25.第20課「自転車に乗ることができますか」【会話】(担当:高城)
- 26.期末のまとめ(担当:権)

科目名	アジアの言語Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、あるいはmanaba等フィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級 I 新装版』 著者名:李志映 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための初中級の語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1.教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[授業計画] 1.「会話編」第1課 2.「講読編」第1課 3.「会話編」第2課 4.「講読編」第2課 5.「会話編」第3課 6.「講読編」第3課 7.「会話編」第4課 8.「講読編」第4課 9.「会話編」第5課 10.「講読編」第5課 11.「会話編」第6課 12.「講読編」第6課 13.「会話編」「講読編」第1課～第6課のまとめ</p>			

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[成績評価方法] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『準中級中国語 会話編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0711-5) 『準中級中国語 講読編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0712-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.ガイダンス、基本文法の確認 2.第1課 文法:動詞の現在連体形、～して(先行動作の用法) 3.第1課 会話:「食べる方法が大きく異なりますね」 4.第2課 文法:動詞の過去連体形、～したことがある(経験) 5.第2課 会話:「韓国に行ったことがありますか」 6.第3課 文法:動詞の未来連体形、～するつもりです(予定・意志) 7.第3課 会話:「卒業したら何をするつもりか」 8.第4課 文法:形容詞の現代連体形、名詞文の現在連体形 9.第4課 会話:「背が大きい男性は誰ですか」 10.第5課 文法:～するのですが、するのに(前置き) 11.第5課 会話:「お忙しいのにすみません」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		

[成績評価方法]
小テスト20%、試験80%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。
成績評価方法: 小テスト、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 小テスト、試験

[教科書(ISBN)]
『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名: 李志映・金鎮姫 出版社: DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.ガイダンス、基本文法の確認 2.第1課 文法:動詞の現在連体形、～して(先行動作の用法) 3.第1課 会話:「食べる方法が大きく異なりますね」 4.第2課 文法:動詞の過去連体形、～したことがある(経験) 5.第2課 会話:「韓国に行ったことがありますか」 6.第3課 文法:動詞の未来連体形、～するつもりです(予定・意志) 7.第3課 会話:「卒業したら何をするつもりか」 8.第4課 文法:形容詞の現代連体形、名詞文の現在連体形 9.第4課 会話:「背が大きい男性は誰ですか」 10.第5課 文法:～するのですが、するのに(前置き) 11.第5課 会話:「お忙しいのにすみません」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級Ⅱ』。著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための準中級の語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1.教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[授業計画] 後期の授業は、 11月の第4日曜日に行われる、中国語検定試験の4級合格を目指して進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「会話編」第7課 2.「講読編」第7課 3.「会話編」第8課 4.「講読編」第8課 5.「会話編」第9課 6.「講読編」第9課 7.「会話編」第10課 8.「講読編」第10課 9.「会話編」第11課 10.「講読編」第11課 11.「会話編」第12課 12.「講読編」第12課 13.「会話編」「講読編」第7課～第12課のまとめ <p>※11月の第4日曜日は中国語検定試験の日。この日を必ず空けてください。</p>			

科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[成績評価方法] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『準中級中国語 会話編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0711-5) 『準中級中国語 講読編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0712-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.前期学習内容の復習 2.第6課 文法:動詞の不規則活用、～から～ので 3.第6課 会話:「熱いので気をつけてください」 4.第7課 文法:動詞の不規則活用、～なければならない 5.第7課 会話:「外国語は毎日聞かなければなりません」 6.第8課 文法:動詞の不規則活用、～ために・せいで、～するため 7.第8課 会話:「風邪は治りましたか」 8.第9課 文法:用言の不規則活用、～するじゃないですか 9.第9課 会話:「A型とO型とどちらがいますか」 10.第10課 文法:形容詞の不規則活用、～してみる 11.第10課 会話:「赤色はありませんか」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		

[成績評価方法]
小テスト20%、試験80%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容: 国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。
成績評価方法: 小テスト、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法: 小テスト、試験

[教科書(ISBN)]
『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名: 李志映・金鎮姫 出版社: DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[授業概要]

韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]

- 1.前期学習内容の復習
- 2.第6課 文法:動詞の不規則活用、～から～ので
- 3.第6課 会話:「熱いので気をつけてください」
- 4.第7課 文法:動詞の不規則活用、～なければならない
- 5.第7課 会話:「外国語は毎日聞かなければなりません」
- 6.第8課 文法:動詞の不規則活用、～ために・せいで、～するため
- 7.第8課 会話:「風邪は治りましたか」
- 8.第9課 文法:用言の不規則活用、～するじゃないですか
- 9.第9課 会話:「A型とO型とどちらがいますか」
- 10.第10課 文法:形容詞の不規則活用、～してみる
- 11.第10課 会話:「赤色はありませんか」
- 12.総復習
- 13.まとめ

科目名	アジアの言語Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級Ⅱ』。 著者名: 李志映・金鎮姫 出版社: DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語Ⅴ	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	李 允昊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための中上級の語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[授業計画] 1.ガイダンス、基本文法の確認 2.第11課 文法:~ます(意思・約束・決意)、「?」不規則活用 3.第11課 会話:「私もメール送ります」 4.第12課 文法:~ています(完了状態の継続)、~しないでください(禁止) 5.第12課 会話:「人々が並んでいます」 6.第13課 文法:過去/現在/未来の推量・不確定 7.第13課 会話:「雨が降りそうですね」 8.第14課 文法:~する前に、~した後 9.第14課 会話:「新年のあいさつをした後、お墓参りに行きます」 10.第15課 文法:~するほうだ、~く(副詞化)、~になる 11.第15課 会話:「辛くして食べるほうです」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語Ⅴ	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	李 允昊		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内に解説します。課題内容に応じて適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語V	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるため中級の語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1. 教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2. 毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[授業計画] 1. 第1課 2. 第1課 3. 第2課 4. 第2課 5. 第3課 6. 第3課 7. 第4課 8. 第4課 9. 第5課 10. 第5課 11. 第6課 12. 第6課 13. 第1課～第6課のまとめ復習、試験</p>			

科目名	アジアの言語Ⅴ	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[成績評価方法] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『続・中国語でおもてなし』 著者名:おもてなし中国語教材開発チーム著 出版社:金星堂 (9784764707375)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語VI	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	李 允昊		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための中上級の語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[授業計画] 授業計画Ⅰ前期学習内容の復習 2.第16課 文法:~してから~経つ、~ようと思う 3.第16課 会話:「日本にいらしてからどれぐらい経ちましたか」 4.第17課 文法:動詞の名詞化、目的、~しやすい、~にくい 5.第17課 会話:「こうすれば探しやすいです」 6.第18課 文法:~でしょう、~でしょうね、~するとき、~したとき 7.第18課 会話:「運転お上手でしょうね」 8.第19課 文法:~してあげる、~してくれる、~く見える 9.第19課 会話:「私がお持ちしましょうか」 10.第20課 文法:意志、願望 11.第20課 会話:「何を召し上がりますか」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語VI	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	李 允昊		

[成績評価方法]
小テスト20%、試験80%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内に解説します。課題内容に応じて適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。
成績評価方法:小テスト、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:小テスト、試験

[教科書(ISBN)]
『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名:李志映・?鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)

[参考書(ISBN)]
なし

科目名	アジアの言語VI	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための中上級の語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1. 教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2. 毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[授業計画] 1. 第7課 2. 第7課 3. 第8課 4. 第8課 5. 第9課 6. 第9課 7. 第10課 8. 第10課 9. 第11課 10. 第11課 11. 第12課 12. 第12課 13. 第7課～第12課のまとめ復習、試験</p> <p>※11月の第4日曜日は中国語検定試験の日。この日を必ず空けてください。</p>			

科目名	アジアの言語VI	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[成績評価方法] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト・試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト・試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『続・中国語でおもてなし』 著者名:おもてなし中国語教材開発チーム著 出版社:金星堂 (9784764707375)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語A－I（中国語）	前期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[授業概要]

中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。

・毎課の新出語句の単語をしっかりと復習して欲しい。

・復習する際は読む練習、書く練習、聞く練習、話す練習を意識して行って欲しい。

・中国語(漢族語・漢語)は、日本語とは異なる語族に属する言語である。このことを常に意識しながら学習して欲しい。

[授業計画]

主な授業の流れ:

- 1.教科書の会話を漢字だけでノートに書き写す。
- 2.会話の解説を聴いて会話の内容を理解し、発音及び会話練習を繰り返す。
- 3.置替え練習を中心とした練習を行ない、文型を把握し定着させる。
- 4.小テストを随時実施する。

以下は計画の詳細:

月曜1限【会話】担当: 莊 千慧

- 1.【会話】導入・発音編1
- 2.【会話】発音編2
- 3.【会話】発音編3
- 4.【会話】発音編4
- 5.【会話】まとめ。発音・聞取試験①
- 6.【会話】第1課
- 7.【会話】第2課
- 8.【会話】第3課
- 9.【会話】第4課
- 10.【会話】第5課
- 11.【会話】第6課
- 12.【会話】まとめ。発音・聞取試験②
- 13.【会話】期末試験

金曜1限【読解】担当: 東條 智恵

- 1.【読物】導入・発音編1
- 2.【読物】発音編2
- 3.【読物】発音編3
- 4.【読物】発音編4
- 5.【読物】ヒンイン練習
- 6.【読物】第1課
- 7.【読物】第2課
- 8.【読物】第3課
- 9.【読物】まとめ。漢字試験①
- 10.【読物】第4課
- 11.【読物】第5課
- 12.【読物】第6課
- 13.【読物】まとめ。漢字試験②

科目名	アジアの言語A－I（中国語）	前期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		
<p>[成績評価方法] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaやメールで行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『みんなの中国語 会話編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4-86398-079-2) 『みんなの中国語 読み物編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4863980785)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S40240R [LGH1-008]

科目名	アジアの言語A－Ⅱ（中国語）	後期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。

[授業概要]

中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。

- ・毎課の新出語句の単語をしっかりと復習して欲しい。
- ・復習する際は読む練習、書く練習、聞く練習、話す練習を意識して行って欲しい。

[授業計画]

後期の授業は、11月の第4日曜日に行われる、中国語検定試験の準4級合格を目指して進める。

月曜1限【会話】担当: 莊 千慧

- 1.【会話】前期内容の復習
- 2.【会話】第7課
- 3.【会話】第8課
- 4.【会話】第9課
- 5.【会話】第10課
- 6.【会話】まとめ。発音・聞取試験①
- 7.【会話】第11課
- 8.【会話】第12課
- 9.【会話】第13課
- 10.【会話】第14課
- 11.【会話】第15課
- 12.【会話】まとめ。発音・聞取試験②
- 13.【会話】期末試験

金曜1限【読解】担当: 東條 智恵

- 1.【読物】第7課
- 2.【読物】第8課
- 3.【読物】第9課
- 4.【読物】第10課
- 5.【読物】第11課
- 6.【読物】漢字試験①
- 7.【読物】中国語検定準4級練習 受験概要・実力テスト
- 8.【読物】第12課
- 9.【読物】第13課
- 10.【読物】中国語検定準4級練習 受験準備
- 11.【読物】第14課
- 12.【読物】第15課
- 13.【読物】漢字試験②

※11月の第4日曜日は中国語検定試験の日。この日を必ず空けてください。

科目名	アジアの言語A－Ⅱ(中国語)	後期	2 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	莊 千慧、東條 智恵		
<p>[成績評価方法] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaやメールで行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『みんなの中国語 会話編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4-86398-079-2) 『みんなの中国語 読物編』 著者名:池田磨左文・于輝明・傍島史奈・山本透江 出版社:白帝社 (978-4863980785)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語A-Ⅲ(中国語)	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための初中級の語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1.教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[授業計画] 1.「会話編」第1課 2.「講読編」第1課 3.「会話編」第2課 4.「講読編」第2課 5.「会話編」第3課 6.「講読編」第3課 7.「会話編」第4課 8.「講読編」第4課 9.「会話編」第5課 10.「講読編」第5課 11.「会話編」第6課 12.「講読編」第6課 13.「会話編」「講読編」第1課～第6課のまとめ</p>			

科目名	アジアの言語A-Ⅲ(中国語)	前期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[成績評価方法] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『準中級中国語 会話編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0711-5) 『準中級中国語 講読編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0712-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語A-IV(中国語)	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、中国語・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 中国語圏の文化や社会に関する様々な情報を中国語で理解し、アウトプットできるようになるための準中級の語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 1.教科書付属の音声データを聴いて、教科書本文を朗読する。 2.毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。</p> <p>[授業計画] 後期の授業は、 11月の第4日曜日に行われる、中国語検定試験の4級合格を目指して進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「会話編」第7課 2.「講読編」第7課 3.「会話編」第8課 4.「講読編」第8課 5.「会話編」第9課 6.「講読編」第9課 7.「会話編」第10課 8.「講読編」第10課 9.「会話編」第11課 10.「講読編」第11課 11.「会話編」第12課 12.「講読編」第12課 13.「会話編」「講読編」第7課～第12課のまとめ <p>※11月の第4日曜日は中国語検定試験の日。この日を必ず空けてください。</p>			

科目名	アジアの言語A-IV(中国語)	後期	1 単位
サブタイトル	中国語	演習	
担当者	呂 芳		
<p>[成績評価方法] 小テスト(20%)、試験(80%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『準中級中国語 会話編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0711-5) 『準中級中国語 講読編』 著者名:奥村佳代子 / 塩山正純 / 張軼欧 著 出版社:金星堂 (978-4-7647-0712-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語B－I（韓国・朝鮮語）	前期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度必要。</p> <p>[授業計画] 1.ガイダンス、Lesson 1 基本母音(担当:高城) 2.Lesson 2 子音①:平音 (担当:権) 3.Lesson 2 子音②:激音、子音③:濃音(担当:高城) 4.Lesson 3 パッチム、Lesson 4 合成母音(担当:権) 5.日本語のハングル表記。第1課「私は日本人です」【文法】(担当:高城) 6.韓国の地図、教室でよく使う表現、挨拶。第1課「私は日本人です」【会話】(担当:権) 7.第2課「日本人ではありません」【文法】(担当:高城) 8.第2課「日本人ではありません」【会話】(担当:権) 9.第3課「それは何ですか」【文法】(担当:高城) 10.第3課「それは何ですか」【会話】(担当:権) 11.第4課「約束があります」【文法】(担当:高城) 12.第4課「約束があります」【会話】(担当:権) 13.復習(担当:高城) 14.中間のまとめ(担当:権) 15.第5課「会社はどこにありますか」【文法】(担当:高城) 16.第5課「会社はどこにありますか」【会話】(担当:権) 17.第6課「週末は何をしますか」【文法】(担当:高城) 18.第6課「週末は何をしますか」【会話】(担当:権) 19.第7課「そんなに遠くありません」【文法】(担当:高城) 20.第7課「そんなに遠くありません」【会話】(担当:権) 21.第8課「いつ行きますか」【文法】(担当:高城) 22.第8課「いつ行きますか」【会話】(担当:権) 23.第9課「釜山までどうやって行きますか」【文法】(担当:高城) 24.第9課「釜山までどうやって行きますか」【会話】(担当:権) 25.期末のまとめ(担当:高城) 26.韓国文化の理解(担当:権)</p>			

科目名	アジアの言語B－I（韓国・朝鮮語）	前期	2 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容: 国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 小テスト、試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級 I 新装版』 著者名: 李志映 出版社: DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語B－Ⅱ(韓国・朝鮮語)	後期	2単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、初歩的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための基礎語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度必要。</p> <p>[授業計画] 1.前期学習内容の復習(担当:権) 2.第10課「何時からですか」【文法】(担当:高城) 3.第10課「何時からですか」【会話】(担当:権) 4.第11課「いつ日本へ来ましたか」【文法】(担当:高城) 5.第11課「いつ日本へ来ましたか」【会話】(担当:権) 6.第12課「お名前は?」【文法】(担当:高城) 7.第12課「お名前は?」【会話】(担当:権) 8.第13課「どちらへ行っていたらいいですか」【文法】(担当:高城) 9.第13課「どちらへ行っていたらいいですか」【会話】(担当:権) 10.第14課「日本と韓国は似てるけど、けっこう違うでしょう?」【文法】(担当:高城) 11.第14課「日本と韓国は似てるけど、けっこう違うでしょう?」【会話】(担当:権) 12.第15課「温泉に行きたいです」【文法】(担当:高城) 13.第15課「温泉に行きたいです」【会話】(担当:権) 14.中間のまとめ(担当:高城) 15.復習(担当:権) 16.第16課「プレゼントを買うのでたくさんお金を使います」【文法】(担当:高城) 17.第16課「プレゼントを買うのでたくさんお金を使います」【会話】(担当:権) 18.第17課「結婚式に何を着ていけばいいですか」【文法】(担当:高城) 19.第17課「結婚式に何を着ていけばいいですか」【会話】(担当:権) 20.第18課「食事でも一緒にしましょうか」【文法】(担当:高城) 21.第18課「食事でも一緒にしましょうか」【会話】(担当:権) 22.第19課「写真をちょっと撮っていただけますか」【文法】(担当:高城) 23.第19課「写真をちょっと撮っていただけますか」【会話】(担当:権) 24.第20課「自転車に乗ることができますか」【文法】(担当:高城) 25.第20課「自転車に乗ることができますか」【会話】(担当:高城) 26.期末のまとめ(担当:権)</p>			

科目名	アジアの言語B－Ⅱ(韓国・朝鮮語)	後期	2単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人、権 珍嬉		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、あるいはmanaba等フィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級 I 新装版』 著者名:李志映 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-723-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語B-Ⅲ(韓国・朝鮮語)	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.ガイダンス、基本文法の確認 2.第1課 文法:動詞の現在連体形、～して(先行動作の用法) 3.第1課 会話:「食べる方法が大きく異なりますね」 4.第2課 文法:動詞の過去連体形、～したことがある(経験) 5.第2課 会話:「韓国に行ったことがありますか」 6.第3課 文法:動詞の未来連体形、～するつもりです(予定・意志) 7.第3課 会話:「卒業したら何をするつもりか」 8.第4課 文法:形容詞の現代連体形、名詞文の現在連体形 9.第4課 会話:「背が大きい男性は誰ですか」 10.第5課 文法:～するのですが、するのに(前置き) 11.第5課 会話:「お忙しいのにすみません」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語B－Ⅲ(韓国・朝鮮語)	前期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語B-Ⅲ(韓国・朝鮮語)	前期	1単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.ガイダンス、基本文法の確認 2.第1課 文法:動詞の現在連体形、～して(先行動作の用法) 3.第1課 会話:「食べる方法が大きく異なりますね」 4.第2課 文法:動詞の過去連体形、～したことがある(経験) 5.第2課 会話:「韓国に行ったことがありますか」 6.第3課 文法:動詞の未来連体形、～するつもりです(予定・意志) 7.第3課 会話:「卒業したら何をするつもりか」 8.第4課 文法:形容詞の現代連体形、名詞文の現在連体形 9.第4課 会話:「背が大きい男性は誰ですか」 10.第5課 文法:～するのですが、するのに(前置き) 11.第5課 会話:「お忙しいのにすみません」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語B－Ⅲ(韓国・朝鮮語)	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、あるいはmanaba等でフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級Ⅱ』、プリント配布。 著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語B-IV(韓国・朝鮮語)	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.前期学習内容の復習 2.第6課 文法:動詞の不規則活用、～から～ので 3.第6課 会話:「熱いので気をつけてください」 4.第7課 文法:動詞の不規則活用、～なければならない 5.第7課 会話:「外国語は毎日聞かなければなりません」 6.第8課 文法:動詞の不規則活用、～ために・せいで、～するため 7.第8課 会話:「風邪は治りましたか」 8.第9課 文法:用言の不規則活用、～するじゃないですか 9.第9課 会話:「A型とO型とどちらがいますか」 10.第10課 文法:形容詞の不規則活用、～してみる 11.第10課 会話:「赤色はありませんか」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語B-IV(韓国・朝鮮語)	後期	1 単位
サブタイトル	韓国・朝鮮語	演習	
担当者	高城 建人		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級Ⅱ 新装版』 著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	アジアの言語B-IV(韓国・朝鮮語)	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中国語、韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を、応用的な中国語、韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになる。</p> <p>[授業概要] 韓国・朝鮮語圏の文化や社会に関する様々な情報を韓国・朝鮮語で理解し、アウトプットできるようになるための応用的な語学力を身につける。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.前期学習内容の復習 2.第6課 文法:動詞の不規則活用、～から～ので 3.第6課 会話:「熱いので気をつけてください」 4.第7課 文法:動詞の不規則活用、～なければならない 5.第7課 会話:「外国語は毎日聞かなければなりません」 6.第8課 文法:動詞の不規則活用、～ために・せいで、～するため 7.第8課 会話:「風邪は治りましたか」 8.第9課 文法:用言の不規則活用、～するじゃないですか 9.第9課 会話:「A型とO型とどちらがいますか」 10.第10課 文法:形容詞の不規則活用、～してみる 11.第10課 会話:「赤色はありませんか」 12.総復習 13.まとめ</p>			

科目名	アジアの言語B－IV(韓国・朝鮮語)	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	権 珍嬉		
<p>[成績評価方法] 小テスト20%、試験80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『できる韓国語初級Ⅱ』。 著者名:李志映・金鎮姫 出版社:DEKIRU出版 (978-4-87217-886-9)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	Intensive English I A	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[授業概要] Students will learn about the basic components involved with using English for communicative purposes. The main focus of the course is to facilitate quick response, aural comprehension, and increase fluency in the spoken language. Students are expected to work in pairs and in small groups and are encouraged to remain in the target language as much as possible. The course will also attempt to give students confidence in their communicative abilities by requiring them to use English to solve a multitude of group oriented tasks and to act out roles in various dramatic situations.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Getting to know your classmates 2. Personalities 3. Talking to People You Don't Know 4. Simple Past, Simple Questions 5. Food for Thought 6. Giving Reasons 7. Review I Units 1-6 8. Talking about Experiences Abroad 9. Future Plans 10. Giving Feedback 11. Making Inferences 12. Asking for and Giving Opinions 13. Summary 			

科目名	Intensive English I A	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[成績評価方法] Class Participation (30%) , Homework assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Oral Exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Voices Book 3 Student's Book with Online Practice and Student's eBook (TOEIC 390 ~ 500) 著者名:Emily Bryson & Christien Lee 出版社:National Geographic Learning Japan (9.78035745881-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S40001 [LGH1-001]

科目名	Intensive English I A	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[授業概要] Students will learn about the basic components involved with using English for communicative purposes. The main focus of the course is to facilitate quick response, aural comprehension, and increase fluency in the spoken language. Students are expected to work in pairs and in small groups and are encouraged to remain in the target language as much as possible. The course will also attempt to give students confidence in their communicative abilities by requiring them to use English to solve a multitude of group oriented tasks and to act out roles in various dramatic situations.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Getting to know your classmates 2. My Place 3. Making and Accepting a General Invitation 4. Money Matters 5. Going Out on the Town 6. Learning Languages 7. Review I Units 1-6 8. Talking about Experiences Abroad 9. Health Issues 10. Personalities 11. Making Inferences 12. Asking for and Giving Opinions 13. Summary 			

科目名	Intensive English I A	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[成績評価方法] Class Participation (30%) , Homework assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Oral Exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Voices Book 3 Student's Book with Online Practice and Student's eBook (TOEIC 390 ~ 500) 著者名:Emily Bryson & Christien Lee 出版社:National Geographic Learning Japan (9.78035745881-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S40002 [LGH1-001]

科目名	Intensive English I B	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[授業概要] Students will learn about the basic components involved with reading and writing in English. The main focus of the course is to help students develop skills for recognizing the basic structure of English sentences and paragraphs so that their reading and written expression becomes more fluent and less tedious. Students will learn to find information quickly and efficiently when reading and will be asked to write short responses to the various texts covered in the course. The more you do it the easier it becomes! Let's have fun reading and writing in English!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Getting to know your classmates 2. Discover New Zealand 3. Adventure Activities 4. Fun Festivals 5. Japanese Festivals and Traditions 6. Sounds Good – Ethnic Music of the Caribbean 7. Talk About Music Genres 8. The Big Screen 9. Learning About Culture Through Film 10. Now And Then – Making Comparisons: Past & Present 11. Exploring South America 12. Country Life vs. City Life 13. Summary 			

科目名	Intensive English I B	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[成績評価方法] Class Participation (30%) , Homework Assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Final Exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Same as Intensive I A (Voices Book 3 Student's Book with Online Practice and Student's eBook) (TOEIC 390 ~ 500) 著者名:Emily Bryson & Christien Lee 出版社:National Geographic Learning Japan (9.780357-45881-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	Intensive English I B	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[授業概要] Students will learn about the basic components involved with reading and writing in English. The main focus of the course is to help students develop skills for recognizing the basic structure of English sentences and paragraphs so that their reading and written expression becomes more fluent and less tedious. Students will learn to find information quickly and efficiently when reading and will be asked to write short responses to the various texts covered in the course. The more you do it the easier it becomes! Let's have fun reading and writing in English!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Getting to know your classmates 2. Discover New Zealand 3. Adventure Activities 4. Fun Festivals 5. Japanese Festivals and Traditions 6. Sounds Good – Ethnic Music of the Caribbean 7. Talk About Music Genres 8. The Big Screen 9. Learning About Culture Through Film 10. Now And Then – Making Comparisons: Past & Present 11. Exploring South America 12. Country Life vs. City Life 13. Summary 			

科目名	Intensive English I B	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[成績評価方法] Class Participation (30%) , Homework Assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Final Exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Same as Intensive I A (Voices Book 3 Student's Book with Online Practice and Student's eBook) (TOEIC 390 ~ 500) 著者名:Emily Bryson & Christien Lee 出版社:National Geographic Learning Japan (9.780357-45881-5)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	Intensive English II A	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[授業概要] This course is the continuation of Intensive English I-A. Students will learn about the basic components involved with using English for communicative purposes. The main focus of the course is to facilitate quick response, aural comprehension, and increase fluency in the spoken language. Students are expected to work in pairs and in small groups and are encouraged to remain in the target language as much as possible. The course will also attempt to give students confidence in their communicative abilities by requiring them to use English to solve a multitude of group oriented tasks and to act out roles in various dramatic situations. Students will also learn how to give a formal presentation in English.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[授業計画] 1. Talking About Past Experiences 2. Ecotourism 3. Learning About Wildlife Preserves in Uganda 4. To Market, To Market 5. The Aging Of Japan 6. The Problem of World Pollution 7. How Japan Recycles 8. Living Green 9. Endangered Species 10. Group Project - Kobe Local Global Self-Study 11. Living Abroad 12. Immigration/Emigration 13. Summary</p>			

科目名	Intensive English II A	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[成績評価方法] 平常の授業態度、クイズ、口頭発表等が評価の基準 Class Participation (30%) , Quiz after each unit (20%) , Oral Exam (30%) , On-line homework assignments (20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] Same as for the first semester. Plus- additional printouts will be given as necessary. 前期と同様一プリント配布もする。</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし (なし)</p>			

科目名	Intensive English II A	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[授業概要] This course is the continuation of Intensive English I-A. Students will learn about the basic components involved with using English for communicative purposes. The main focus of the course is to facilitate quick response, aural comprehension, and increase fluency in the spoken language. Students are expected to work in pairs and in small groups and are encouraged to remain in the target language as much as possible. The course will also attempt to give students confidence in their communicative abilities by requiring them to use English to solve a multitude of group oriented tasks and to act out roles in various dramatic situations. Students will also learn how to give a formal presentation in English.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Talking About Past Experiences 2. Ecotourism 3. Learning About Wildlife Preserves in Uganda 4. To Market, To Market 5. The Aging Of Japan 6. The Problem of World Pollution 7. How Japan Recycles 8. Living Green 9. Endangered Species 10. Group Project - Kobe Local Global Self-Study 11. Living Abroad 12. Immigration/Emigration 13. Summary 			

科目名	Intensive English II A	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[成績評価方法] 平常の授業態度、クイズ、口頭発表等が評価の基準 Class Participation (30%) , Quiz after each unit (20%) , Oral Exam (30%) , On-line homework assignments (20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Same as for the first semester. Plus- additional printouts will be given as necessary. 前期と同様一プリント配布もする。</p> <p>[参考書(ISBN)] なし(なし)</p>			

科目名	Intensive English II B	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[授業概要] This course is the continuation from the first semester. Students will learn about the basic components involved with reading and writing in English. The main focus of the course is to help students develop skills for recognizing the basic structure of English sentences and paragraphs so that their reading and written expression becomes more fluent and less tedious. Students will learn to find information quickly and efficiently when reading and will be asked to write short responses to the various texts covered in the course. The more you do it the easier it becomes! Let's have fun reading and writing in English!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[授業計画] 1. Talking About Past Experiences 2. Ecotourism 3. Learning About Wildlife Preserves in Uganda 4. To Market, To Market 5. The Aging Of Japan 6. The Problem of World Pollution 7. How Japan Recycles 8. Living Green 9. Endangered Species 10. Group Project – Kobe Local Global Self-Study 11. Living Abroad 12. Immigration/Emigration 13. Summary</p>			

科目名	Intensive English II B	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[成績評価方法] 平常の授業態度、クイズ、口頭発表等が評価の基準 Class Participation (30%) , Homework Assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Final Exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Same as for the first semester. Plus- additional printouts will be given as necessary. 前期と同様一プリント配布もする。</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	Intensive English II B	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in reading, writing, listening and speaking in English</p> <p>[授業概要] This course is the continuation from the first semester. Students will learn about the basic components involved with reading and writing in English. The main focus of the course is to help students develop skills for recognizing the basic structure of English sentences and paragraphs so that their reading and written expression becomes more fluent and less tedious. Students will learn to find information quickly and efficiently when reading and will be asked to write short responses to the various texts covered in the course. The more you do it the easier it becomes! Let's have fun reading and writing in English!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[授業計画] 1. Talking About Past Experiences 2. Ecotourism 3. Learning About Wildlife Preserves in Uganda 4. To Market, To Market 5. The Aging Of Japan 6. The Problem of World Pollution 7. How Japan Recycles 8. Living Green 9. Endangered Species 10. Group Project – Kobe Local Global Self-Study 11. Living Abroad 12. Immigration/Emigration 13. Summary</p>			

科目名	Intensive English II B	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[成績評価方法] 平常の授業態度、クイズ、口頭発表等が評価の基準 Class Participation (30%) , Homework Assignments (20%) , Quiz after each unit (20%) , Final Exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Same as for the first semester. Plus- additional printouts will be given as necessary. 前期と同様一プリント配布もする。</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	英語学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代英語に至るまでの変遷を、歴史的背景に関連させて説明できる。 2. 英語のバリエーションについて具体例を挙げて説明できる。 3. 英語の音声や音韻について、具体的な単語や文例を挙げて説明できる。 4. 英語の単語がどのような構造で形成されているかを説明できる。 <p>[授業概要]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の歴史や、音声的特徴・語構造・文構造など、その言語の背景的知識を学ぶことも重要である。この授業では、まず、英語の歴史的変化や方言などのバリエーションを概観する。その後、現代英語の音声的・音韻的な特徴や、単語の構造といった英語という言語に見られるしくみを、他言語との比較を通して客観的に観察する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。 予習: 参考書を用いて、各回で扱うトピックの該当箇所を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておくことが望ましい。 ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションおよび言語の起源について 2. 言語研究の諸分野とその研究方法 3. 英語の歴史 4. 英語の発音とスペリング 5. 英語の語彙の多様性 6. 標準英語の成立 7. 英語の方言と多様性 8. 英語の発音のしくみ 9. 英語の音の組み合わせ(1)前後の音の影響で変化する発音 10. 英語の音の組み合わせ(2)音節、アクセント、リズム 11. 英語の単語のしくみ(1)形態素の種類 12. 英語の単語のしくみ(2)単語の組み立て 13. 講義内容の総括と学習到達度の確認 			

科目名	英語学入門 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等):30% ・授業内や授業後に提出する課題:30% ・最終試験:40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社,2014年。(978-4-327-40165-8) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版,2013年。(978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会,2015年。(978-4766422139) 英語の音声を科学する(新装版) 著者名:川越いつえ 出版社:大修館書店,2007年。(978-4469245318)</p>			

S45050 [LGH1-025]

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の文構造を正しく分析できる。 2. 意味の拡張について、話者の認知や視点に関連させて分析できる。 3. 会話における意味解釈において、コンテキストがどのように関わっているかを分析できる。 4. 文章のなかで効果的に情報を提示する方法を理解し、それを実践する。 5. 言語と文化・社会にどのような関連があるかを説明できる。 <p>[授業概要]</p> <p>私たちが言語を学ぶ際には、その運用能力を養うことに加え、その言語の背景的知識について学ぶことも重要である。「英語学入門Ⅱ」では、「英語学入門Ⅰ」に引き続き、英語を他言語(主に日本語)と比較しながら客観的に観察する。この授業ではまず英語の文構造を分析する。その後、この授業の前半を使って意味解釈に関する理論を概観し、人間の認知と意味拡張の関わりや、会話においてコンテキストの情報が意味解釈に与える影響について考察する。授業の後半では、言語と文化の関わりや、社会言語学的観点からみた英語のバリエーションについて分析する。</p> <p>配布資料と教員からの解説をもとに理解するとともに、適宜他の受講生とディスカッションをすることで、学んだ内容を定着させる。毎回、小テストを通して内容の理解度を確認し、また、内容に関連する記述課題に取り組む。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>復習: 授業中の練習問題を中心に復習する。 予習: 事前配布する講義資料や参考書等の資料を読み、自分なりの不明点や疑問点を明らかにしておく。 ※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションおよび次週への導入(文構造の分析) 2. 文構造の分析 3. メタファーとメトニミー 4. 法助動詞と主観性 5. 明意と暗意 6. 会話におけるルール 7. まとまりのある文章 8. 新情報と旧情報 9. 異文化間におけるコミュニケーション 10. ことばと文化 11. ことばと社会(1): 地域変種と社会変種 12. ことばと社会(2): ピンジンとクレオール 13. 講義内容の総括と学習到達度の確認 			

科目名	英語学入門Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語を言語学的観点から理論的に観察し、英語の特徴を他言語との比較を通して理解する	講義	
担当者	吉本 真由美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内の取り組み(小テストやディスカッション等):30% ・授業内や授業後に提出する課題:30% ・最終試験:40% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業内課題: 次の回の冒頭に解説やフィードバックをおこなう。 小テストおよび最終試験: 模範解答と解説をmanabaで提示する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業内の取り組み、課題、最終試験</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし(資料配布)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>はじめての英語学[改訂版] 著者名:長谷川瑞穂 出版社:研究社,2014年。(978-4-327-40165-8) 日英対照 英語学の基礎 著者名:三原健一、高見健一 出版社:くろしお出版,2013年。(978-4874246009) グローバルコミュニケーションのための英語学概論 著者名:井上逸兵 出版社:慶応義塾大学出版会,2015年(978-4766422139)</p>			

科目名	英語科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中 章愛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 伝統的教授法の問題点を理解し、これからの英語教育に何が必要かを理解する。また、学習指導要領における外国語教育の目標と指導内容について学ぶ。これらの学習を通して、課題意識を持って授業を組み立てる態度を養う。</p> <p>[授業概要] 近年注目を集めている「フォーカス・オン・フォーム」という学習者の気付きを支援する指導法を学習することに加え、学習指導要領の3つの資質・能力を踏まえた指導について基本的な知識と技能を身に付ける。また、小学校における外国語活動・外国語科の学習内容を踏まえた、中学校・高等学校の授業づくりの方法や英語の授業における異文化理解の在り方、ALTとのチーム・ティーチングの方法についても学習する。さらに、学習到達目標に基づく授業づくりや観点別評価等の評価の在り方を確認し、考查問題の作成等の言語能力の測定と評価についても学ぶ。模擬授業では、主に、前半はICT等の活用や生徒の習熟度に応じた授業づくりを実践し、後半は5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び領域を統合した指導に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。</p> <p>* 授業では manaba を多用するので、PC 必携のこと。 また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録をしておくこと。</p> <p>* 学校現場で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、英語教員の役割 2. 英語教育観と第二言語習得研究 3. 4技能の指導の注意点 4. 学習指導要領(中学校・高等学校外国語科)の目標と指導内容) 5. 伝統的教授法の問題点とコミュニカティブ言語教授法 6. タスク中心教授法の理論的背景とその課題 7. 「聞くこと」と「読むこと」に関する授業映像視聴、英語の音声指導・文字指導 8. 「話すこと」と「書くこと」に関する授業映像視聴、英語の語彙・表現・文法の指導 9. 小テスト、指導法のワークショップ(授業担当教員による実演) 10. 授業の構成、指導手順、指導案の書き方 11. 模擬授業(1)(第1グループ) 12. 模擬授業(2)(第2グループ) 13. 模擬授業の反省とまとめ</p>			

科目名	英語科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中 章愛		
<p>[成績評価方法] 模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中のディスカッションへの参加)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 指導案・模擬授業は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>manabaでの小テストやレポート課題は、manabaにてフィードバックを行います。</p> <p>manabaを活用するため、必ず登録しておくこと。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新・グローバル時代の英語教育 著者名:岡秀夫編著 出版社:成美堂 (9784791972180)) Trend Scope 著者名:Jonathan Lynch, Kotaro Shitori 出版社:成美堂 (9784790000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』 著者名:和泉伸一 出版社:大修館書店 (978-4-469-24547-9) 中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (978-4304041617) 高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (978-4304041648)</p>			

S45010 [LGH2-034]

科目名	英語科指導法Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中 章愛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 「フォーカス・オン・フォーム」による指導法を理解する。また、学習指導要領の3つの資質・能力(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」とともに、評価の在り方及び授業の指導計画について理解し、実際に授業を担当できる能力の基礎を築く。</p> <p>[授業概要] 近年注目を集めている「フォーカス・オン・フォーム」という学習者の気付きを支援する指導法を学習することに加え、学習指導要領の3つの資質・能力を踏まえた指導について基本的な知識と技能を身に付ける。また、小学校における外国語活動・外国語科の学習内容を踏まえた、中学校・高等学校の授業づくりの方法や英語の授業における異文化理解の在り方、ALTとのチーム・ティーチングの方法についても学習する。さらに、学習到達目標に基づく授業づくりや観点別評価等の評価の在り方を確認し、考查問題の作成等の言語能力の測定と評価についても学ぶ。模擬授業では、主に、前半はICT等の活用や生徒の習熟度に応じた授業づくりを実践し、後半は5つの領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」及び「書くこと」)の指導及び領域を統合した指導に焦点を当てた言語活動を取り入れることで、これらの指導法について体験的に学習する。授業は、模擬授業と講義の両方を行うが、講義については内容が定着しているか小テストを実施する。</p> <p>* 授業では manaba を多用するので、PC 必携のこと。 また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録をしておくこと。</p> <p>* 学校現場で教諭を務めた経験のある教員が、その経験を活かして、特に英語学習が苦手な生徒への教授法を指導する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。 テキストの指定された箇所を予習し、模擬授業前には学習指導案・教材を準備しておくこと。(詳細は授業中に説明します。)講義の際には、ノートをとる準備をしておくこと。</p> <p>[授業計画] 1. 学習指導要領の3つの資質・能力を育むための授業、教科用図書に基づく指導 2. 小学校学習指導要領(外国語活動・外国語科)、小中高を通じた英語教育の在り方 3. 言語習得の3要素とフォーカス・オン・フォーム、フォーカス・オン・フォームに基づいた授業映像の視聴 4. 異文化理解、ALTとのチーム・ティーチングに関する授業映像視聴、英語でのインタラクション 5. 学習到達目標に基づく授業づくりと評価の在り方、考查問題の作成方法、教材・ICTの活用 6. 生徒の特性・習熟度に応じた授業づくり 7. 5つの領域の指導、領域統合型の授業映像視聴 8. 模擬授業の準備 9. 模擬授業(1) (第1グループ) 10. 模擬授業(2) (第2グループ) 11. 模擬授業(3) (第3グループ) 12. 模擬授業の振り返り 13. まとめ</p>			

科目名	英語科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中 章愛		
<p>[成績評価方法] 模擬授業(20%)、小テスト(20%)、学習指導案(15%)、授業での取り組み(授業中の課題や発言など)(20%)、レポート(25%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>指導案・模擬授業は授業内でフィードバックを行います。</p> <p>manabaでの小テストやレポート課題は、manabaにてフィードバックを行います。</p> <p>manabaを活用するため、必ず登録しておくこと。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 新・グローバル時代の英語教育 (前期に引き続き使用) 著者名:岡秀夫編著 出版社:成美堂 (9784790000000) Trend Scope (前期に引き続き使用) 著者名:Jonathan Lynch, Kotaro Shitori 出版社:成美堂 (9784790000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』 著者名:和泉伸一 出版社:大修館書店 (978-4-469-24547-9) 中学校学習指導要領解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (978-4304041617) 高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編 著者名:文部科学省 出版社:開隆堂出版 (978-4304041648)</p>			

S45020 [LGH2-035]

科目名	英語圏文学 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア(講義)	
担当者	坂元 敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

アメリカ小説・戯曲を読み、作品中に使用されるさまざまな英語表現を学ぶとともに英語の読解力をつける。
英語で外国文学作品を味わう方法を学ぶ。
アメリカ文学作品と時代背景、またアメリカの社会・文化について理解する。
作品の朗読や台詞の発表を通して、コミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。

[授業概要]

【メディア授業】

この授業では、代表的なアメリカ文学作品の一部(抜粋)を英語で読み、その中の英語表現について学ぶとともに、作品に見られる「アメリカらしさ」とは何かについて考える。作品の背景となる時代やアメリカの社会・文化に焦点をあて、各自が調べたり発表したりすることによって、異なる文化の理解を目指す。また声に出して台詞や文章を読むことによって、英語による文学作品を味わい、自然な英語やコミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。作品の多くは映画化されているので、映像作品と原作の違いなどについても考えたい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

課題とした文学作品を次の授業までに読み、発表する。辞書を使用してテキストを細かく読み、理解してから授業に臨むこと。また、レポートは字数や形式を守り、作品に関するリサーチをじゅうぶん行うこと。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]

- 第1回: イントロダクション
- 第2回: 小説と戯曲、アメリカ文学史概観
- 第3回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウインクル』を読む
- 第4回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウインクル』の時代背景と社会
- 第5回: オルコット『若草物語』を読む
- 第6回: オルコット『若草物語』と南北戦争
- 第7回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』を読む
- 第8回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』と20年代
- 第9回: フォークナー『響きと怒り』を読む
- 第10回: フォークナー『響きと怒り』とアメリカ南部
- 第11回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』を読む
- 第12回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』とアメリカの家族
- 第13回: まとめ

科目名	英語圏文学 I	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア(講義)	
担当者	坂元 敦子		

[成績評価方法]

テスト(30%)、課題(40%)、授業参加(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

授業内でおこない、マナバも使用します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

プリント配布 著者名:

[参考書(ISBN)]

小説の技法 著者名:D. ロッジ 出版社:白水社 (9784560000000)

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・翻訳を通して原作を読み、物語の力を感じる。 ・原作の英文も一部読むので、時代や作者によって変わる英語の文体の違いを知る。 ・イギリスやアイルランドの文学作品とその時代背景、社会や文化について理解する。 ・文学作品を読み、そのなかから問題を探し、調べ、考え、表現する。 <p>[授業概要]</p> <p>【メディア授業】 この授業では、イギリスやアイルランドの代表的な文学作品の一部(抜粋)を英語で読み、その中の英語表現について学ぶとともに、作品に見られる「イギリスらしさ・アイルランドらしさ」とは何かについて考える。作品の背景となる時代や社会・文化にも焦点をあて、各自が調べたり発表したりすることによって、異なる文化の理解を目指す。また声に出して台詞や文章を読むことによって、英語による文学作品を味わい、コミュニケーションの道具を超えた言語表現に触れる。作品の多くは映画化されているので、映像作品と原作の違いなどについても考えたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>図書館やインターネットを使用して、講義関連内容の情報を収集し、興味のある文献を読んでおく。 各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <p>第1回 イン트로ダクション 第2回 小説と戯曲、イギリスとアイルランド文学史概観 第3回 スウィフト『ガリバー旅行記』を読む: 18世紀の旅行記文学 第4回 スウィフト『ガリバー旅行記』: 「憤怒」の人スウィフトと、フーイヌムの悲しみ 第5回: ディケンズ『オリバー・ツイスト』を読む 第6回: ディケンズ『オリバー・ツイスト』: 階級社会 第7回: ハーディ『ダーバヴィル家のテス』を読む 第8回: ハーディ『ダーバヴィル家のテス』 運命と意思 第9回: ジョイス『ダブリン市民』を読む ポスト植民地文学 第10回: ジョイス『ダブリン市民』: 意識の流れ 第11回: ベケット『ゴドーを待ちながら』を読む: 世界に放り出された人間 第12回: ベケット『ゴドーを待ちながら』を読む 戦争の記憶 第13回: まとめ</p>			

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		メディア(講義)	
担当者	森 尚也		
<p>[成績評価方法] 音読テスト20% (母音、子音、アクセント、イントネーション、強弱、間など)、最終レポート80%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaやメール等でおこなう</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『ゴドーを待ちながら』 著者名:サミュエル・ベケット 出版社:白水社 (ISBN-10: 4560071837)</p> <p>[参考書(ISBN)] 『ベケット大全』 著者名:高橋康也監修 出版社:白水社 (ISBN-10: 4560046662) 『ガリヴァー旅行記』を読む 著者名:富山太佳夫 出版社:岩波書店 (ISBN-10: 4000042491) 二十世紀「英国」小説の展開 著者名:高橋和久・丹治愛編著 出版社:松柏社 (978-4-7754-0269-6) 『ガリヴァー旅行記』 著者名:スウィフト (高山宏訳) 出版社:研究社 (4327180521) イェイツとジョイスの時代のダブリン 著者名:リチャード・ケイン 出版社:小鳥遊書房 (978-4-909812-37-7)</p>			

科目名	英語史 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語の歴史を知り、現代英語を知る。	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時代において英語に変化をもたらした社会・文化的要因について理解する。(外面史の理解) ・現代英語が示す様々な文法的特異性を歴史的变化の観点から理解する。(内面史の理解) <p>[授業概要]</p> <p>英語という言葉が歴史上辿ってきた変化について、各時代背景を踏まえつつ、他言語との接触・文字と音声・語形・統語法の観点から講義する。英語を取り巻く状況の変化の歴史(外面史)と英語そのものに生じた変化(内面史)の2つの観点を行き来しながら話を進める。特に内面史においては、各時代に英語に生じた変化が現代英語のどのような特徴に繋がっているかという観点を重視しながら解説していく。</p> <p>資料は授業ごとに配布する。毎回の授業の終わりに、授業担当者が出す問題への解答や自身の質問・コメントを書いて提出することが求められる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習: 次回授業までに参考書に挙げている寺澤(2008)の該当箇所を読んで予習をすると良い。 ・復習: 授業で配布した資料を読み返しておくこと。 ・「英語学入門Ⅰ」「英語学入門Ⅱ」をすでに履修していることが望ましい。 <p>※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに(英語の外面史と内面史、現代英語の謎) 2. 英語のルーツ(1): 語族と印欧祖語 3. 英語のルーツ(2): 印欧祖語からゲルマン祖語へ 4. 古英語期から中英語期の時代背景 5. 英語と外国語の接触(1): 古英語期 6. 英語と外国語の接触(2): ノルマン征服以降 7. ローマン・アルファベットの歴史 8. 文字と音声(1): 古英語～中英語 9. 文字と音声(2): 大母音推移 10. 語形(1): 古英語の豊富な屈折 11. 語形(2): 屈折の平板化、消失 12. 格・語順・一致からみた英語の文法変化 13. 講義の総まとめ 			

科目名	英語史 I	前期	2 単位
サブタイトル	英語の歴史を知り、現代英語を知る。	講義	
担当者	吉本 真由美		

[成績評価方法]

授業内課題 (40%) + 試験 (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

授業内課題はその次の回の授業の冒頭にフィードバックをおこなう。
試験は実施後にmanabaに講評を掲載し、希望に応じて答案を返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]

学科DP番号/DP内容: 国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 授業内課題、試験

[教科書 (ISBN)]

なし

[参考書 (ISBN)]

『英語の歴史—過去から未来への物語—』 著者名: 寺澤盾 出版社: 中公新書, 2008年. (9784120000000)

『英語の歴史』(テイクオフ英語学シリーズ①) 著者名: 松浪有(編) 出版社: 大修館書店, 1996年. (978-4469141351)

The Cambridge Encyclopedia of the English Language, 3rd Edition. 著者名: David Crystal 出版社: Cambridge University Press. (2018) (9781110000000)

科目名	英語史Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	英語の変化・バリエーション	講義	
担当者	吉本 真由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時代の英語の特徴を、実際のテキストを通して理解する。 ・英語の文法の成立過程について基礎的な事項を理解する。 ・時代や地域による英語のバリエーションを知る。 <p>[授業概要]</p> <p>以下の3つのテーマに沿って講義を進める。</p> <p>(1) 英語の特徴の変遷(古英語期から初期近代英語期まで):各時代の代表的なテキストを取り上げ、その言語的特徴を時代背景も含めながら解説する。</p> <p>(2) 統語法の歴史(否定辞not、助動詞do、法助動詞の発達):主に語順の固定化という要因を中心に、3つの文法現象の変化の過程について説明する。</p> <p>(3) 英語の変種について(アメリカ、オーストラリア):それぞれの国に英語がもたらされた歴史を踏まえながらそれぞれの英語の変種の特徴を概観する。</p> <p>※資料は授業ごとに配布する。毎回の授業の終わりに、授業担当者が出す問題への解答や自身の質問・コメントを書いて提出することが求められる。</p> <p>※「英語史Ⅰ」の履修は前提としないが、参考書の寺澤(2008)を読んでおくことを推奨する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習:次回授業までに参考書に挙げている宇賀治(2000)や寺澤(2008)の該当箇所を読んで予習をすると良い。 ・復習:授業で配布した資料を読み返しておくこと。 ・「英語史Ⅰ」や「英語学入門Ⅰ」「英語学入門Ⅱ」をすでに履修していることが望ましい。 <p>※各回、予習復習合わせて4時間程度</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに(「英語史Ⅰ」のダイジェスト) 2. 古英語の語形成(複合語、派生、品詞転換、屈折) 3. 古英詩の特徴:『ベオウルフ』 4. 中英語の特徴:『カンタベリー物語』 5. 初期近代英語期(1):シェイクスピアの英語 6. 初期近代英語期(2):欽定訳聖書の英語 7. 統語法の変化(1):否定辞notの歴史 8. 統語法の変化(2):助動詞do(前編) 9. 統語法の変化(3):助動詞do(後編) 10. 統語法の変化(4):法助動詞のサイクル 11. 英語の変種(1):アメリカ英語 vs. イギリス英語 12. 英語の変種(2):オーストラリア英語 13. 講義の総まとめ 			

科目名	英語史Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語の変化・バリエーション	講義	
担当者	吉本 真由美		

[成績評価方法]

授業内課題 (40%) + 試験 (60%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

※授業内課題はその次の回の授業の冒頭にフィードバックをおこなう。
 ※試験は実施後にmanabaに講評を掲載し、希望に応じて答案を返却する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]

学科DP番号/DP内容: 国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法: 授業内課題、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法: 授業内課題、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法: 授業内課題、試験

[教科書 (ISBN)]

なし

[参考書 (ISBN)]

『英語史』(現代の英語学シリーズ⑧) 著者名: 宇賀治正朋 出版社: 開拓社, 2000年. (978-4758902182)

The Cambridge Encyclopedia of the English Language, 3rd Edition 著者名: David Crystal 出版社: Cambridge University Press.

(2018) (9780000000000)

『英語の歴史—過去から未来への物語』 著者名: 寺沢盾 出版社: 中公新書, 2008年. (978-4121019714)

科目名	開発協力と政治		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート		○	グループワーク	○
プレゼンテーション		○	実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>国家の発展という、恐らく多くの人々が考えることは、経済的発展である。しかしながら、数ある重要な視点のひとつとして、国家の政治発展を上げることが出来るが、今迄、ほぼ注目される機会は少なかった。更には、国際援助という、経済及び社会的インフラに関する対外援助という理解になってしまいがちではあるものの、本講義では、政治制度、行政制度及び公共政策における対外援助の変遷や動向及び開発途上国内の政治体制・行政制度や公共政策の基礎知識を深めることを目標とする。</p> <p>[授業概要]</p> <p>前半では、対外援助と政治発展との関係性や先進国や国際機関の開発途上国の政治発展のための援助の変遷及びその援助理由について取り上げる。また、後半では、国内の政治体制について事例を取り上げる。政治発展や政治過程に関係するステークホルダーも変化しており、様々な地域の視点から、グローバル化及びパンデミック禍の政治発展への援助及びガバナンス(様々な定義があるが、統治能力)の構築を取り上げる。国連持続可能な開発のためのアジェンダ2030(SDGs)との関連性についても概説する。授業の中で、授業内容に関する資料をもとにディスカッションを行うこともある。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>前回の授業内容を復習し理解し、次回の授業を予習しておくこと。毎日の国際関係に関する新聞記事を読むことなど、各回、予習復習合わせて4時間程度を費やすこと。外部のセミナー・シンポジウムに積極的に参加すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> なぜ、いま政治発展なのか 発展概念の多様化 政治発展と開発との関係性(なぜ、政治が国家の発展(経済的及び社会的)に影響することがあるのか。) 対外援助と福祉国家 対外援助と民主主義発展援助 開発と政治(比較政治学と政治発展論、グッド・ガバナンスと民主化論、国際機関の議論) 開発と行政(ローカル・ガバナンス: 中央—地方関係と地方政府への支援、地方分権化) 途上国に見られる公共政策の形 様々な途上国国家体制(進む権威主義体制、新興民主主義はどこへ)、国家の役割、脆弱国家 田南米地域の政治体制 太平洋州地域の政治・行政体制(学外講師) 政治発展に関する市民社会の役割(権威主義体制に対する市民の抵抗) SDGsと政治発展の関係性 				

科目名	開発協力と政治	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] ディスカッションへの参加度(30%)、リアクションペーパー(30%)、テスト(10%)、期末レポート試験(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)]</p>			

S43265 [LGH3-011]

科目名	観光英語 I	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

国内外の観光、旅行に関する知識を得ながら実践的な英語力の増強に努め、観光英語検定試験2級3級の合格を目指す。

[授業概要]

テキストを基に、郵便物の送付や両替、ホテルでのクレーム対応など、旅行・観光業における実際の仕事現場を再現した具体的なやり取りを通じて、リスニング・スピーキングのスキルを訓練する。また、関連文書を読んで設問に取り組むことによって必要な基本知識や語彙力を身につけ、リーディング・ライティングスキルも強化する。ダイアログの練習や予備知識・専門知識の確認などの場面では、ペアやグループワークを多用し、受講生間のコミュニケーション能力を高める。さらに、口頭発表によってより実践的な英語力の強化、プレゼンテーション能力の育成をはかる。授業内外での学びを通じてグローバルな視野を広げ、異文化・風習に対する思考を深めると同時に、自国の文化や風習を見つめ直していく。旅行・観光業や英語を使用する職場での就職希望者にはもちろん、そうでない者も、将来身近にいる外国人とやり取りをしたり海外旅行をしたりする際にも役立つ内容とする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- ・授業で取り上げるトピックについて、インターネット等で予備知識を得る
 - ・日頃から関連するニュースや英語に関心を持ち、「自主的、積極的な学び」を行う
 - ・学期に一度の口頭発表の準備(練習)
- 以上をふまえ、各回予習復習合わせて2時間程度を目安とする

[授業計画]

1. Introduction + Unit 1: Travel Information
2. Unit 1: Travel Information
3. Unit 2: At the Airpor
4. Unit 2: At the Airpor
5. Unit 3: Hotel
6. Unit 3: Hotel
7. Unit 4: Dining
8. Unit 4: Dining
9. Unit 5: Asking and Giving Directions
10. Unit 5: Asking and Giving Directions
11. Unit 6: Buses and Trains
12. Unit 6: Buses and Trains
13. Review

科目名	観光英語 I	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
<p>[成績評価方法] 筆記試験(50%)、口頭発表(30%)、提出物・授業態度など(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・筆記試験終了後、授業中に解答解説を行う ・口頭発表の点数的な評価は、授業内で説明する評価基準にしたがって講師が行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] English for Tourism-Intermediateステップアップ観光英語 著者名:観光英検センター編 出版社:三修社 (ISBN978-4-384-33436-4 C1082)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	観光英語Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

国内外の観光、旅行に関する知識を得ながら実践的な英語力の増強に努め、観光英語検定試験2級3級の合格を目指す。

[授業概要]

テキストを基に、旅行の際の空港でのチェックインやホテルの予約など、旅行・観光業における実際の仕事現場を再現した具体的なやり取りを通じて、リスニング・スピーキングのスキルを訓練する。また、関連文書を読んで設問に取り組むことによって必要な基本知識や語彙力を身につけ、リーディング・ライティングスキルも強化する。ダイアログの練習や予備知識・専門知識の確認などの場面では、ペアやグループワークを多用し、受講生間のコミュニケーション能力を高める。さらに、口頭発表によってより実践的な英語力の強化、プレゼンテーション能力の育成をはかる。授業内外での学びを通じてグローバルな視野を広げ、異文化・風習に対する思考を深めると同時に、自国の文化や風習を見つめ直していく。旅行・観光業や英語を使用する職場での就職希望者にはもちろん、そうでない者も、将来身近にいる外国人とやり取りをしたり海外旅行をしたりする際にも役立つ内容とする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- ・授業で取り上げるトピックについて、インターネット等で予備知識を得る
 - ・日頃から関連するニュースや英語に関心を持ち、「自主的、積極的な学び」を行う
 - ・学期に一度の口頭発表の準備(練習)
- 以上をふまえ、各回予習復習合わせて2時間程度を目安とする

[授業計画]

1. Introduction + Unit 7: Mailing and Money Exchange
2. Unit 7: Mailing and Money Exchange
3. Unit 8: Sightseeing (1)
4. Unit 8: Sightseeing (1)
5. Unit 9: Sightseeing (2)
6. Unit 9: Sightseeing (2)
7. Unit 10: Problems and Complaints
8. Unit 10: Problems and Complaints
9. Unit 11: Tour Conductor Duties
10. Unit 11: Tour Conductor Duties
11. Unit 12 Sightseeing in Japan
12. Unit 12 Sightseeing in Japan
13. Review

科目名	観光英語Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
<p>[成績評価方法] 筆記試験(50%)、口頭発表(30%)、提出物・授業態度など(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・筆記試験終了後、授業中に解答解説を行う ・口頭発表の点数的な評価は、授業内で説明する評価基準にしたがって講師が行う</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] English for Tourism-Intermediateステップアップ観光英語 著者名:観光英検センター編 出版社:三修社 (ISBN978-4-384-33436-4 C1082)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	観光実務論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本全国47都道府県の観光地理を理解できる ・JR運賃・料金の計算方法が理解できる ・『国内旅行業務取扱管理者試験』合格に相当する知識を養える <p>[授業概要]</p> <p>旅行業界における国家資格『旅行業務取扱管理者(国内)』に合格を目指す科目である。この資格は旅行業者が一店舗に一名以上必ず配置することが法令で決められているため、旅行業者を希望する学生は取得が望ましい。また ホテル・旅館・航空会社など観光周辺産業においても必要な知識を学び、かつ身に付けることは重要である。</p> <p>この科目は 国家試験3科目のうち 1科目 国内実務(国内観光地理とJR運賃・料金計算)を学習する。国家試験に合格するためには観光地理が重点科目である。地理の内容は多岐にわたるが、一般教養が身につく就職試験や社会に出てからも役に立つ科目である。旅行商品は現地調達のため、ツアーパンフレットを媒体とする商品で契約する。購買意欲を促進させるツアー内容とするには観光資源を学習することで試験対策並びに旅行実務を授業内で体験できる科目である。</p> <p>観光実務論 I と II 2科目受講をお勧めします I のみ受講も可能です</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎週、地理テストを行いますので前週に指定した範囲を学習すること。 地理の学習範囲が広いので、予習として観光地を「読める・調べる」でテキスト内容に沿った準備をしてくること 復習は予習プリントと授業で得た知識を合わせて毎回の学習範囲を専用ノートにまとめること ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <p>授業方法は 反転授業、プレゼンテーション、協同学習を行い講義型授業と併用します。 単純作業の繰り返しではなく、自主的に知識を定着させるため、学びのモチベーションを継続させよう。 授業で使用するテキストは必ず最新版を準備すること(参考書不要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 観光地理①(北海道) 運賃料金計算①基礎編 2. 国内観光地理②(東北) JR運賃料金計算② (運賃計算の基礎) 3. 国内観光地理③(関東) JR運賃料金計算③ (特例運賃計算) 4. 国内観光地理④(中部1) JR運賃料金計算④ (団体運賃計算) 5. 国内観光地理⑤(中部2) JR運賃料金計算⑤ (料金計算の基礎) 6. 1回～5回のまとめと復習テスト(地理60% 運賃計算40%) 解説と振り返り 7. 国内観光地理⑥(近畿) JR運賃料金計算⑥ (乗継割引計算) 8. 国内観光地理⑦(中国) 航空運賃料金計算 9. 国内観光地理⑧(四国) 宿泊料金計算 10. 国内観光地理⑨(九州・沖縄) バス・フェリー料金計算 11. 7回～11回のまとめと復習テスト(地理40% 運賃計算60%) 12. 過去問研究(地理問題の出題傾向をグループワークで探る) 13. 過去問研究(運賃料金のまとめ) 			

科目名	観光実務論 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
<p>[成績評価方法] 毎週の小テスト(30%) 定期試験(50%) 課題(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小テストは当日、課題は翌週にフィードバックします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 国内観光地理 著者名:株インク社 出版社:株インク社 国内旅行実務 著者名:株インク社 出版社:株インク社 旅に出たくなる地図 日本 著者名:帝国書院 出版社:帝国書院</p> <p>[参考書(ISBN)] 国内白地図 出版社:JTB能力開発</p>			

S43130 [LGH3-012]

科目名	観光実務論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>国家試験『国内旅行業務取扱管理者試験』合格に相当する知識を養える 旅行業法で条文の読み方及び内容を理解できる 旅行業約款で契約の成立から解除まで消費者と業者の両方の立場を理解できる 約款学習を通して契約書面を読める賢い消費者としての知識を養える</p> <p>[授業概要]</p> <p>国家資格『国内旅行業務取扱管理者試験』科目4科目のうち2科目(旅行業法、約款)を学ぶ科目である 旅行業法は法律を学ぶ。法律の条文がそのまま試験問題として出題されるため 当初は難しく感じるが、用語や表現方法に慣れることで理解を深めることができる。 約款は契約の流れを理解する。契約成立から解除まで旅行者と旅行業者側双方の立場を 理解する。 業法、約款は法律系を学ぶことで、卒業後の社会生活においてあらゆる契約に対応できる。また消費者として正しい知識を身につけることができる。</p> <p>観光実務論ⅠとⅡ 2科目受講をお薦めします Ⅱのみ受講も可能です</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>予習は前週に指定した範囲を専用ノートに要約してくる 授業中は専用ノートを参照にして学習し、修正があれば加える 復習で反復学習をする ※各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、旅行業法①(法の目的と登録) 2. 旅行業法②(営業保証金・取扱管理者・取引条件) 3. 旅行業法③(旅程管理・広告・旅行業協会) 4. 旅行業法④(禁止行為 まとめと小テスト) 5. 旅行業約款①(約款概説・募集型1) 6. 旅行業約款②(募集型2・3) 7. 旅行業約款③(受注型旅行・手配旅行) 8. その他約款④(バス・フェリー約款と実務) 9. その他旅行業約款⑤(国内航空・宿泊約款と実務) 10. 約款(まとめと小テスト) 11. 過去問研究(2023年度業法) 12. 過去問研究(2023年度約款) 13. 総復習と中間テスト 			

科目名	観光実務論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
<p>[成績評価方法] 定期試験以外のテスト 50% 定期試験 50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業日当日または翌週にコメントを添付して返却</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 旅行業法/約款 著者名:(株)インク社 出版社:(株)インク社</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S43140 [LGH3-013]

科目名	観光実務論Ⅲ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 国内旅行業務取扱管理者試験合格するための直前強化授業です。9月の本試験で合格圏内の点数を取得できることを目標とする。</p> <p>[授業概要] 観光実務論Ⅰ及びⅡでは、「国家試験の基礎を理解する」ことが目標でしたが、この授業では、合格基準ラインに達するため「問題を数多く解く」ことで本試験に合格することを目標とする。 基本問題→応用問題→国家試験過去問題→今年の予想模擬問題と、ひとつひとつクリアにして本試験に備える 原則：国内旅行取扱管理者試験を受験する学生(6月に受験申込済)が対象である</p> <p>★★★2024年度国家試験は9月2日(予定)のため、この授業は、8月1日～26日(注意：期間を変更することがあります)に集中講座として行う予定です。追って発表される日程に注意して下さい。★★★</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] この授業では 不得意科目の克服を模擬試験で合格ラインに到達できる授業をしますので 前期終了後集中開始日までに業法、約款、地理、運賃料金を復習しておくことが肝要です。 試験日より逆算して学習計画を立てて 基本的理解を深める学習しておいて下さい。 ※各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 旅行業法／プリント復習①(総則・登録制度) 2. 旅行業法／プリント復習②(営業保証金制度・取扱管理者制度) 3. 旅行業約款／プリント復習①(企画旅行1) 4. 旅行業約款／プリント復習②(企画旅行2) 5. 旅行業約款／プリント復習③(手配旅行) 6. 旅行業約款／プリント復習③(その他約款) 7. 国内実務／プリント復習①(JR運賃)・国内地理 8. 国内実務／プリント復習②(JR料金)・国内地理 9. 国内実務／プリント復習③(JRまとめ)・国内地理 10. 国内実務／プリント復習④(航空・宿泊)・国内地理 11. 模擬試験① 12. 模擬試験② 13. 模擬試験③／観光実務論まとめ 			

科目名	観光実務論Ⅲ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
<p>[成績評価方法] ●小テスト 40% ●期末テスト 60%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 国内演習過去問問題集 著者名:(株)インク社 出版社:(株)インク社</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S43150 [LGH3-014]

科目名	観光実務論Ⅳ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての旅行(海外及び国内)が取扱できる資格、『総合旅行業務取扱管理者』の合格を目指す。 世界の観光地理を理解できる 出入国手続きや海外実務など観光産業で必要とされる知識を理解できる <p>[授業概要]</p> <p>この科目では『総合旅行業務取扱管理者』試験の受験科目である『海外実務5科目』の内容を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出入国 旅券取得から海外出入国手続きを学ぶ出入国関係法令及び実務 ② 海外実務 時差計算、ホテル知識など ③ 海外地理 世界地理宿泊や食事や観光等のリザーベーション知識など幅広く学習する。 ④ 語学(英語)長文2題 ⑤ 国際航空運賃 <p>またこの科目は総合旅行業務取扱管理者試験に合格するレベルの知識を修得する。</p> <p>毎年 出入国法令や国際運賃のルール変更があるため 必ず最新版を準備すること。</p> <p>★★★ 集中講義として授業を行います。追って発表される日程に注意して下さい。 6月～8月(月に1回1コマ程度)、9月～10月(2コマ×5回の授業を予定★★★)</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>海外地理が国家試験学習の課題となるのでこの科目を中心とした授業外学習を行うこと 予習は指定した範囲を専用ノートにまとめてくること 復習は授業と専用ノートを照合して知識の積み上げ学習を行う 試験対策として毎週小テストを行う ※各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出入国法令実務① + 海外地理(ヨーロッパ①) 2. 出入国法令実務② + 海外地理(ヨーロッパ②) 3. 出入国法令実務③ + 海外地理(ヨーロッパ③) 4. 海外実務① + 海外地理(アジア①) 5. 海外実務② + 海外地理(アジア②) 6. 海外実務③ + 海外地理(南北アメリカ) 7. 海外実務④ + 海外地理(アフリカ) 8. 国際航空運賃① + 海外地理(中近東) 9. 国際航空運賃② + 海外地理(オセアニア) 10. 国際航空運賃③ + 海外地理(過去問) 11. 国際航空運賃④ + 海外地理(過去問) 12. 英語① + 海外地理(過去問) 13. 英語② + 海外地理(過去問) 			

科目名	観光実務論Ⅳ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子		
<p>[成績評価方法] 小テスト50%, 授業内テスト50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 海外旅行実務 著者名:(株)インク社 出版社:(株)インク社 海外観光地理 著者名:(株)インク社 出版社:(株)インク社 旅に出たくなる地図(世界) 著者名:帝国書院 出版社:帝国書院 総合旅行演習問題集 著者名:(株)インク社 出版社:(株)インク社</p> <p>[参考書(ISBN)] 海外地理白地図 著者名:JTB能力開発</p>			

S43155 [LGH3-015]

科目名	観光中国語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條 智恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. 実用的な会話表現をマスターし、会話力のレベルを高める。音読やロールプレイ練習などを通じて、発音とリスニング力を向上させる。</p> <p>2. 授業で取り上げた中国文化や中国人の考え方などを知ることは広い中華圏社会を理解する糸口になる。観光で日本に訪れる中華圏の観光客との異文化コミュニケーションについての基礎知識を習得する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、1年目の初級中国語の学習を終えた受講生を対象に、より実用的な会話表現を習得していく。1年間の学習で、会話力を高めるのと同時に、中国をはじめとする中国語圏社会の文化・習慣・価値観・考え方などを広く深く理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。 音声をたくさん聞き、音読練習を繰り返し行うことにより、学習内容を定着させる。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1課 2. 第1課 3. 第2課 4. 第2課 5. 第3課 6. 第3課 7. 第4課 8. 第4課 9. 第5課 10. 第5課 11. 第6課 12. 第6課 13. まとめ、成果発表 			

科目名	観光中国語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條 智恵		
<p>[成績評価方法] 授業中の発表20%、小テスト30%、成果発表50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『日中文化Q&A』 著者名:李軼倫 出版社:金星堂 (978-4-7647-0727-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	観光中国語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條 智恵		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. 実用的な会話表現をマスターし、会話力のレベルをさらに高める。音読やロールプレイ練習などを通じて、発音とリスニング力を向上させる。</p> <p>2. 授業で取り上げた中国文化や中国人の考え方などを知ることは広い中華圏社会を理解する糸口になる。観光で日本に訪れる中華圏の観光客との異文化コミュニケーションについての基礎知識を習得し、理解を深める。</p> <p>[授業概要]</p> <p>この授業では、「観光中国語Ⅰ」の学習を終えた受講生を対象に、より高度で実用的な会話表現を習得していく。1年間の学習で、会話力を高めるのと同時に、中国をはじめとする中国語圏社会の文化・習慣・価値観・考え方などを広く深く理解する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回、予習復習合わせて2時間程度の準備学修が必要。 音声をたくさん聞き、音読練習を繰り返し行うことにより、学習内容を定着させる。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第7課 2. 第7課 3. 第8課 4. 第8課 5. 第9課 6. 第9課 7. 第10課 8. 第10課 9. 第11課 10. 第11課 11. 第12課 12. 第12課 13. まとめ、成果発表 			

科目名	観光中国語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	東條 智恵		
<p>[成績評価方法] 授業中の発表20%、小テスト30%、成果発表50%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba。もしくは授業終了後、教室にて受付。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-2-2/中国語または朝鮮・韓国語によって日常的な交流ができる基本的な運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『日中文化Q&A』 著者名:李軼倫 出版社:金星堂 (978-4-7647-0727-6)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	観光論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子、橋本 亮一		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 観光や旅行の歴史や役割を学び、資格試験制度の概要を知る事によって、観光産業や旅行業への関心を高め、社会における観光や旅行の重要性を認識する。</p> <p>[授業概要] 日本ではこれまで、「観光」とは物見遊山の意味でしかなく、学問の対象として認められてこなかった。しかし今日では、経済発展や世界平和に貢献するものとして、「観光」や「観光学」が大いに注目を集めている。訪日外国人旅行者を中心とした観光産業の醸成や国内観光業の課題は、政府の重要取組課題であるが、コロナ禍での移動制限の中で観光産業の再生が喫緊の課題となっている。 この科目では、時代とともに変化する観光の意味と役割を理解し、旅行業や旅行商品の歴史と現状、新しい旅行ビジネスについて考え、またその観光業界に必要な資格試験制度の概要についての知識も深められるようにしたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 日頃から、観光や旅行に関するニュース等に関心を持つこと。 ※各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要</p> <p>[授業計画] 1. 観光とは何か(橋本) 2. 旅行業界の仕組み(橋本) 3. 店頭営業と団体営業(橋本) 4. 添乗業務の実際(橋本) 5. 旅行商品とマーケティング(橋本) 6. 観光まちおこし(橋本) 7. 旅行業界の将来像(橋本) 8. 前半の「まとめ」(橋本) 9. 観光業界の仕事(稲田) 10. 旅行業界資格試験(稲田) 11. 国内旅行業務取扱管理者試験の内容(稲田) 12. 総合旅行業務取扱管理者試験の内容(稲田) 13. 後半の「まとめ」(稲田)</p>			

科目名	観光論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	稲田 篤子、橋本 亮一		
<p>[成績評価方法] 提出課題(橋本)40% 平常点(橋本)10% 毎回の提出課題(稲田)40% 平常点(稲田)10%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題についてのフィードバックは翌週回答</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 最新 業界の常識 よくわかる旅行業界 著者名:橋本亮一 出版社:(日本実業出版社) (9784530000000)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S42060 [LGH1-024]

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	政策調査入門	演習	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	国際協働オンライン学習	実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 国際公共政策、地方分権、市民社会に関する基本的な文献を講読する。 論文やレポートの書き方、文献の引用法や参考文献リストの書き方を学ぶ。 海外の交流のある大学等の教員の講義を聴いた後に、学生との意見交換を行う予定である。 国際協働オンライン学習の要素を取り入れて行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業の復習をするとともに、次回の授業の予習をしておくこと。様々なことに興味を持ち、好奇心をもって、学習に臨むこと。各回、関心のある国際情勢に関する日英新聞記事を持ってくること。各回、予習復習2時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. 論文などの文献の検索方法(図書館で実施する) 2. 論文及びレポートの書き方 3. 行政学とは 4. 政策過程論 5. 地方分権とは 6. 公共政策論 7. 保健政策比較 8. 教育政策比較 9. 行政の役割 10. 企業の役割 11. 市民社会の役割 12. 公民協働(学外講師) 13. 海外の公共政策研究</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	政策調査入門	演習	
担当者	野口 和美		

[成績評価方法]

ディスカッションへの参加度:30%、レポート課題:40%、期末レポート試験:30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

mana以上にコメントを載せます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書 (ISBN)]

政策リサーチ入門 仮説検証による問題解決の技法 増補版 著者名:伊藤修一郎 出版社:東京大学出版会 (9784130000000)
ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方 著者名:石井一成 出版社:ナツメ社 (9784820000000)

[参考書 (ISBN)]

基礎からわかる 論文の書き方 著者名:小熊英二 出版社:講談社現代新書 (978-4065280867)

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 本講義では、履修者の興味ある分野の中から新書程度の本を数冊選び、輪読し、内容について討論する。また、開発問題に関する特定のテーマについて各自レポートを作成し、発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習あわせて4時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、各受講者のテーマの確定 2.それぞれについての参考文献の選定 3.テキスト「開発問題」について輪読と討論① 4.テキスト「開発問題」について輪読と討論② 5.テキスト「開発問題」について輪読と討論③ 6.テキスト「開発問題」について輪読と討論④ 7.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑤ 8.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑥ 9.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑦ 10.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑧ 11.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑨ 12.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑩ 13.総括</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法] 課題(50%)、期末レポート(50%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時のレポート発表についてコメントとフィードバックをする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S46002 [LGH3-025]

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 このゼミでは、特にヨーロッパと南アジアという2つの地域を対象に、歴史・文化、宗教などについて学び、文献の輪読や最新情報をもとに、論文執筆のための思考力や表現力を身につけていく。 初回のガイダンスで受講者それぞれに興味ある分野の中から共通のテーマを設定した上で、輪読する文献を定める。プレゼンテーションにおいては、特定のテーマについて参考文献の枠を広げ、関連資料を読み解き、論点の整理と考察を行う。ディスカッションを通じてフィードバックをえながら、最後にレポートとして発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス、共通テーマの選定と輪読する文献の調整 2. 各共通テーマについての文献と発表準備についての確認 3. 文献の輪読とディスカッション 4. 文献の輪読とディスカッション 5. 文献の輪読とディスカッション 6. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 7. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 8. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 9. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 10. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 11. 文献の輪読とディスカッション、プレゼンテーション 12. 文献の輪読とディスカッション、レポート発表 13. 文献の輪読とディスカッション、レポート発表</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし (授業中に紹介する)</p>			

S46003 [LGH3-025]

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解できる。

[授業概要]

次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。

ひとつの国・地域を研究する切り口はさまざまであるが、ここでは人種・民族、ジェンダーに焦点を当てて、地域としては日米を考察の対象とする。これらのキーワードは独立しているものではなく相互に絡み合っているし、歴史・政治・経済・教育といった大きな枠組みを考慮する必要もある。それぞれをテーマとする文献解題を行うことによって社会の多層性、多文化性への理解を深める。

文献解題に際しては、論文作成に必要なアカデミック・スキルの要点を確認し、文献の批判的・論理的思考を身につけ、文献解題の演習を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]

1. ガイダンス
2. 情報に対するアカデミックな態度
3. 文書情報の種類、特徴、利用法
4. データベース活用法
5. データベース活用演習@大学図書館
6. 文献検索演習
7. クリティカル・リーディング
8. クリティカル・リーディング演習
9. 文献読解演習(ジェンダー): 発表とディスカッション
10. 文献読解演習(人種・民族): 発表とディスカッション
11. 文献読解演習(教育): 発表とディスカッション
12. 文献読解演習(多文化社会): 発表とディスカッション
13. まとめ

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: レポート、発表</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし。資料配布</p> <p>[参考書 (ISBN)] 『アカデミック・スキルズ: 大学生のための知的技法入門新版』 著者名: 佐藤・湯川・横山・近藤編 出版社: 慶応義塾大学出版会</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	Understanding identity through exploring gender, language, and diversity.	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 In the first semester, students will first learn about essential theories about identity, gender, and language. Next, students will look at international case studies about issues of language, gender, and identity, and compare them to contemporary Japanese society. The instructor will often provide a short lecture and academic English guidance. However, the main focus of each class will be student discussion. At the end of the first semester, students are expected to choose their thesis topic (tentative) and prepare a short report about it.</p> <p>Please note that although this seminar uses both Japanese and English, students are expected to submit homework and do presentations in English.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to the seminar goals, choosing first-semester case studies 2. Introduction to fundamental concepts: What is identity? What is intersectionality? 3. Introduction to fundamental concepts: What is gender? How does it connect to identity? 4. Introduction to fundamental concepts: What is language? How does it connect to identity? 5. Case Study ①: Gender 6. Case Study ②: Gender 7. Case Study ③: Language and education 8. Case Study ④: Diversity 9. Case Study ⑤: Diversity 10. Fieldwork Planning 11. Fieldwork: Connecting with diversity in Kobe 12. Final report and presentation guidance 13. Student presentations about current status of research interests <p>***Please note the syllabus may change depending on student progress and interests.</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	Understanding identity through exploring gender, language, and diversity.	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] The instructor will provide students with materials.</p>			

S46007 [LGH3-025]

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 本ゼミでは、朝鮮半島に関する基礎知識を習得するために複数のテキストを選んで輪読する。 具体的な進め方としては、①ゼミ参加者は毎回、共通テキストの該当箇所を読んでくる(自宅学習)。授業では、②発表担当者がレジュメを基にテキスト要約・批評の発表をし、③全員でディスカッションをする。学期を通して2冊程度のテキストを扱うが、テキストはゼミ参加者が確定した後に参加者の関心に合わせて教員が選定する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.ガイダンス(分担当決め) 2.ゼミ関連映画鑑賞① 3.ゼミ関連映画鑑賞②映画内容に関するディスカッション 4.テキストの輪読とディスカッション① 5.テキストの輪読とディスカッション② 6.テキストの輪読とディスカッション③ 7.テキストの輪読とディスカッション④ 8.テキストの輪読とディスカッション⑤ 9.テキストの輪読とディスカッション⑥ 10.テキストの輪読とディスカッション⑦ 11.テキストの輪読とディスカッション⑧ 12.テキストの輪読とディスカッション⑨ 13.テキストの輪読とディスカッション⑩、まとめ</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] 別途案内をする。</p> <p>[参考書 (ISBN)] 随時紹介</p>			

S46008 [LGH3-025]

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	3回生ゼミ	演習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 卒論に必要な基礎知識及び研究技法を鍛えるため、中国語圏の文化研究に関連する文献に基づいて輪読する。最終的に各自のテーマについての発表を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。 授業中の議論に参加できるように、自分の担当回以外の回でも、輪読する文献を事前に読むこと。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション 2.輪読発表 3.輪読発表 4.輪読発表 5.輪読発表 6.輪読発表 7.輪読発表 8.輪読発表 9.アカデミック・スキルの復習 10.自分の興味あるテーマを仮に決める(全員発表) 11.各自のテーマに関する資料・先行研究の整理 12.発表と討論 13.発表と討論</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習 I	前期	2 単位
サブタイトル	3回生ゼミ	演習	
担当者	莊 千慧		

[成績評価方法]

授業での輪読発表(30%)、最終プレゼンテーション(30%)、期末レポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaで行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書 (ISBN)]

適宜文献資料をコピーして配布する。

[参考書 (ISBN)]

『レポート・論文の書き方入門』 著者名:河野 哲也 出版社:慶應義塾大学出版会、1100円+税 (9784770000000)

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル	国際公共政策における市民社会の役割	演習	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。</p> <p>[授業概要] 前期に引き続き、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。参加学生各人の興味のあるテーマについて論証やレポート作成などに取り組み、卒業研究作成の準備とする。選択したテーマについてレジュメを作成し、口頭発表を行う。また、国内外の大学や研究所の専門家の講義を聴き、意見交換する場を設ける予定である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。予習復習2時間程度。各回、関心のある国際情勢に関する新聞記事を持つてくること。</p> <p>[授業計画] 1. 国際公共政策(1) 2. 国際公共政策(2) 3. テーマ選択(1) 4. テーマ選択(2) 5. 課題や問題点の設定(1) 6. 課題や問題点の設定(2)(学外講師と担当教員との協働ゼミ) 7. 資料収集と分析、検証(1) 8. 資料収集と分析、検証(2) 9. 資料収集と分析、検証(3) 10. 中間のとりまとめと検討(1) 11. 中間のとりまとめと検討(2) 12. レポート作成と調整(1) 13. レポート作成と調整(2)</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	国際公共政策における市民社会の役割	演習	
担当者	野口 和美		

[成績評価方法]
授業への参加度(30%)、レポート(40%)、ディスカッション(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
mana上でコメントを載せます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書 (ISBN)]

政策リサーチ入門 増補版 著者名:伊藤修一郎 出版社:東京大学出版会 (9784130000000)
SDGsを学ぶ:国際開発・国際協力入門 著者名:高柳 彰夫(著、編集)、大橋 正明(著、編集) 出版社:法律文化社 (978-4589039699)

[参考書 (ISBN)]

指定しない。

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	室屋 安孝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート		○	グループワーク	
プレゼンテーション		○	実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。</p> <p>[授業概要] 前期に引き続き、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。このゼミでは、特にヨーロッパと南アジアという2つの地域を対象に、歴史・文化、宗教などについて学び、文献の輪読や最新情報をもとに、論文執筆のための思考力や表現力を身につけていく。毎回、担当者がレジュメまたはスライドを用意し、特定の課題についてプレゼンテーションを行う。フィードバックをもとに最後に研究レポートとして発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、レポート作成の準備 2. 個別テーマ、文献の選択 (1) 3. 個別テーマ、文献の選択 (2) 4. 文献の批評と問題点の設定 (1) 5. 文献の批評と問題点の設定 (2) 6. 関連文献の収集と分析 (1) 7. 関連文献の収集と分析 (2) 8. レポートの全体構想と検討 (1) 9. レポートの全体構想と検討 (2) 10. レポート作成と検証 (1) 11. レポート作成と検証 (2) 12. レポート作成と検証 (3) 13. 研究レポートの発表 				

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] 授業中に指示する。</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業中に紹介する。</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	Deepening understanding of issues of identity, diversity, language, and gender.	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。</p> <p>[授業概要] 前期に引き続き、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 In the second semester, students will deepen their understanding of course themes (gender, language, diversity, and identity) through academic texts, class discussions, and media. Each student will complete two short presentations about their research project. This course will have ample guidance on writing a thesis and collecting data in English, but students are expected to take proactive steps and begin writing the introduction section of their thesis.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1. Review of last semester and Introduction to course and student goals. Discussion of major assignments and important dates. 2. Review of important theories: Identity, gender, and language 3. Academic guidance: Writing an academic resume and summarizing a resource 4. Research methods guidance: Interviews and surveys 5. Student-led discussion 6. Student-led discussion 7. Student-led discussion 8. Research methods practice: Creating a survey and collecting data 9. Academic guidance: Creating a thesis outline and starting your introduction 10. Student-led discussion 11. Student-led discussion 12. Student-led discussion 13. Academic guidance: Analysis of survey data, consultations about thesis progress</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	Deepening understanding of issues of identity, diversity, language, and gender.	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:ディスカッション、発表、課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] Students will receive materials from the instructor.</p>			

S46014 [LGH3-026]

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄について理解を深める。</p> <p>[授業概要] 次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 本講義では、履修者の興味ある分野の中から新書程度の本を数冊選び、輪読し、内容について討論する。また、開発問題に関する特定のテーマについて各自レポートを作成し、発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション、各受講者のテーマの確定 2.それぞれについての参考文献の選定 3.テキスト「開発問題」について輪読と討論① 4.テキスト「開発問題」について輪読と討論② 5.テキスト「開発問題」について輪読と討論③ 6.テキスト「開発問題」について輪読と討論④ 7.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑤ 8.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑥ 9.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑦ 10.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑧ 11.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑨ 12.テキスト「開発問題」について輪読と討論⑩ 13.総括</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法] 課題(50%)、期末レポート(50%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業時のレポート発表についてコメントとフィードバックをする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、期末レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。

[授業概要]

前期に引き続いて、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。

ひとつの国・地域を研究する切り口はさまざまであるが、ここでは人種・民族、ジェンダーに焦点を当て、地域としては日米を考察の対象とする。これらのキーワードは独立しているものではなく相互に絡み合っているし、歴史・政治・経済・教育といった大きな枠組みを考慮する必要もある。それぞれをテーマとする文献解題を行うことによって社会の多層性、多文化性への理解を深める。それぞれをテーマとする文献解題を行うことによってアメリカの多層性、多文化性、さらに日米関係、ジェンダー平等へと視界を広げ、卒論に向けたテーマへと収斂させていく。

Ⅰを踏まえて、Ⅱでは、各自の関心のあるトピックについて文献解題を行い、相互にディスカッションを深め、卒論テーマを絞り込んでいく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業について、予習・復習あわせて2時間程度の学習が必要。

[授業計画]

1. ガイダンス:「私の関心ごと」発表
2. 文献選択の留意点
3. 文献検索収集報告 1 & ディスカッション
4. 文献解題発表 & ディスカッション:以後、各自の関心ごとを踏まえた文献解題発表を順次行う。
5. 文献解題発表 & ディスカッション
6. 文献解題発表 & ディスカッション
7. 文献解題発表 & ディスカッション
8. 文献解題発表 & ディスカッション
9. 卒論テーマ中間発表 & ディスカッション
10. 文献検索収集報告 2 & 講評
11. 卒論テーマレジュメ・発表原稿発表 & ディスカッション
12. ゼミ内卒論テーマ発表 & ディスカッション・講評
13. まとめ:卒論テーマ発表

*文献選択に際しては、「私の関心ごと」から卒論テーマにつながる文献を選ぶこと。

注)レポート提出、授業の伝達など、manabaを多用するので、必ず受信設定・登録をしておくこと。

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、発表</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし、資料 manaba。</p> <p>[参考書 (ISBN)] 『アカデミック・スキルズ:大学生のための知的技法入門新版』</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。</p> <p>[授業概要] 前期に引き続き、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。 本ゼミでは、次年度の卒業論文執筆に向け、各自が①興味を持っている研究テーマに関する文献を探して入手し、②テキスト分析・批評を行って授業で発表し、さらには、③学期末レポートの章構成を考えて発表し、④学期末に3,000字程度のレポート作成を行う。その過程を通して、(1)文献の探し方と入手方法、(2)文献リストの作り方、(3)テーマ・「問い」の設定方法、(4)論文・レポートの書き方(参照・引用方法含む)などを学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習・復習合わせて2時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス(夏休みの課題発表、今後のスケジュール確認、文献リストの作成方法、文献の検索・入手方法) 2. 図書館ガイダンス 3. 文献リストのチェック、発表・コメント順の決定、論文・レポートの書き方 4. テキスト批評① 5. テキスト批評② 6. テキスト批評③ 7. テキスト批評④ 8. 章構成発表① 9. 章構成発表② 10. 章構成発表③ 11. 章構成発表④ 12. 学科3回生卒論テーマ発表会準備 13. 学科3回生卒論テーマ発表会</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、発表・課題</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

S46018 [LGH3-026]

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	3回生ゼミ	演習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 次年度の卒業論文執筆に向け、関心のある事柄についてさらなる理解を深めながら、研究の方法を身につける。</p> <p>[授業概要] 前期に引き続き、次年度の卒業論文執筆に向けて、各専門分野に関する基礎知識を習得するための学習を行う。卒業論文を向けて、各自の研究テーマを設定し、そのテーマに関する資料の収集・整理作業を行った上でプレゼンテーションする。文献の整理と議論を通して各自の研究テーマを深める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション、各自の研究テーマを決める。 2. [読書報告]各自のテーマに関する資料・先行研究の整理(1) 3. [研究発表]各自のテーマについての発表と議論(1) 4. [読書報告]各自のテーマに関する資料・先行研究の整理(2) 5. [研究発表]各自のテーマについての発表と議論(2) 6. 中間発表(1) 7. 中間発表(2) 8. [読書報告]各自のテーマに関する資料・先行研究の整理(3) 9. [研究発表]各自のテーマについての発表と議論(3) 10. [読書報告]各自のテーマに関する資料・先行研究の整理(4) 11. [研究発表]各自のテーマについての発表と議論(4) 12. 最終レポートに基づく発表(1) 13. 最終レポートに基づく発表(2)</p>			

科目名	グローバル・ローカル専門演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	3回生ゼミ	演習	
担当者	莊 千慧		
<p>[成績評価方法] レポート(40%)、発表・課題(60%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaで行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 必要に応じて配布する。</p>			

S46019 [LGH3-026]

科目名	グローバル関係論		前期	2 単位
サブタイトル	国際関係における諸問題		講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他		<small>国内外の大学の教員や研究員の講義を聴き、ディスカッションを行うとオンライン国際協働学習を実施する。</small>	実務経験のある教員による授業	○
[到達目標] 国際社会の変遷や国際関係理論を学ぶ。国際社会の中心的なアクターである国連をはじめとする国際機関、行政、多国籍企業、市民社会が国際課題解決に向けてどのような役割を果たしているのかを事例を通して理解する。				
[授業概要] 国際関係の行為主体は、もはや国家のみではなく、国連をはじめとする国際機関、市民社会、企業など多様になっている。どんなに小規模の地域でも、国際的な大きな枠組みから、もはや外れることが出来ない状態となっている。本講義では、まず、国際社会の成り立ちについて国際関係史を通して概説し、各分野や地域において誰がアクターであるのかを考察する。様々な分野や地域の視点から、グローバル化の中における国際社会の構図を理解する。授業の中で、随時ディスカッションを行う。平和であることはどのようなことなのか学生と一緒に考える。民間シンクタンクでの実務経験を持った教員が講義を行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解し、次回の授業を予習しておくこと。毎日の国際関係に関する新聞記事を読むことなど、各回、予習復習合わせて4時間程度を費やすこと。外部のセミナー・シンポジウムに積極的に参加すること。				
[授業計画] 1. 冷戦期までの国際関係史(主権国家体系から第一次世界大戦後の国際連盟の成り立ち、第2次世界大戦後の国際連合の成り立ち及び冷戦体制の確立) 2. ポスト冷戦の国際関係史(冷戦体制崩壊後の文明間や民族間の対立の深刻化、EUなどの地域統合の流れ及び911以後のテロ対策や安全保障の変容) 3. 国際関係のアクター(国連、国連関係機関) 4. 国際関係のアクター(市民社会、多国籍企業) 5. 安全保障(軍事的な脅威とサイバーテロなどの非軍事的脅威) 6. パブリック・ディプロマシー 7. 地球環境問題(持続可能な開発への国際的枠組み) 8. アメリカと国際関係(アメリカの外交政策) 9. オセアニアと国際関係(学外講師と担当教員との協働授業) 10. ヨーロッパと国際関係(EUと地域機構) 11. アジアと国際関係(アジア太平洋地域の地域機構) 12. ラテンアメリカと国際関係(ブラジルと国際社会) 13. 中東と国際関係(中東国家形成の類型や冷戦後におけるイスラム原理主義者の台頭)(学外講師)				

科目名	グローバル関係論	前期	2 単位
サブタイトル	国際関係における諸問題	講義	
担当者	野口 和美		

[成績評価方法]

ディスカッションへの参加度(30%)、リアクションペーパー(30%)、テスト(10%)、期末レポート試験(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

manaバ上にコメントを載せます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

毎日の新聞、ニュースも教科書となるので、新聞記事のコピーを授業の際に持ってくる。外部のセミナー・シンポジウムに積極的に参加すること。国際情勢によって講義内容を変更する場合がある。

[参考書(ISBN)]

授業中に紹介する。著者名:授業中に紹介する 出版社:授業中に紹介する

【参考書】国際関係論 第3版(2018) 著者名:佐渡友 哲 信夫隆司 出版社:弘文堂 (9780000000000)

地図で読む「国際関係」入門 著者名:眞淳平 出版社:ちくまプリマー新書 (9780000000000)

新聞力 できる人はこう読んでいる 著者名:齋藤孝 出版社:ちくまプリマー新書 (9780000000000)

科目名	グローバル関係論		前期	2 単位
サブタイトル	国際関係における諸問題		講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		
その他	<small>国内外の大学の教員や研究員の講義を聴き、ディスカッションを行うとオンライン国際協働学習を実施する。</small>	実務経験のある教員による授業		○
[到達目標] 国際社会の変遷や国際関係理論を学ぶ。国際社会の中心的なアクターである国連をはじめとする国際機関、行政、多国籍企業、市民社会が国際課題解決に向けてどのような役割を果たしているのかを事例を通して理解する。				
[授業概要] 国際関係の行為主体は、もはや国家のみではなく、国連をはじめとする国際機関、市民社会、企業など多様になっている。どんなに小規模の地域でも、国際的な大きな枠組みから、もはや外れることが出来ない状態となっている。本講義では、まず、国際社会の成り立ちについて国際関係史を通して概説し、各分野や地域において誰がアクターであるのかを考察する。様々な分野や地域の視点から、グローバル化の中における国際社会の構図を理解する。授業の中で、随時ディスカッションを行う。平和であることはどのようなことなのか学生と一緒に考える。民間シンクタンクでの実務経験を持った教員が講義を行う。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解し、次回の授業を予習しておくこと。毎日の国際関係に関する新聞記事を読むことなど、各回、予習復習合わせて4時間程度を費やすこと。外部のセミナー・シンポジウムに積極的に参加すること。				
[授業計画] 1. 冷戦期までの国際関係史(主権国家体系から第一次世界大戦後の国際連盟の成り立ち、第2次世界大戦後の国際連合の成り立ち及び冷戦体制の確立) 2. ポスト冷戦の国際関係史(冷戦体制崩壊後の文明間や民族間の対立の深刻化、EUなどの地域統合の流れ及び911以後のテロ対策や安全保障の変容) 3. 国際関係のアクター(国連、国連関係機関) 4. 国際関係のアクター(市民社会、多国籍企業) 5. 安全保障(軍事的な脅威とサイバーテロなどの非軍事的脅威) 6. パブリック・ディプロマシー 7. 地球環境問題(持続可能な開発への国際的枠組み) 8. アメリカと国際関係(アメリカの外交政策) 9. オセアニアと国際関係(学外講師と担当教員との協働授業) 10. ヨーロッパと国際関係(EUと地域機構) 11. アジアと国際関係(アジア太平洋地域の地域機構) 12. ラテンアメリカと国際関係(ブラジルと国際社会) 13. 中東と国際関係(中東国家形成の類型や冷戦後におけるイスラム原理主義者の台頭)(学外講師)				

科目名	グローバル関係論	前期	2 単位
サブタイトル	国際関係における諸問題	講義	
担当者	野口 和美		

[成績評価方法]

ディスカッションへの参加度(30%)、リアクションペーパー(30%)、テスト(10%)、期末レポート試験(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

manaバ上にコメントを載せます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

毎日の新聞、ニュースも教科書となるので、新聞記事のコピーを授業の際に持ってくる。外部のセミナー・シンポジウムに積極的に参加すること。国際情勢によって講義内容を変更する場合がある。

[参考書(ISBN)]

授業中に紹介する。著者名:授業中に紹介する 出版社:授業中に紹介する

【参考書】国際関係論 第3版(2018) 著者名:佐渡友 哲 信夫隆司 出版社:弘文堂 (9780000000000)

地図で読む「国際関係」入門 著者名:眞淳平 出版社:ちくまプリマー新書 (9780000000000)

新聞力 できる人はこう読んでいる 著者名:齋藤孝 出版社:ちくまプリマー新書 (9780000000000)

科目名	グローバル経済論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	チャン ティフェ			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート		○	グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 国際経済の基礎知識を学ぶことにより、現実の国際経済で生じる諸問題を理解する。</p> <p>[授業概要] 現在、経済のグローバル化が進展しており、私たちの生活はますます国際経済の動向と密接に関わっている。毎日、私たちが目にしたり耳にしたりする様々なニュースの多くは、為替相場の変動や日系企業による海外直接投資等、国際経済に関連するトピックである。現在の国際経済を理解するためには、国際経済の動向を説明するための理論を学ぶ必要がある。本講義では、現代の国際経済で生じる問題を理解するために、グローバル経済の基本的な理論を理解することを目的とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション: 講義の説明、グローバル経済論の基本的な説明 2. グローバル化する社会とグローバル化の諸問題 3. 財とサービスのグローバル化① 自由な取引の重要性 4. 財とサービスのグローバル化② 地域経済統合の進展 5. 財とサービスのグローバル化③ 国際収支の仕組み 6. 金融のグローバル化① 為替レート、円高円安 7. 金融のグローバル化② 為替レート決定要因 8. 金融のグローバル化③: 国際通貨体制の変遷 9. 人材のグローバル化①: 経済のグローバル化と外国人労働者 10. 人材のグローバル化②: 人材のグローバル化の現状と課題 11. 情報のグローバル化①: 情報通信技術の発達 12. 情報のグローバル化②: 情報のグローバル化の課題 13. 総括、期末試験 				

科目名	グローバル経済論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法] 小課題(50%)、期末試験(50%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜指示する</p>			

科目名	経済学の基礎		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	チャン ティフェ			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 本講義の到達目標は、受講生が、経済学の基本的な知識や経済学的な考え方について習得し、現実の経済の問題について理解を深めるとともに、自分で考えられるようになることである。</p> <p>[授業概要] 本講義は、経済学に関する知識や、数学に関する知識がなくとも学習できるよう、初学者を対象として構成される。経済学はミクロ経済学、マクロ経済学という2つの側面から経済問題をとらえている。ミクロ経済学では、人間や企業の合理的な判断の結果どのような行動をとるようになるのかを分析している。マクロ経済学では、国全体としての家計や企業の行動を把握することによって、ミクロ経済学では見えていなかった経済システムの整合性を明らかにしている。これらを学ぶことによって、学問としての経済学の意味を分かってもらいたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業外学修時間は、1週間当たり4時間程度が必要である。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション: 経済学とは 2. 人々はどのように意思決定するか 3. 人々はどのように影響しあうのか 4. 経済は全体としてどのように動いているか 5. 生産可能性 6. 比較優位 7. 市場における需要 8. 市場における需要と供給の作用 9. 国内総生産(GDP)の定義、構成要素 10. GDPと経済成長の国際比較 11. 生計費の測定 12. インフレーション 13. 期末試験 (学習の効果を高めるために、履修者の理解度に応じて授業計画を調整することも可能)</p>				

科目名	経済学の基礎	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法] 小課題(50%)、期末試験(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小課題に関する解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 『入門経済学 第4版』 著者名:伊藤元重 出版社:日本評論社 (978-4-535-55817-5) 「マンキュー入門経済学 第1章~13章」『マンキュー経済学 I ミクロ編 第4版』(2022/2/9) 著者名:N・グレゴリー・マンキュー 出版社:東洋経済新報社 (978-4-492-31519-4) 適宜指示する</p>			

S43070 [LGH2-016]

科目名	経済学の基礎	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 本講義の到達目標は、受講生が、経済学の基本的な知識や経済学的な考え方について習得し、現実の経済の問題について理解を深めるとともに、自分で考えられるようになることである。</p> <p>[授業概要] 本講義は、経済学に関する知識や、数学に関する知識がなくとも学習できるよう、初学者を対象として構成される。経済学はミクロ経済学、マクロ経済学という2つの側面から経済問題をとらえている。ミクロ経済学では、人間や企業の合理的な判断の結果どのような行動をとるようになるのかを分析している。マクロ経済学では、国全体としての家計や企業の行動を把握することによって、ミクロ経済学では見えていなかった経済システムの整合性を明らかにしている。これらを学ぶことによって、学問としての経済学の意味を分かってもらいたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 授業外学修時間は、1週間当たり4時間程度が必要である。</p> <p>[授業計画] 1. イントロダクション: 経済学とは 2. 人々はどのように意思決定するか 3. 人々はどのように影響しあうのか 4. 経済は全体としてどのように動いているか 5. 生産可能性 6. 比較優位 7. 市場における需要 8. 市場における需要と供給の作用 9. 国内総生産(GDP)の定義、構成要素 10. GDPと経済成長の国際比較 11. 生計費の測定 12. インフレーション 13. 期末試験 (学習の効果を高めるために、履修者の理解度に応じて授業計画を調整することも可能)</p>			

科目名	経済学の基礎	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法] 小課題(50%)、期末試験(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小課題に関する解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 『入門経済学 第4版』 著者名:伊藤元重 出版社:日本評論社 (978-4-535-55817-5) 「マンキュー入門経済学 第1章~13章」『マンキュー経済学 I ミクロ編 第4版』(2022/2/9) 著者名:N・グレゴリー・マンキュー 出版社:東洋経済新報社 (978-4-492-31519-4) 適宜指示する</p>			

科目名	現代政治学の基礎		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション			実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 政治の基礎を学ぶ。政治哲学や政策の基礎を理解する。更には、ガバナンスについても理解する。</p> <p>[授業概要] 政治学の基礎を学ぶ。行政の仕組みや市民の社会への関わりについてガバナンスの視点を大切にして考察する。民主的な政治とはどのようなことなのかについても、皆さんと考える。政治制度のみではなく、実際の政策事例を挙げながら、政策が策定されるプロセスなども講義する。NPOと政治などについても講義内容に含める。ニュース時事検定試験の問題を講義に活用することもある。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画] 1. 政治とは何か 身近なところから政治を考える 2. 民主主義の変遷 (1)民主主義の思想的側面を考える 3. 民主主義の変遷 (2)近代の民主主義の思想について考える 4. 政治における関係者 利益団体などどのようなアクターが政治に関係しているのか考える 5. 選挙と投票行動 選挙制度及びどのように有権者は投票行動に臨むのか考える 6. 政党制度と議員 政治における政党と議員との関係を考える 7. 地方自治 身近な地域に関する政治と地方と国家の関係性を考える 8. 政治と行政との関係 官僚と政治との関係性について考える 9. 政策過程と政策決定 政策過程におけるアクターについて考える 10. 市民社会組織 市民社会組織と政治・行政との関係性について考える 11. 政治とメディア(学外講師) 12. 国際政治 国家間関係 国際連盟及び国際連合 国際政治の変容 13. 政治学と持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)</p>				

科目名	現代政治学の基礎	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] 授業参加への積極性(20%)、小テスト(30%)、新聞レポート(30%)、期末レポート(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート課題に関する解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p>			

科目名	現代世界の史的背景 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	室屋 安孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. 世界の歴史の展開を以下の3つの視点、すなわち、 ①アフロ・ユーラシア諸地域のつながりとグローバル化という視点、 ②領土・民族・国家・地域というローカルな視点、 ③ヨーロッパの世界進出と資本主義の形成、アジア・アフリカ地域の植民地化という近現代史の視点から歴史の展開を理解することができる。 2. 文献や資料集を読み考える力を養い、歴史を多様な視点から説明することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>現代世界は過去のどのような歴史を背景にして成立したのかという問題への知識と理解を深めるために、歴史上のさまざまな事象とその背景を、グローバルかつローカルな視点から振り返る。特に一つ一つの歴史上の出来事が相互にどのような「つながり」をもっているのか、現代の社会とどのように「つながって」いるのか、ということを考える。授業は各回のテーマと重要事項を設定し、受講者はそれらをあらかじめ学習した上でグループワークや課題発表を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回の予習として指定された範囲のまとめのレポートを作成する。また、重要な用語、固有名詞などについて、あらかじめ調べておく。復習としては、授業でテーマとした内容に対して解説された内容を確認しておく。各回、予習と復習に4時間は必要。</p> <p>[授業計画]</p> <p>1. ガイダンス: 世界史リテラシーとは 2. 「世界」とは: 「アジア」「ユーラシア」というとらえ方 3. 古代帝国の栄華とユーラシアの動静 4. 唐宋改革 5. 中央ユーラシア型国家の時代 6. モンゴル帝国と「グローバル化」 7. 西アジア・南アジアの近世帝国 8. ヨーロッパ「近世」とルネサンス 9. 大航海時代と「近代世界システム」 10. 東アジア諸国の成熟 11. 産業革命と資本主義 12. アメリカ独立革命とフランス革命 13. まとめ・市民革命についての復習</p>			

科目名	現代世界の史的背景 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	室屋 安孝		
<p>[成績評価方法] 課題 (40%)、発表 (30%)、レポート (30%)</p> <p>[課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー (質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際1-1-1 / 日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際1-1-2 / 国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際1-1-3 / 海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際2-1 / 物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際3-1-2 / グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際3-2-1 / 世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号 / DP内容: 国際3-2-3 / グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 主体性 / 自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 責任感 / 社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 自己理解 / 自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 多様性理解 / 自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 表現力 / 自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 論理的思考力 / 筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等 / 資質・能力等の内容: 問題発見力 / 現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 課題、発表、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] なし</p> <p>[参考書 (ISBN)] 市民のための世界史 著者名: 大阪大学歴史教育研究会編 出版社: 大阪大学出版会 (978-4-87259-469-0)</p>			

S41060 [LGH1-015]

科目名	現代世界の史的背景Ⅱ		後期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	室屋 安孝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. 世界の歴史の展開を以下の3つの視点、すなわち、 ①アフロ・ユーラシア諸地域のつながりとグローバル化という視点、 ②領土・民族・国家・地域というローカルな視点、 ③ヨーロッパの世界進出と資本主義の形成、アジア・アフリカ地域の植民地化という近現代史の視点から歴史の展開を理解することができる。 2. 文献や資料集を読み考える力を養い、歴史を多様な視点から説明することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>現代世界は過去のどのような歴史を背景にして成立したのかという問題への知識と理解を深めるために、歴史上のさまざまな事象とその背景を、グローバルかつローカルな視点から振り返る。特に一つ一つの歴史上の出来事が相互にどのような「つながり」をもっているのか、現代の社会とどのように「つながって」いるのか、ということを考える。授業は各回のテーマと重要事項を設定し、受講者はそれらをあらかじめ学習した上で、授業の中でディスカッションをしたり、課題発表をおこなったりする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>毎回の予習として指定された範囲のまとめのレポートを作成する。また、重要な用語、固有名詞などについて、あらかじめ調べておく。復習としては、授業でテーマとした内容に対して解説された内容を確認しておく。各回、予習と復習に4時間は必要。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 欧米の国民国家の建設 2. オスマン・トルコとその崩壊 3. 南アジア・東南アジアの植民地化と工業化 4. 第一次世界大戦と帝国主義 5. アジアのナショナリズム 6. ロシア革命と社会主義の目指したもの 7. 第二次世界大戦 8. アジア太平洋戦争 9. 新中国、朝鮮戦争とアジアの独立 10. ベトナム戦争とアメリカの覇権の動揺 11. 中ソ対立と冷戦終結 12. グローバル化と反グローバル化 13. まとめ・グローバル化についての復習 				

科目名	現代世界の史的背景Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	室屋 安孝		
<p>[成績評価方法] 課題 (40%)、発表 (30%)、レポート (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 市民のための世界史 著者名:大阪大学歴史教育研究会編 出版社:大阪大学出版会 (978-4-87259-469-0)</p>			

S41070 [LGH1-016]

科目名	神戸と防災学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	諏訪 清二			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標]</p> <p>阪神・淡路大震災をはじめ国内外の災害の事例から、防災の教訓と知識を学ぶ。災害時に自分の命を守る方法を知り、行動に移そうとする姿勢を身に着けるとともに、復旧・復興過程で社会に参画する姿勢を育てる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>日本は災害と戦い続けてきた。阪神・淡路大震災(1995)を中心に、国内外で発生した災害の事実と教訓を学び、私たちがどうやって災害と向き合ってきたかを知る。具体的には、災害への備え、災害時の対応、避難所生活や災害ボランティアなどを実際の経験をもとに学ぶ。</p> <p>具体的には、実際の体験談を中心に被災と復旧・復興のプロセスを学ぶ。特に、被災後の人々の知恵—助け合い、支援、法・制度の整備、災害ボランティア、防災教育など—を実際の体験をもとに学びその意味を考える。近年も、豪雨災害、地震災害が頻発しており、近い将来、南海トラフ巨大地震も必ず発生する。未来の災害時に自分の命を守り、他者の安全を確保し、より安全で安心な社会の構築に参画するためにはどうすればよいかを被災の事実をもとに共に考えていく。人と防災未来センターの見学も行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学習として阪神・淡路大震災に関する本を一冊選んで読み、感想を1200字程度にまとめる。 1日目、2日目の講義の終わりを与えられた課題について自分の考えを800字程度で書く。 3日目の終わりに、自分が設定したテーマで1200字程度のレポートを書く。 <p>* manabaで提出する。</p> <p>[授業計画]</p> <p>3日間の集中講義とする。</p> <p>【1日目】</p> <ol style="list-style-type: none"> ガイダンス(講義の概要と成績・配点の説明)、ディスカッション「神戸のイメージ」 阪神・淡路大震災(被災体験から学ぶ) 阪神・淡路大震災(被害の概要と避難所の実際) 阪神・淡路大震災(避難と避難所、復旧、復興) <p>【2日目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 東日本大津波(被災体験から学ぶ) 気象災害から学ぶ(ハザード、備え、避難の判断、様々な気象災害) 災害ボランティア、ディスカッション「こんなときどうする？」(災害ボランティアの実際から) 復興のまちづくり <p>【3日目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 防災の基礎(誘因、素因、社会の防災力、脆弱性、防災、減災、ハード、ソフト、など) ディスカッション「人と防災未来センターで知りたいこと」 フィールドワーク(人と防災未来センター) フィールドワーク(人と防災未来センター) ディスカッションとまとめ(10時間目に設定した課題の解決レポート) <p>* 大学から人と防災未来センターへの交通費 人と防災未来センター入場料 大学生450円(20人以上であれば350円)</p>				

科目名	神戸と防災学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	諏訪 清二		
<p>[成績評価方法] 事前レポート 20点(20%) 1日目レポート 800字 20点(20%) 2日目レポート 800字 20点(20%) 最終レポート 1200字 40点(40%) 合計100点</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説する。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号／DP内容:国際1-3-1／フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:巡検とレポートで評価する。</p> <p>学科DP番号／DP内容:国際3-1-2／グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。</p> <p>学科DP番号／DP内容:国際3-2-2／地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし。</p>			

S43020 [LGI2-001]

科目名	国際協働事例研究		後期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標アジェンダ2030(SDGs)とグローバル・ガバナンス		講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク		○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク		○
その他	オンライン国際協働学習(Collaborative Online International Learning: COIL)を導入します。	実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標] 様々な国際協力事例を通して、多様なアクターの協働関係と役割を理解する。</p> <p>[授業概要] 授業概要 国際社会は国家を主役として発展してきました。しかし、近年では、非政府組織、多国籍企業、国際機関、専門家、著名人など、国家以外のアクターがその存在感を増してきています。その背景には、「グローバリゼーション」と呼ばれる現象が進むなかで、環境問題、平和構築、貧困削減、新型コロナウイルス感染症などのパンデミック、民主化、テロリズムなど、国家単位では対応できない問題が増えてきていることがあります。これらの課題は、複数の持続可能な開発のためのアジェンダ2030(所謂SDGs)に大きく関係しています。本講義では、様々なグローバルな問題の解決に向けて、多様なアクターがどのように連携しているのかについて検討していきます。民間セクターの方に現在の協働事例について説明していただきます。 海外の大学との協働学習、グループワークやディスカッションを取り入れながら、皆さんと一緒に国際協働について考えたいと思います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解し、次回の授業を予習しておくこと。毎日の国際協働に関する新聞記事を読んでおくこと。海外の大学と協働学習の事前調査や準備。予習復習4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. グローバリゼーション 2. 持続可能な開発目標2030(SDGs) 3. グローバルガバナンス 4. 人間の安全保障 5. 国際機関の役割 6. 民間セクターの役割① 7. 民間セクターの役割②(学外講師との協働授業) 8. 国際協働事例—貧困削減 9. 国際協働事例—パンデミック 10. 中間報告会 11. 国際協働事例—HIV/エイズ 12. 国際協働事例—ジェンダー 13. グループ・プレゼンテーション</p>				

科目名	国際協働事例研究	後期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標アジェンダ2030(SDGs)とグローバル・ガバナンス	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] リアクション・ペーパー(30%)、グループ・ディスカッション(30%)、期末レポート試験(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba上にコメントを書きます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 授業中に指定する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業中に紹介する。</p>			

S43250 [LGH2-020]

科目名	国際協働事例研究		後期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標アジェンダ2030(SDGs)とグローバル・ガバナンス		講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他		<small>オンライン国際協働学習(Collaborative Online International Learning: COIL)を導入します。</small>	実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 様々な国際協力事例を通して、多様なアクターの協働関係と役割を理解する。</p> <p>[授業概要] 授業概要 国際社会は国家を主役として発展してきました。しかし、近年では、非政府組織、多国籍企業、国際機関、専門家、著名人など、国家以外のアクターがその存在感を増してきています。その背景には、「グローバリゼーション」と呼ばれる現象が進むなかで、環境問題、平和構築、貧困削減、新型コロナウイルス感染症などのパンデミック、民主化、テロリズムなど、国家単位では対応できない問題が増えてきていることがあります。これらの課題は、複数の持続可能な開発のためのアジェンダ2030(所謂SDGs)に大きく関係しています。本講義では、様々なグローバルな問題の解決に向けて、多様なアクターがどのように連携しているのかについて検討していきます。民間セクターの方に現在の協働事例について説明していただきます。 海外の大学との協働学習、グループワークやディスカッションを取り入れながら、皆さんと一緒に国際協働について考えたいと思います。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 前回の授業内容を復習し理解し、次回の授業を予習しておくこと。毎日の国際協働に関する新聞記事を読んでおくこと。海外の大学と協働学習の事前調査や準備。予習復習4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. グローバリゼーション 2. 持続可能な開発目標2030(SDGs) 3. グローバルガバナンス 4. 人間の安全保障 5. 国際機関の役割 6. 民間セクターの役割① 7. 民間セクターの役割②(学外講師との協働授業) 8. 国際協働事例—貧困削減 9. 国際協働事例—パンデミック 10. 中間報告会 11. 国際協働事例—HIV/エイズ 12. 国際協働事例—ジェンダー 13. グループ・プレゼンテーション</p>				

科目名	国際協働事例研究	後期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標アジェンダ2030(SDGs)とグローバル・ガバナンス	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] リアクション・ペーパー(30%)、グループ・ディスカッション(30%)、期末レポート試験(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba上にコメントを書きます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 授業中に指定する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業中に紹介する。</p>			

科目名	国際教養学演習		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	高城 建人			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート			グループワーク	
プレゼンテーション		○	実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人文社会科学における基礎的なアカデミック・スキルズ(学術的技法)を習得する。</p> <p>[授業概要] アカデミック・スキルズ(学術的技法)とは、 (1)〈知りたい心〉、〈知る〉、〈問い〉、〈思考〉という知的態度 (2)聞く、ノートをとる、調べる(インプット) (3)まとめる、発表する(アウトプット) といった「知的活動」の中で特に〈スキル〉とよばれる(2)(3)を指すことが多いが、本来は広く(1)も含むと考えられる。 〈問い〉を立てる場合も様々な立て方があり、また、「聞く」場合も授業で決められた内容を教員から聞く場合や、フィールドでこちらで聞きたいことを用意して聞く(インタビュー)場合など、さまざまな「聞き方」がある。(2)や(3)は、訓練が必要であるが、実はそれに劣らず(1)にも訓練が必要である。この授業では、独自にテーマを探して設定し、調査し、記録し、分析・整理し、議論をし、口頭やレポートで発表するという基礎的なアカデミック・スキルズを実践を通して学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス、「アカデミック・スキルズ」とは 2. ノートの取り方 3. 文献調査の方法① 4. 文献調査の方法② 5. フィールドワークの方法① 6. フィールドワークの方法② 7. フィールドワークの方法③ 8. フィールドワークの方法④ 9. フィールドワークの方法⑤ 10. プレゼンテーションの方法① 11. プレゼンテーションの方法② 12. レポートの書き方① 13. レポートの書き方② ※授業時間外(土曜など)にフィールドワークを実施する。日程は相談して決定する。</p>				

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
<p>[成績評価方法] 課題(30%)、発表(30%)、レポート(40%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 『アカデミック・スキルズ(第3版)—大学生のための知的技法入門』 著者名:佐藤望ほか編著 出版社:慶應義塾大学出版会、2020年 (978-4-7664-2656-4) 『レポート執筆の基礎—大学に必要な「読み・書き」の技術を磨く— ver.2.1』 著者名:橋本礼子 出版社:神戸女子大学 全学共通教育部、2019年</p> <p>[参考書(ISBN)] 『質的社会調査の方法—他者の合理性の理解社会学』 著者名:岸政彦、石岡丈昇、丸山里美 出版社:有斐閣 (978-4-641-15037-9)</p>			

S41030 [LGH1-014]

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

人文社会科学における基礎的なアカデミック・スキルズ(学術的技法)を習得する。

[授業概要]

アカデミック・スキルズ(学術的技法)とは、

- (1)〈知りたい心〉、〈知る〉、〈問い〉、〈思考〉という知的態度
- (2)聞く、ノートをとる、調べる(インプット)
- (3)まとめる、発表する(アウトプット)

といった「知的活動」の中で特に〈スキル〉とよばれる(2)(3)を指すことが多いが、本来は広く(1)も含むと考えられる。

〈問い〉を立てる場合も様々な立て方があり、また、「聞く」場合も授業で決められた内容を教員から聞く場合や、フィールドでこちらで聞きたいことを用意して聞く(インタビュー)場合など、さまざまな「聞き方」がある。(2)や(3)は、訓練が必要であるが、実はそれに劣らず(1)にも訓練が必要である。この授業では、独自にテーマを探して設定し、調査し、記録し、分析・整理し、議論をし、口頭やレポートで発表するという基礎的なアカデミック・スキルズを実践を通して学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

1. ガイダンス、「アカデミック・スキルズ」とは
2. ノートの取り方
3. 文献調査の方法①
4. 文献調査の方法②
5. フィールドワークの方法①
6. フィールドワークの方法②
7. フィールドワークの方法③
8. フィールドワークの方法④
9. フィールドワークの方法⑤
10. プレゼンテーションの方法①
11. プレゼンテーションの方法②
12. レポートの書き方①
13. レポートの書き方②

※授業時間外(土曜など)にフィールドワークを実施する。日程は相談して決定する。

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[成績評価方法] 課題 (30%)、発表 (30%)、レポート (40%) により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[教科書 (ISBN)] 『アカデミック・スキルズ(第3版)—大学生のための知的技法入門』 著者名:佐藤望ほか編著 出版社:慶應義塾大学出版会、2020年 (978-4-7664-2656-4) 『レポート執筆の基礎—大学に必要な「読み・書き」の技術を磨く— ver.2.1』 著者名:橋本礼子 出版社:神戸女子大学 全学共通教育部、2019年</p> <p>[参考書 (ISBN)] 授業中に紹介する。</p>			

S41031 [LGH1-014]

科目名	国際教養学演習		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート			グループワーク	
プレゼンテーション		○	実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人文社会科学における基礎的なアカデミック・スキルズ(学術的技法)を習得する。</p> <p>[授業概要] アカデミック・スキルズ(学術的技法)とは、 (1)〈知りたい心〉、〈知る〉、〈問い〉、〈思考〉という知的態度 (2)聞く、ノートをとる、調べる(インプット) (3)まとめる、発表する(アウトプット) といった「知的活動」の中で特に〈スキル〉とよばれる(2)(3)を指すことが多いが、本来は広く(1)も含むと考えられる。 〈問い〉を立てる場合も様々な立て方があり、また、「聞く」場合も授業で決められた内容を教員から聞く場合や、フィールドでこちらで聞きたいことを用意して聞く(インタビュー)場合など、さまざまな「聞き方」がある。(2)や(3)は、訓練が必要であるが、実はそれに劣らず(1)にも訓練が必要である。この授業では、独自にテーマを探して設定し、調査し、記録し、分析・整理し、議論をし、口頭やレポートで発表するという基礎的なアカデミック・スキルズを実践を通して学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス、「アカデミック・スキルズ」とは 2. ノートの取り方 3. 文献調査の方法① 4. 文献調査の方法② 5. フィールドワークの方法① 6. フィールドワークの方法② 7. フィールドワークの方法③ 8. フィールドワークの方法④ 9. フィールドワークの方法⑤ 10. プレゼンテーションの方法① 11. プレゼンテーションの方法② 12. レポートの書き方① 13. レポートの書き方② ※授業時間外(土曜など)にフィールドワークを実施する。日程は相談して決定する。</p>				

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] 課題(30%)、発表(30%)、レポート(40%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 解説やレポートへのコメント manabaを通してコメント</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『アカデミック・スキルズ(第3版)—大学生のための知的技法入門』 著者名: 佐藤望ほか編著 出版社: 慶應義塾大学出版会、2020年 (978-4-7664-2656-4) 『レポート執筆の基礎—大学に必要な「読み・書き」の技術を磨く— ver.2.1』 著者名: 橋本礼子 出版社: 神戸女子大学 全学共通教育部、2019年</p> <p>[参考書(ISBN)] 特になし。</p>			

S41032 [LGH1-014]

科目名	国際教養学演習		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	莊 千慧			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	○
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人文社会科学における基礎的なアカデミック・スキルズ(学術的技法)を習得する。</p> <p>[授業概要] アカデミック・スキルズ(学術的技法)とは、 (1)〈知りたい心〉、〈知る〉、〈問い〉、〈思考〉という知的態度 (2)聞く、ノートをとる、調べる(インプット) (3)まとめる、発表する(アウトプット) といった「知的活動」の中で特に〈スキル〉とよばれる(2)(3)を指すことが多いが、本来は広く(1)も含むと考えられる。 〈問い〉を立てる場合も様々な立て方があり、また、「聞く」場合も授業で決められた内容を教員から聞く場合や、フィールドでこちらで聞きたいことを用意して聞く(インタビュー)場合など、さまざまな「聞き方」がある。(2)や(3)は、訓練が必要であるが、実はそれに劣らず(1)にも訓練が必要である。この授業では、独自にテーマを探して設定し、調査し、記録し、分析・整理し、議論をし、口頭やレポートで発表するという基礎的なアカデミック・スキルズを実践を通して学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス、「アカデミック・スキルズ」とは 2. ノートの取り方 3. 文献調査の方法① 4. 文献調査の方法② 5. フィールドワークの方法① 6. フィールドワークの方法② 7. フィールドワークの方法③ 8. フィールドワークの方法④ 9. フィールドワークの方法⑤ 10. プレゼンテーションの方法① 11. プレゼンテーションの方法② 12. レポートの書き方① 13. レポートの書き方② ※授業時間外(土曜など)にフィールドワークを実施する。日程は相談して決定する。</p>				

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	莊 千慧		
<p>[成績評価方法] 課題(30%)、発表(30%)、レポート(40%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。 レポートはチェックをしたうえで返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『アカデミック・スキルズ(第3版)—大学生のための知的技法入門』 著者名: 佐藤望ほか編著 出版社: 慶應義塾大学出版会、2020年 (978-4-7664-2656-4) 『レポート執筆の基礎—大学に必要な「読み・書き」の技術を磨く— ver.2.1』 著者名: 橋本礼子 出版社: 神戸女子大学 全学共通教育部、2019年</p> <p>[参考書(ISBN)] 『質的社会調査の方法—他者の合理性の理解社会学』 著者名: 岸政彦、石岡丈昇、丸山里美 出版社: 有斐</p>			

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

人文社会科学研究における基礎的なアカデミック・スキルズ(学術的技法)を習得する。

[授業概要]

アカデミック・スキルズ(学術的技法)とは、

- (1)〈知りたい心〉、〈知る〉、〈問い〉、〈思考〉という知的態度
- (2)聞く、ノートをとる、調べる(インプット)
- (3)まとめる、発表する(アウトプット)

といった「知的活動」の中で特に〈スキル〉とよばれる(2)(3)を指すことが多いが、本来は広く(1)も含むと考えられる。

〈問い〉を立てる場合も様々な立て方があり、また、「聞く」場合も授業で決められた内容を教員から聞く場合や、フィールドでこちらで聞きたいことを用意して聞く(インタビュー)場合など、さまざまな「聞き方」がある。(2)や(3)は、訓練が必要であるが、実はそれに劣らず(1)にも訓練が必要である。この授業では、独自にテーマを探して設定し、調査し、記録し、分析・整理し、議論をし、口頭やレポートで発表するという基礎的なアカデミック・スキルズを実践を通して学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

1. ガイダンス、「アカデミック・スキルズ」とは
2. ノートの取り方
3. 文献調査の方法① 文献一覧の作り方
4. 文献調査の方法② 図書館ガイダンス
5. フィールドワークの方法①
6. フィールドワークの方法②
7. フィールドワークの方法③
8. フィールドワークの方法④
9. フィールドワークの方法⑤
10. プレゼンテーションの方法①
11. プレゼンテーションの方法②
12. レポートの書き方①
13. レポートの書き方②

※授業時間外(土曜など)にフィールドワークを実施する。日程は相談して決定する。

科目名	国際教養学演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法] 課題(30%)、発表(30%)、レポート(40%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。 レポートはチェックをしたうえで返却する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法: 発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法: 課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法: 発表、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 『アカデミック・スキルズ(第3版)—大学生のための知的技法入門』 著者名: 佐藤望ほか編著 出版社: 慶應義塾大学出版会、2020年 (978-4-7664-2656-4) 『レポート執筆の基礎—大学に必要な「読み・書き」の技術を磨く— ver.2.1』 著者名: 橋本礼子 出版社: 神戸女子大学 全学共通教育部、2019年</p> <p>[参考書(ISBN)]</p>			

S41034 [LGH1-014]

科目名	国際教養学入門	前期	2 単位
サブタイトル	研究の世界への招待	講義	
担当者	野口 和美、莊 千慧、室屋 安孝、E. ウィリアムズ、チャン ティフェ、高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] グローバル・ローカル研究とはどのような学問なのか、国際教養学科の先生方の専門分野をとおしてグローバル・ローカル研究の基本的事項を具体的研究の紹介の中から学ぶ。</p> <p>[授業概要] 国際教養学科の教員がそれぞれの研究分野を紹介しながら、グローバル・ローカル研究の基本となる、地誌、風土、言語、民族、国家、政治、経済、宗教、国際交流などについての基本的考え方、基本的知識を学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各地域について、地理、国名と位置、主要都市名などを予習しておくこと。 ※各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.<導入> グローバル・ローカルを規定する諸要因について(野口) 地理、地誌、風土、言語、民族、国家、政治、経済、宗教、国際交流などについて 2.<東アジア>① 新しい(宗教)の形を追い求める日中の知識人(莊) 3.<東アジア>② 1つのアジア:タゴール・岡倉天心・孫文(莊) 4.<東アジア>③戦後日本の賠償と謝罪問題①: 政府間交渉のみによる妥結(高城) 5.<東アジア>④戦後日本の賠償と謝罪問題②: 政府間妥結の内容上の不備による各国市民社会からの不満噴出(高城) 6.<東南アジアの諸地域>① 国際関係学、開発経済学(チャンフェ) 7.<東南アジアの諸地域>② 国際関係学、開発経済学(チャンフェ) 8.<南アジアと西アジア> インド独立運動とマハトマ・ガンディー(室屋) 9.<ヨーロッパ>①欧州統合と「歓喜の歌」(室屋) 10.<アメリカ大陸>① カナダにおけるバイリンガリズムと文化的な多様性(ウィリアムズ) 11.<アメリカ大陸>② 日系カナダ人の歴史とアイデンティティ(ウィリアムズ) 12.<アメリカ大陸>③ アメリカ合衆国の市民社会とフィランソロピー (野口) 13.<アメリカ大陸>④ ブラジルと日本との関係、まとめ (野口) 			

科目名	国際教養学入門	前期	2 単位
サブタイトル	研究の世界への招待	講義	
担当者	野口 和美、莊 千慧、室屋 安孝、E. ウィリアムズ、チャン ティフェ、高城 建人		
<p>[成績評価方法] 小テスト 授業後の課題</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaba、メール、授業中に解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力</p>			

科目名	国際協力・援助政策論		後期	2 単位
サブタイトル	サステナビリティ		講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 国際協力政策におけるグローバル及びローカルなガバナンスを理解する。</p> <p>[授業概要] 国際機関、先進国の国際協力機関の開発援助動向を踏まえて、グローバリゼーションにおける国際協力の現状と課題を理解する。国際協力活動は、地方自治体や市民レベルまでにおよび、私たちの生活に身近になっている。最近では、社会起業家といわれる新しい国際協力のアクターも現れ、様々なアクターと連携し、持続可能な開発のための開発アジェンダ2030(SDGs)達成のため国際協力活動を行っている。国際協力の変遷を概説し、アクティブラーニングを通して、各アクターがどのように連携しているかを考察する。グループ・ディスカッションを交えながら授業を行う。なぜ国際協力が重要であるのかを一緒に考えましょう。写真や現在国際開発活動に関わっている実務者を通して最新の開発政策の現状等を確認し、どのように開発途上国の問題の改善に取り組むことが出来るのか考えましょう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。国際協力や開発途上国に関する新聞記事やニュースに毎日目を通すようにすること。 前回の授業で学んだ授業内容や国際協力用語を復習し、次回の授業の予習をしておくこと。 学外のセミナーやシンポジウムに積極的に参加すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レジリエントとは何か 2. 国際協力の変遷と潮流 国際協力の仕組み グローバルな課題とミレニアム開発目標から持続可能な開発目標2030アジェンダ 3. 途上国の問題は何かー飢餓と栄養不良 4. 途上国の問題は何かー感染症対策 5. 途上国の問題は何かー国際協力における子どもと子どもの健康 6. 途上国の問題は何かー民主化支援 7. 途上国の問題は何かー地方分権とローカル・ガバナンス 8. 途上国の問題は何かー法の支配の構築 9. 日本の国際協力と海外の国際協力(学外講師との協働授業) 10. 国際協力の担い手の変化と公民連携 11. 身近な国際協力のフェア・トレード促進活動 12. 誰のための国際協力なのか 国際協力プロジェクト評価 13. 持続可能な開発のための教育からグローバル・アクション・プランへ 				

科目名	国際協力・援助政策論	後期	2 単位
サブタイトル	サステナビリティ	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] グループディスカッションの参加(30%)、リアクションペーパー(30%)、テスト(10%)、期末レポート試験及び発表(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] マナバ上でコメントを載せます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 国際開発論 貧困をなくすミレニアム開発目標へのアプローチ 著者名:勝間 靖 編著 出版社:ミネルヴァ書房 (9784620000000)</p>			

S43230 [LGH2-019]

科目名	国際協力・援助政策論		後期	2 単位
サブタイトル	サステナビリティ		講義	
担当者	野口 和美			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 国際協力政策におけるグローバル及びローカルなガバナンスを理解する。</p> <p>[授業概要] 国際機関、先進国の国際協力機関の開発援助動向を踏まえて、グローバリゼーションにおける国際協力の現状と課題を理解する。国際協力活動は、地方自治体や市民レベルまでにおよび、私たちの生活に身近になっている。最近では、社会起業家といわれる新しい国際協力のアクターも現れ、様々なアクターと連携し、持続可能な開発のための開発アジェンダ2030(SDGs)達成のため国際協力活動を行っている。国際協力の変遷を概説し、アクティブラーニングを通して、各アクターがどのように連携しているかを考察する。グループ・ディスカッションを交えながら授業を行う。なぜ国際協力が重要であるのかを一緒に考えましょう。写真や現在国際開発活動に関わっている実務者を通して最新の開発政策の現状等を確認し、どのように開発途上国の問題の改善に取り組むことが出来るのか考えましょう。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての予習・復習4時間程度。国際協力や開発途上国に関する新聞記事やニュースに毎日目を通すようにすること。 前回の授業で学んだ授業内容や国際協力用語を復習し、次回の授業の予習をしておくこと。 学外のセミナーやシンポジウムに積極的に参加すること。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レジリエントとは何か 2. 国際協力の変遷と潮流 国際協力の仕組み グローバルな課題とミレニアム開発目標から持続可能な開発目標2030アジェンダ 3. 途上国の問題は何かー飢餓と栄養不良 4. 途上国の問題は何かー感染症対策 5. 途上国の問題は何かー国際協力における子どもと子どもの健康 6. 途上国の問題は何かー民主化支援 7. 途上国の問題は何かー地方分権とローカル・ガバナンス 8. 途上国の問題は何かー法の支配の構築 9. 日本の国際協力と海外の国際協力(学外講師との協働授業) 10. 国際協力の担い手の変化と公民連携 11. 身近な国際協力のフェア・トレード促進活動 12. 誰のための国際協力なのか 国際協力プロジェクト評価 13. 持続可能な開発のための教育からグローバル・アクション・プランへ 				

科目名	国際協力・援助政策論	後期	2 単位
サブタイトル	サステナビリティ	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] グループディスカッションの参加(30%)、リアクションペーパー(30%)、テスト(10%)、期末レポート試験及び発表(30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] マナバ上でコメントを載せます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] 国際開発論 貧困をなくすミレニアム開発目標へのアプローチ 著者名:勝間 靖 編著 出版社:ミネルヴァ書房 (9784620000000)</p>			

S43230F [LGH2-019]

科目名	国際コミュニケーション演習 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>This is a higher-level four-skills course with an emphasis on using English for international communication. Students will have many chances to improve their reading and writing skills, but the main goal of the course is to practice speaking and listening as much as possible.</p> <p>[授業概要]</p> <p>In this class, students will learn about different cultures and countries while improving English communication skills. Students will regularly give their opinions about the topics they are studying through pair and group discussions and writing assignments. Students will also be exposed to various English accents and dialects through listening activities. In this class, students are encouraged to use as much English as possible, and not worry about making mistakes!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Course introduction, self-introductions, and discussing student goals 2. Chapter 1: Self introductions and communication styles 3. Chapter 1: Self introductions and communication styles 4. Chapter 2: Sleep, rest and work culture 5. Chapter 2: Sleep, rest and work culture 6. Chapter 3: In the classroom and global education 7. Chapter 3: In the classroom and global education 8. Pair presentations 9. Chapter 4: Relationships and socializing 10. Chapter 4: Relationships and socializing 11. Chapter 5: Student life and student clubs 12. Chapter 5: Student life and student clubs 13. Final exam 			

科目名	国際コミュニケーション演習 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[成績評価方法] Class participation (20%) , homework assignments (30%) , pair presentation (20%) , final exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] In class and online</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p>			

科目名	国際コミュニケーション演習 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>This is a higher-level four-skills course with an emphasis on using English for international communication. Students will have many chances to improve their reading and writing skills, but the main goal of the course is to practice speaking and listening as much as possible.</p> <p>[授業概要]</p> <p>In this class, students will learn about different cultures and countries while improving English communication skills. Students will regularly give their opinions about the topics they are studying through pair and group discussions and writing assignments. Students will also be exposed to various English accents and dialects through listening activities. In this class, students are encouraged to use as much English as possible, and not worry about making mistakes!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Course introduction, self-introductions, and discussing student goals 2. Chapter 1: Self introductions and communication styles 3. Chapter 1: Self introductions and communication styles 4. Chapter 2: Sleep, rest and work culture 5. Chapter 2: Sleep, rest and work culture 6. Chapter 3: In the classroom and global education 7. Chapter 3: In the classroom and global education 8. Pair presentations 9. Chapter 4: Relationships and socializing 10. Chapter 4: Relationships and socializing 11. Chapter 5: Student life and student clubs 12. Chapter 5: Student life and student clubs 13. Final exam 			

科目名	国際コミュニケーション演習 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[成績評価方法] Class participation (20%) , homework assignments (30%), interview assignment (20%), final exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] In class and online</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、ディスカッション、テスト</p>			

科目名	国際コミュニケーション演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>This is a higher-level four-skills course with an emphasis on using English for international communication. Students will have many chances to improve their reading and writing skills, but the main goal of the course is to practice speaking and listening as much as possible.</p> <p>[授業概要]</p> <p>This course is a continuation of 国際コミュニケーション演習 I. In this class, students will learn about different cultures and countries while improving English communication skills. Students will regularly give their opinions about the topics they are studying through pair and group discussions and writing assignments. Students will also be exposed to various English accents and dialects through listening activities. In this class, students are encouraged to use as much English as possible, and not worry about making mistakes!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要です</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Course introduction and basic review, student goals 2. Chapter 6: Shopping and business 3. Chapter 6: Shopping and business 4. Chapter 7: Affection, relationships and romance 5. Chapter 7: Affection, relationships and romance 6. Chapter 8: Communication styles and agreeing/disagreeing 7. Chapter 8: Communication styles and agreeing/disagreeing 8. Group discussion: Sharing assignments 9. Chapter 9: Family 10. Chapter 9: Family 11. Chapter 10: Respect and asking for favours 12. Chapter 10: Respect and asking for favours 13. Final exam 			

科目名	国際コミュニケーション演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[成績評価方法] Class participation (20%), homework assignments (30%), interview project (20%) , final exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] In-person and online</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p>			

科目名	国際コミュニケーション演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>This is a higher-level four-skills course with an emphasis on using English for international communication. Students will have many chances to improve their reading and writing skills, but the main goal of the course is to practice speaking and listening as much as possible.</p> <p>[授業概要]</p> <p>This course is a continuation of 国際コミュニケーション演習 I. In this class, students will learn about different cultures and countries while improving English communication skills. Students will regularly give their opinions about the topics they are studying through pair and group discussions and writing assignments. Students will also be exposed to various English accents and dialects through listening activities. In this class, students are encouraged to use as much English as possible, and not worry about making mistakes!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>Review vocabulary for each lesson and complete the on-line materials. ※各回、予習・復習合わせて2時間程度が必要です</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Course introduction and basic review, student goals 2. Chapter 6: Shopping and business 3. Chapter 6: Shopping and business 4. Chapter 7: Affection, relationships and romance 5. Chapter 7: Affection, relationships and romance 6. Chapter 8: Communication styles and agreeing/disagreeing 7. Chapter 8: Communication styles and agreeing/disagreeing 8. Group discussion: Sharing assignments 9. Chapter 9: Family 10. Chapter 9: Family 11. Chapter 10: Respect and asking for favours 12. Chapter 10: Respect and asking for favours 13. Final exam 			

科目名	国際コミュニケーション演習Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[成績評価方法] Class participation (20%), homework assignments (30%), interview project (20%) , final exam (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] In-person and online</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、ディスカッション、プレゼンテーション</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p>			

科目名	国際ボランティア・リーダーシップ論	後期	2 単位
サブタイトル	国際ボランティアにおけるリーダーシップとは何か。	講義	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] NPOやNGOにおける国際ボランティア活動に必要なリーダーシップについて理解するとともに、国際ボランティア活動の企画等を行うことも視野に入れる。</p> <p>[授業概要] 国際交流や協力における日本の貢献が期待されている中で、国際ボランティアやボランティアリーダーの役割が重要になってきている。リーダーの立場で実践活動に参加するためには、現場で発生している多様な課題を理解し、他のアクターとの情報の共有や共同事業実施のためのネットワークの構築が必要となってくる。本講義では、NPO・NGOの組織運営及びリーダーシップに必要な要素は何であるのかを考えながら、国際交流や協力のプログラムの目的の設定やネットワークの構築などについて、JICA海外協力隊の事例やシュミレーションを通じて学ぶ。実際に、国際協力関連の活動を行っている民間セクターの方に説明していただく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 予習ならびに復習を行うこと。予習復習4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際交流及び協力の新しい潮流 (SDGsやグローバルな課題解決に向けて) 2. リーダーシップとは何か 3. 国際ボランティアにおけるリーダーシップ 4. NPO・NGOの組織運営 (理念、人材、資金、ボランティア、情報) 5. NPO・NGOの組織運営の国際比較 6. 開発実務者の講義 (学外講師と担当教員との協働授業) 7. 国際交流・協力プログラム及び事業におけるリーダーシップ 8. 事例研究 国際交流の事例 9. 事例研究 JICA海外協力隊 (学外講師と担当教員との協働授業 派遣地とオンラインで交流の可能性もある) 10. シュミレーション 国際交流・国際協力プログラムの考案 ① 11. シュミレーション 国際交流・国際協力プログラムの考案 ② 12. 受講生による発表 ① 13. 受講生による発表 ② 			

科目名	国際ボランティア・リーダーシップ論	後期	2 単位
サブタイトル	国際ボランティアにおけるリーダーシップとは何か。	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] ディスカッションへの参加(30%)、リアクションペーパー(30%)、発表(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manaバ上でコメントを載せます。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 特に指定しない。授業中に適宜、資料を配布する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 授業中に随時紹介します。</p>			

科目名	国際ボランティア活動論	前期	2 単位
サブタイトル	国際ボランティア活動の理念と実践からの学び	講義	
担当者	諏訪 清二		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	国際ボランティア活動の「私案」をグループで作成し、発表する。	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 国際支援、国際ボランティアの在り方を実際の活動から学び、「支援」で何を大切にすべきかを知り、今後の学びや卒業後の社会人としての活動に活かせるようになる。</p> <p>[授業概要] 支援者と受援者の在り方と関係、NGOやNPOの活動と政府組織の関係、SDGsの内容めざすものなどを具体的な事例をもとに学ぶ。特に被災国の支援の実例を具体的に取り上げ、国際ボランティアがどうあるべきか、議論を深める。 また、日本国内におけるオールドカマー、ニューカマーなどの問題についても支援の具体例を学んで、地元関西圏の課題や私たちにできることなど考える機会とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習・復習を合わせて4時間程度。 各授業単元に関連するニュースや支援プロジェクト等について事前調べをしておこと。講義の振り返りとして各事例について自分ならどのようなかかわりをするか／できるか、を考える習慣をつけること。</p> <p>[授業計画] 1. オリエンテーション: 講義の進め方 支援者と受援者、NGO、NPOなどについての基礎的な知識を学ぶ。 2. ボランティアとは何か? ボランティアの歴史と定義、要素、災害ボランティアの活動をまなぶ。 3. ボランティアとは何か? 高校生による国内の災害ボランティアの実際から学ぶ。 4. SDGsと国際ボランティア SDGsについて深く学ぶ。 5. 海外の防災支援・災害ボランティアの実例 外部講師: 京都大学防災研究所、中野元太さんの実践から学ぶ。 6. 中国四川省での地震被災地支援 支援の在り方と日中問題を考える。 7. Kobe Kathmandu Exchange Program 高校生の活動を通して開発途上国の防災問題と日本のかかわり方、若者の交流の在り方を学ぶ。 8. ネパール地震復興支援 「チームひょうご」によるネパール地震の被災地支援を通して支援の在り方を学ぶ。 9. 貧困 国内外の貧困と在日外国人の現状を学ぶ。 10. ワークショップ ブレイン・ライティングで支援の在り方を考え話し合う。 11. ワークショップ 海外支援プロジェクトを創る。 12. ワークショップ 海外支援プロジェクトを創る。 13. プロジェクトの発表とまとめ</p>			

科目名	国際ボランティア活動論	前期	2 単位
サブタイトル	国際ボランティア活動の理念と実践からの学び	講義	
担当者	諏訪 清二		
<p>[成績評価方法] 各回小レポート(40%) 毎時間終了時に回収し、次回の講義で講評。 支援プロジェクト立案(30%) グループワークで創り、発表。相互評価と講評。 最終レポート(30%) 講義に関連するテーマで小論文を書いて提出。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 小レポートはmanabaで返信し、次回の講義で講評する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:講義への参加姿勢と発表、レポートで評価する。</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。講義資料配布</p> <p>[参考書(ISBN)] なし。授業中に指示</p>			

S43240 [LGH3-009]

科目名	ジェンダー論	後期	2 単位
サブタイトル	自分らしく生／性を生きるために	講義	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] ジェンダー概念の理解できる、人間の尊厳を根幹に多様な性のあり方、生き方への寛容の精神と共感力を持つことができる。</p> <p>[授業概要] 1990年代に入ってから国連会議のテーマにみられるように、近年のグローバル・イシューは人権・環境・人口・女性などであり、また国内においても少子高齢・人口減少社会を迎え男女共同参画社会づくり (Gender Equality) が国の最重要課題とされ、その際、ジェンダーの視点は欠かせないものとなっている。さらにジェンダーからセクシュアリティも議論の訴状が上がっている。日本社会におけるジェンダー/ セクシュアリティ関係の実態、国際開発等におけるジェンダーの視点の展開等について概説し、ジェンダー理解の基礎とする。さらに、映像、ケーススタディ、学外研修を通して、ジェンダー平等 (Gender Equality) に向けた国内外のさまざまな取り組みを具体的に見ていくことによって、グローバル化が進む同時代を生きる者として、ジェンダーという視点が拓く可能性と課題について考える。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて4時間程度。 ・日頃よりジェンダー平等に向けた国内外のニュースや様々な活動に関心を持つ習慣をつけておくこと。 ・授業内容を振り返り(Reflection 200字程度、manaba 提出)。 ・次回の授業資料 (manaba) を参照して重要用語・語句、出来事などについて下調べしておくこと(事項調べ)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンスとイントロダクション: 各種ジェンダー指標からジェンダーの現状を考える 2. ジェンダー発見までの道のり(歴史的背景) 3. 女性学・ジェンダー学の誕生: ジェンダー概念とその変容と深化 4. Gender Equality への国際的取組み: (1) 国連の取組みと女子差別撤廃条約 5. Gender Equality への国際的取組み: (2) 「世界の女性は、今」(ビデオ) 6. Gender Equality への国際的取組み: (3) ジェンダーの主流化に向けて 7. Gender Equalityへの日本の取組み: (1) 男女共同参画社会づくりへの歩みと男女共同参加/社会基本法 8. Gender Equalityへの日本の取組み: (2) ジェンダー課題と法社会制度(グループワーク&プレゼン) 9-10. ジェンダーの視点と地域活動(ケーススタディ): 学外研修(兵庫県の取組み) 11. 女性活躍推進法と働き方改革(グループワーク&プレゼン、) 12. セクシュアル・マイノリティの今(ディスカッション) 13. まとめ <p>* レポート提出、授業の伝達など、manaba を多用します、必ず受信設定・登録しておいてください。併せてPC持参のこと。</p>			

科目名	ジェンダー論	後期	2 単位
サブタイトル	自分らしく生／性を生きるために	講義	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[成績評価方法] 確認テスト50%+レポート40%+授業への取り組み(プレゼン、ディスカッション)10%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・テストはmanabaにてフィードバック ・各レポートはmanaba提出、授業中あるいはmanabaにてフィードバック ・授業への取り組み(プレゼン&ディスカッションは)授業中に講評。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み</p> <p>[教科書(ISBN)] なし 授業資料manaba</p>			

科目名	ジェンダー論	後期	2 単位
サブタイトル	自分らしく生／性を生きるために	講義	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] ジェンダー概念の理解できる、人間の尊厳を根幹に多様な性のあり方、生き方への寛容の精神と共感力を持つことができる。</p> <p>[授業概要] 1990年代に入ってから国連会議のテーマにみられるように、近年のグローバル・イシューは人権・環境・人口・女性などであり、また国内においても少子高齢・人口減少社会を迎え男女共同参画社会づくり (Gender Equality) が国の最重要課題とされ、その際、ジェンダーの視点は欠かせないものとなっている。さらにジェンダーからセクシュアリティも議論の訴状が上がっている。日本社会におけるジェンダー/セクシュアリティ関係の実態、国際開発等におけるジェンダーの視点の展開等について概説し、ジェンダー理解の基礎とする。さらに、映像、ケーススタディ、学外研修を通して、ジェンダー平等 (Gender Equality) に向けた国内外のさまざまな取り組みを具体的に見ていくことによって、グローバル化が進む同時代を生きる者として、ジェンダーという視点が拓く可能性と課題について考える。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて4時間程度。 ・日頃よりジェンダー平等に向けた国内外のニュースや様々な活動に関心を持つ習慣をつけておくこと。 ・授業内容を振り返り(Reflection 200字程度、manaba 提出)。 ・次回の授業資料 (manaba) を参照して重要用語・語句、出来事などについて下調べしておくこと(事項調べ)。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンスとイントロダクション:各種ジェンダー指標からジェンダーの現状を考える 2. ジェンダー発見までの道のり(歴史的背景) 3. 女性学・ジェンダー学の誕生:ジェンダー概念とその変容と深化 4. Gender Equality への国際的取組み:(1) 国連の取組みと女子差別撤廃条約 5. Gender Equality への国際的取組み:(2) 「世界の女性は、今」(ビデオ) 6. Gender Equality への国際的取組み:(3) ジェンダーの主流化に向けて 7. Gender Equalityへの日本の取組み:(1) 男女共同参画社会づくりへの歩みと男女共同参加/社会基本法 8. Gender Equalityへの日本の取組み:(2) ジェンダー課題と法社会制度(グループワーク&プレゼンテーション) 9-10. ジェンダーの視点と地域活動(ケーススタディ):学外研修(兵庫県の取組み) 11. 女性活躍推進法と働き方改革(グループワーク、プレゼンテーション) 12. セクシュアル・マイノリティの今(ディスカッション) 13. まとめ</p> <p>注)レポート提出、授業の伝達など、manaba を多用します、必ず受信設定・登録しておいてください。併せてPC持参のこと。</p>			

科目名	ジェンダー論	後期	2 単位
サブタイトル	自分らしく生／性を生きるために	講義	
担当者	吉岡 志津世		

[成績評価方法]
 確認テスト50%＋レポート40%＋授業への取り組み(プレゼン、ディスカッション)10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
 ・テストはmanabaにてフィードバック
 ・各レポートはmanaba提出、授業中あるいはmanabaにてフィードバック
 ・授業への取り組み(プレゼン、ディスカッション)は授業中に講評。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:国際1-1-2／国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

学科DP番号／DP内容:国際2-1／物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

学科DP番号／DP内容:国際3-1-1／体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

学科DP番号／DP内容:国際3-1-2／グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

学科DP番号／DP内容:国際3-2-1／世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
 成績評価方法:レポート、テスト、授業の取り組み

[教科書(ISBN)]
 なし。講義資料 manaba

科目名	実践英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] TOEICの問題形式を教材として、日常生活・ビジネスの場面である程度意思疎通ができる英語運用力を身に付け、TOEIC-IPテスト600点以上相当の英語力を修得できる。</p> <p>[授業概要] TOEICの問題形式を教材として、リスニングの基礎、語彙、文法、読解の基礎を固める演習を徹底して行い、これまで曖昧にしてきた点を明確にして実践的な英語運用力を高める。各ユニット終了後には学修の定着を測るオンラインプログラム学習を行う。学修の定着を確認するTOEIC-IPの受験を必須とする(1回。詳細は授業で指示)。</p> <p>1. Unit 予習課題をmanabaから解答。解答解説で誤答箇所を中心に確認しておくこと。 Unit学習では、正答率の低い設問を中心に解説、曖昧な点を理解する。 2. ペアワーク、グループワークを通して実践的なコミュニケーション演習を行う。 3. 毎Unit 終了後、オンラインプログラムTESTUDYでUnitの学修を定着させる。</p> <p>授業外学習として、 1. 英語多読 (extensive reading @ A223) の演習を行い、Book Report を提出する。 2. Part 3 プレゼンテーションに向けて、音読練習を行う。 3. 毎Unit 学習を振り返るノートを作成し、学期末に提出する。特に誤答箇所を中心に、なぜ誤答したのかその理由を明確にしてその後の学習に役立てる。</p> <p>* 授業では、オンラインプログラムやmanabaを多用するので、PC、イヤホン必携のこと。また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録しておくこと。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。 日頃から英語ニュースやWebを活用して積極的に英語環境をつくり英語に親しむ習慣をつけること。 1. 各Unit 予習、リスニング・音読練習をする。 2. 誤答した設問を中心に確実に復習し、併せてテキスト準拠のオンラインプログラムTESTUDYによる復習を行う。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス(学習方法、extensive reading, presentation の概要を含む) 2. Unit 1: Dining Out + Part 3 group work 3. Unit 1 Review. Unit 2: Offices + Part 3 group work 4. Unit 2 Review. Unit 3: General Business + Part 3 group work 5. Unit 3 Review. Unit 4: Manufacturing + Part 3 group work 6. Unit 4 Review. Unit 5: Communication + Part 3 group work 7. Unit 5 Review. Unit 6: Health + Part 3 group work 8. Unit 6 Review. Unit 7: Finance and Budgeting + Part 3 group work 9. Unit 7 Review. Part 3 Presentation 11. まとめテスト 12-13. TOEIC-IP L&R Test</p> <p>* TOEIC問題形式に準じたテキストに従い、毎回演習を行う。授業の進捗状況によって調整する場合もある。</p>			

科目名	実践英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[成績評価方法] 予習・復習・小テスト等 25%+Book Report 5% + プレゼン 5%+まとめのテスト 20%+TOEIC-IP Test 45%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・まとめのテスト (mamaba)はテスト終了後フィードバック。 ・Part 3 Presentation は、ピアレビューに加えて授業中に講評する。 ・Book Report は manabaに提出。manabaからフィードバック。 ・TOEIC-IPスコアは後日配布。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト</p> <p>[教科書 (ISBN)] Best Practice for the TOEIC L&A Test: Advanced 著者名:YOSHIZUKA Hiroshi, Graham Skerritt 出版社:成美堂 (978-4-7919-7270-8) TOEIC L&Rテスト最新学習法 & 完全模試 著者名:Jリサーチ出版編集部 出版社:Jリサーチ出版 (978-4-86392-554-0)</p> <p>[参考書 (ISBN)] 公式TOEIC Listening & Learning 問題集10 著者名:Education Testin Service 出版社:国際ビジネスコミュニケーション協会 (978-4906033713)</p>			

S40100 [LGH3-001]

科目名	実践英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中 章愛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] TOEIC の問題形式を教材として、日常生活・ビジネスの場面である程度意思疎通ができる英語運用力を培い、TOEIC-IP テスト 600点以上相当の英語力修得を目標とする。</p> <p>[授業概要] TOEIC の問題形式を教材として、リスニングの基礎、語彙、文法、読解の基礎を固める演習を徹底して行い、これまで曖昧にしてきた点を明確にして実践的な英語運用力を高める。 各ユニット終了後には学修の定着を測るオンラインプログラム学習を行う。</p> <p>学修の定着を確認する TOEIC-IP の受験を必須とする(1回。詳細は授業で指示)。</p> <p>1. Unit 予習課題を manaba から解答、解答解説で誤答箇所を中心に確認しておくこと。 Unit 学習では、正答率の低い設問を中心に解説、曖昧な点を理解する。 2. Part 3 プレゼンテーションに向けて、音読練習を行う。 3. 毎 Unit 終了後、オンラインプログラム TESTUDY で Unit の学修を定着させる。</p> <p>授業外学習として 1. 英語多読 (extensive reading @ A223) の演習を行い、Book Report を提出する。 2. Part 3 のグループワークプレゼンテーション、ピアレビューで、実践的なプレゼンテーション演習を行う。 3. 毎 Unit 学習を振り返るノートを作成し、学期末に点検する。特に誤答箇所を中心に、なぜ誤答したのかその理由を明確にしてその後の学習に役立てる。</p> <p>* 授業では、オンラインプログラムや manaba を多用するので、PC、イヤホン必携のこと。 また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録しておくこと。</p> <p>* 学校現場の教員経験を有する教員が、その経験を活かして授業を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度。 日頃から、英語ニュースや Web を活用して積極的に英語環境をつくり、英語に親しむ習慣をつけること。 1. 各Unit 予習、リスニング・音読練習をする。 2. 誤答した設問を中心に確実に復習し、併せてテキスト準拠のオンラインプログラム TESTUDY による復習を行う。</p> <p>[授業計画]</p> <p>1. ガイダンス(学習方法、extensive reading、presentation の概要を含む) 2. Unit 1: Dining Out + Part 3 group work 3. Unit 1 Review. Unit 2: Offices + Part 3 group work 4. Unit 2 Review. Unit 3: General Business + Part 3 group work 5. Unit 3 Review. Unit 4: Manufacturing + Part 3 group work 6. Unit 4 Review. Unit 5: Communication + Part 3 group work 7. Unit 5 Review. Unit 6: Health + Part 3 group work 8. Unit 6 Review. Unit 7: Finance and Budgeting + Part 3 group work 9. Unit 7 Review +Extra 10. Part 3 Presentation 11. まとめのテスト 12-13. TOEIC-IP L&R Test</p> <p>* TOEIC問題形式に準じたテキストに従い、毎回演習を行う。 授業の進捗状況によって調整する場合もある。</p>			

科目名	実践英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中 章愛		
<p>[成績評価方法] 予習・復習・小テスト等 25% + Book Report 5% + プレゼン 5% + まとめのテスト 20% + TOEIC-IP 45%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・まとめのテスト(manaba)は、テスト終了後フィードバック。 ・Part 3 Presentation は、ピアレビューに加えて授業中に講評する。 ・Book Report は manaba に提出。manaba からフィードバック。 ・TOEIC-IP スコアは後日配布。 ・振り返りノートは学期末にチェックして返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>[教科書(ISBN)] BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST -Advanced- 著者名:YOSHIZUKA Hiroshi, Graham Skerritt 出版社:成美堂 (978-4-7919-7270-8) TOEIC L&R テスト最新学習法&完全模試 著者名:Jリサーチ出版編集部 出版社:Jリサーチ出版 (978-4-86392-554-0)</p> <p>[参考書(ISBN)] 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 10 著者名:Education Testing Service 出版社:国際ビジネスコミュニケーション協会 (978-4906033713)</p>			

S40101 [LGH3-001]

科目名	実践英語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] TOEICの問題形式を教材として、日常生活・ビジネスの場面である程度意思疎通ができる英語運用力を身に付け、TOEIC-IPテスト600点以上相当の英語力を修得できる。</p> <p>[授業概要] TOEICの問題形式を教材として、リスニングの基礎、語彙、文法、読解の基礎を固める演習を徹底して行い、これまで曖昧にしてきた点を明確にして実践的な英語運用力を高める。各ユニット終了後には学修の定着を測るオンラインプログラム学習を行う。学修の定着を確認するTOEIC-IPの受験を必須とする(1回。詳細は授業で指示)。</p> <p>1. Unit 予習課題をmanabaから解答。解答解説で誤答箇所を中心に確認しておくこと。 Unit学習では、正答率の低い設問を中心に解説、曖昧な点を理解する。 2. ペアワーク、グループワークを通して実践的なコミュニケーション演習を行う。 3. 毎Unit 終了後、オンラインプログラムTESTUDYでUnitの学修を定着させる。</p> <p>授業外学習として、 1. 英語多読 (extensive reading @ A223) の演習を行い、Book Report を提出する。 2. 学期に1回、おススメ本 (My Favorite Book) に関する Book Talk プレゼンテーション PPTを作成し、実践的なプレゼンテーション演習に備える。 3. 毎Unit 学習を振り返るノートを作成し、学期末に提出する。特に誤答箇所を中心に、なぜ誤答したのかその理由を明確にしてその後の学習に役立てる。</p> <p>* 授業では、オンラインプログラムやmanabaを多用するので、PC、イヤホン必携のこと。また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録をしておくこと</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて2時間程度。 日頃から英語ニュースやWebを活用して積極的に英語環境をつくり英語に親しむ習慣をつけること。</p> <p>1. 各Unit 予習、リスニング・音読練習をする。 2. 誤答した設問を中心に確実に復習し、併せてテキスト準拠のオンラインプログラムTESTUDYによる復習を行う。</p> <p>[授業計画] 1. Warm-up Practice 2. Unit 8 Entertainment + Part 3 group work 3. Unit 8 Review. Unit 9: Purchasing + Part 3 group work 4. Unit 9 Review. Unit 10: Corporate Development + Part 3 group work 5. Unit 10 Review. Unit 11: Technical Areas + Part 3 group work 6. Unit 11 Review. Unit 12: Travel + Part 3 group work 7. Unit 12 Review. Unit 13 Housing/Corporate Property + Part 3 group work 8. Unit 13 Review. Unit 14: Personnel + Part 3 group work 9. Unit 14 Review + Extra 10. Book Talk Presentation 11. まとめのテスト 12-13. TOEIC-IP L&R</p> <p>* TOEIC問題形式に準じたテキストに従い、毎回演習を行う。授業の進捗状況によって調整する場合もある。</p>			

科目名	実践英語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		

[成績評価方法]

予習・復習、小テスト等 25%+Book Talk 5% + Book Report 5% + まとめのテスト 20%+TOEIC-IP 50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

- ・まとめのテスト (manaba)はテスト終了後フィードバック。
- ・Book Talk Presentation は、ピアレビューに加えて授業中に講評する。
- ・Book Report は manaba に提出。manaba からフィードバック。
- ・TOEIC-IPスコアは後日配布。
- ・振り返りノートは学期末にチェックして返却。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。

成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。

成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:課題提出、プレゼン、テスト

[教科書 (ISBN)]

前期に引き続き Best Practicer for the TOEIC L&R Test-Advanced, 『TOEIC Listening & Reading最新学習法&完全模試』を使用する。

[参考書 (ISBN)]

なし

科目名	実践英語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中 章愛		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] TOEIC の問題形式を教材として、日常生活・ビジネスの場面である程度意思疎通ができる英語運用力を培い、TOEIC-IP テスト 600点以上相当の英語力修得を目標とする。</p> <p>[授業概要] TOEIC の問題様式を教材として、リスニングの基礎、語彙、文法、読解の基礎を固める演習を徹底して行い、これまで曖昧にしてきた点を明確にして実践的な英語運用力を高める。 各ユニット終了後には学修の定着を測るオンラインプログラム学習を行う。 学修の定着を確認する TOEIC-IP の受験を必須とする(1回。詳細は授業で指示)。</p> <p>1. Unit 予習課題を manaba から解答、解答解説で誤答箇所を中心に確認しておくこと。 Unit 学習では、正答率の低い設問を中心に解説、曖昧な点を理解する。 2. ペアワーク、グループワークを通して実践的なコミュニケーション演習を行う。 3. 毎 Unit 終了後、オンラインプログラム TESTUDY で Unit の学修を定着させる。</p> <p>授業外学習として 1. 英語多読 (extensive reading @ A223) の演習を行い、Book Report を提出する。 2. 学期に1回、おススメ本 (My Favorite Book) に関する Book Talk プレゼンテーション PPT を作成し、実践的なプレゼンテーション演習に備える。 3. 毎 Unit 、学習を振り返るノートを作成し、学期末に提出する。特に誤答箇所を中心に、なぜ誤答したのかその理由を明確にしてその後の学習に役立てる。</p> <p>* 授業では、オンラインプログラムや manaba を多用するので、PC、イヤホン 必携のこと。 また、授業の連絡等は manaba を通じて行うので、必ず受信登録をしておくこと。</p> <p>* 学校現場の教員経験を有する教員が、その経験を活かして授業を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習・復習合わせて2時間程度。 日頃から、英語ニュースや Web を活用して積極的に英語環境をつくり、英語に親しむ習慣をつけること。 1. 各 Unit 予習、リスニング・音読練習をする。 2. 誤答した設問を中心に確実に復習し、併せてテキスト準拠のオンラインプログラム TESTUDY による復習を行う。</p> <p>[授業計画] 1. Warm-up Practice 2. Unit 8: Entertainment + Part 3 group work 3. Unit 8 Review. Unit 9: Purchasing + Part 3 group work 4. Unit 9 Review. Unit 10: Corporate Development + Part 3 group work 5. Unit 10 Review. Unit 11: Technical Areas + Part 3 group work 6. Unit 11 Review. Unit 12 Travel + Part 3 group work 7. Unit 12 Review. Unit 13: Housing/Corporate Property + Part 3 group work 8. Unit 13 Review. Unit 14: Personnel + Part 3 group work 9. Unit 14 Review + Extra 10. Book Talk Presentation 11. まどめのテスト 12-13. TOEIC-IP L&R</p> <p>TOEIC問題形式に準じたテキストに従い、毎回演習を行う。 授業の進捗状況によって調整する場合もある。</p>			

科目名	実践英語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中 章愛		
<p>[成績評価方法] 予習・課題、小テスト等 25% + Book Talk 5% + Book Report 5% + まとめのテスト 20% + TOEIC-IP Test 45%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] ・まとめのテスト(manaba)はテスト終了後フィードバック。 ・Book Talk Presentation は、ピアレビューに加えて授業中に講評する。 ・Book Report は manaba に提出。manaba からフィードバック。 ・TOEIC-IP スコアは後日配布。 ・振り返りノートは学期末にチェックして返却。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:グループワーク、プレゼンテーション、テスト、レポート、オンライン学習</p> <p>[教科書(ISBN)] BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST -Advanced- (前期に引き続き使用) 著者名:YOSHIZUKA Hiroshi, Graham Skerritt 出版社:成美堂(978-4-7919-7270-8) TOEIC L&R テスト 完全模試 730 (前期に引き続き使用) 著者名:柴山かつの / Paur Dorey / 松本恵美子 / 成重寿 出版社:Jリサーチ出版(978-4-86392-381-2)</p> <p>[参考書(ISBN)] 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 10 (前期に引き続き使用) 著者名:Educational Testing Service 出版社:一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会(978-4906033713)</p>			

科目名	社会科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪 守		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中学校学習指導要領についての理解を深め、情報通信機器等の活用を含めた生徒の思考・判断・表現の育成につながる社会科教材の編成につながる中学校社会科授業を考える。</p> <p>[授業概要] この講座では、現在の中学校教育の課題や新たな学習観にも触れながら、中学校学習指導要領についての理解を深め、生徒の発達段階を踏まえた中学校社会科教育の在り方を考える。特に、広い視野に立って社会への関心を深めるための指導法や、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察するための指導法等、実践力につながる講座運営を行いたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・主として『学習指導要領解説 社会編』を読む。 ・教育実習に行く自治体の採択教科書の出版社や内容の情報を得る。 ・自治体の教育委員会の「教育振興基本計画」その他の発行物を調べる。 ※高校へ実習に行く学生は、科目が変わり、新しい教科書が採択されている。母校から情報を得ておく。</p> <p>[授業計画] 1. 中学校教育の課題と中学校社会科の展開 2. 学校教育法規と学習指導要領 3. 学習指導要領研究 I(教科の目標と内容) 4. 学習指導要領研究 II(地理的分野の目標) 5. 学習指導要領研究 III(歴史的分野の目標) 6. 学習指導要領研究 IV(公民的分野の目標) 7. 情報機器、ICTの活用及び教材編成の実際 8. 課題学習の指導「ICTの活用、資料等の活用法 9. 年間指導計画、学習指導案の作成 10. 授業研究[模擬授業] 11. フィールドワーク 12. まとめ 13. 理解度確認・解説 ※ 受講生の要望と受講者数を勘案して、講義内容を変更することがある。</p>			

科目名	社会科指導法 I	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪 守		
<p>[成績評価方法] ・授業内の作業、活動30% 提出課題の評価30% 授業内試験の評価40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 中学校学習指導要領(平成29年告示) ※他の講義で購入していればそれでよし(共有) 著者名:文部科学省 出版社:東山書房 (978-4827814613) 「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編」 著者名:文部科学省 出版社:東洋館出版社 (978-4536590051) 新版「学校を改革する」 著者名:佐藤 学 出版社:岩波ブックレットNo.1078</p> <p>[参考書 (ISBN)] 「ヒトは『いじめ』をやめられない」 著者名:中野 信子 出版社:小学館新書 中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 ※他の講義で購入していればそれでよし(共有) 著者名:文部科学省 出版社:教育出版</p>			

S45030 [LGH3-021]

科目名	社会科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪 守		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 中学校学習指導要領「社会科」〔歴史的分野〕の目標や内容についての理解に基づいて、教材編成や授業の実践力を身につける。</p> <p>[授業概要] 中学校学習指導要領の〔歴史的分野〕の目標や内容を踏まえ、歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解する。その中で日本の文化と伝統の特色を考え、現在の歴史認識に基づき国民としての自覚を育てる。小学校の歴史学習を踏まえ、歴史上の人物や文化遺産に対する理解を深めつつ、歴史に見られる国際関係や文化交流についても考え、国際協調の精神を養う。以上の事柄への実践的指導法の基礎を培うこと目指した講座運営を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・『中学校学習指導要領』『学習指導要領解説 社会編』を読む。 ・教育実習に行く自治体の採択教科書の出版社や内容の情報を得る。 ・自治体の教育委員会の「教育振興基本計画」その他の発行物を調べる。 ※高校へ実習に行く人は、教科書が改訂、科目が変わるので母校から情報を得ておく。</p> <p>[授業計画] ※ICTの活用について扱ってください 1. 〔歴史的分野〕の全体の構成の把握(含む小学校、高等学校の学習内容) 2. 教材編成の実際Ⅰ(A「歴史との対話「私たちと歴史」) 3. 教材編成の実際Ⅱ(A「歴史との対話「身近な地域の歴史」) 4. 「身近な地域の歴史」の発表 5. 教材編成の実際Ⅲ(B「近世までの日本とアジア」—古代までの日本) 6. 教材編成の実際Ⅳ(B「近世までの日本とアジア」—中世の日本) 授業研究Ⅰ(模擬授業)ICTの活用 7.教材研究の実際Ⅳ(B「近世までの日本とアジア」—近世の日本①) 8.教材研究の実際Ⅳ(B「近世までの日本とアジア」—近世の日本②) 9. 教材編成の実際Ⅵ(C「近現代の日本と世界」—近代の日本と世界) 授業研究Ⅲ(模擬授業)ICTの活用 10. 教材編成の実際Ⅶ(C「近現代の日本と世界」—現代の日本と世界) 授業研究Ⅳ(模擬授業)ICTの活用 11. 教材編成の実際…各時代のまとめ 12. フィールドワーク 13. 年間計画の作成 14. 理解度の認・解説(後期試験)</p> <p>※受講生の要望と受講者数を勘案して、講義内容を変更する場合がある。</p>			

科目名	社会科指導法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中阪 守		
<p>[成績評価方法] 授業内作業、活動30% 提出物の評価30% 授業内試験40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-1/フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] 文部科学省告示『中学校学習指導要領』 著者名:文部科学省 出版社:東山書房 (978-4827814613) 『中学校学習指導要領解説(社会科編)』-H29.7月- 著者名:文部科学省 出版社:東洋館出版社 (978-4536590051) 新版『学校を改革する』 著者名:佐藤 学 出版社:岩波ブックレットNo. 1078</p> <p>[参考書 (ISBN)] 適宜、プリント資料配布 (なし)</p> <p>実習先の中学校で使われている歴史教科書を持っていれば、必要に応じて持参する</p>			

S45040 [LGH3-022]

科目名	社会活動の法的基礎	後期	2 単位
サブタイトル	日常生活の法知識、海外制度との比較	講義	
担当者	諏佐 ランカ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 社会で活動するための基本的な法制度を理解する</p> <p>[授業概要] 民法・社会保障法・労働法を中心に、社会生活で知っておくべき法律について概説する。テーマによっては、日本と海外(主にドイツ)の法律・社会制度も紹介する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] どのような法律(または法にまつわる問題)に興味があるか考えておいてください。 また、授業ではresponアプリを使いますので、インストール等の事前準備をお願いします。</p> <p>[授業計画] 初回授業は可能な限り出席すること。試験概要や成績の評価方法などの説明があります。 レジュメはmanabaに随時アップロードします。各自ダウンロードまたは印刷して持ってきてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに～日常生活と法～ 2. 婚姻・離婚 3. 親子・扶養・相続 4. 所有と法(所有権・知的財産権) 5. 契約と解除(売買契約・賃貸借契約) 6. 労働法(男女雇用機会均等法など) 7. 税金と法 8. ジェンダーと法 9. 社会保障法1(社会保険)―健康保険・公的年金・雇用保険 10. 社会保障法2(公的扶助)―女性にまつわる法律を中心に 11. 犯罪と法(刑法) 12. 紛争解決(調停・裁判) 13. まとめ 			

科目名	社会活動の法的基礎	後期	2 単位
サブタイトル	日常生活の法知識、海外制度との比較	講義	
担当者	諏佐 ランカ		
<p>[成績評価方法] 試験(70%)、授業中の課題(20%)、授業態度(10%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題終了後に解説することを予定しています。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(レジュメを使用)※参考書は任意です。条文は、e-Gov法令検索や六法アプリを参照してください。</p> <p>[参考書(ISBN)] 「はじめまして、法学」～身近なのに知らなすぎる「これって法的にどうなの?」～ 著者名:遠藤研一郎 出版社:ウェッジ (9784860000000) ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた—あなたがあなたらしくいられるための29問 著者名:佐藤文香編 出版社:明石書店 (9784750000000)</p>			

科目名	人権思想の系譜		前期	2 単位
サブタイトル	人権の歩みと新たな人権状況への理解を深める		講義	
担当者	吉岡 志津世			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人権思想の変遷を理解し、人権に対する感性を高めることができる。</p> <p>[授業概要] 20世紀は「戦争の世紀」といわれるほど、わたしたちは大きな戦争や紛争を避けることができなかった。また科学万能主義と物質文明は自然環境の破壊をもたらし、わたしたちの生命、生活をも脅かすところまで来ている。人が人としてその生命の安全が保障され、自然との共生を図り、安心して自らの生を開花させることが今改めて求められており、その意味では、まさに21世紀は「人権の世紀」といえよう。一方、グローバル化が急速に進展する現代国際社会において、これまでの西欧中心の「人権」も再考を求められており、新たな「人権」理念の構築が模索されている。地球共生に向けた現代における人権課題と「人権文化の創造」について考えていきたい。 「世界人権宣言」に集約されている人権 (Human Rights) 概念の系譜を振り返り、連綿と継承、進化・深化してきていることを理解する。その上で、現代の人権課題、新たな人権課題についてリサーチし、ディスカッション、プレゼンテーションを行うことで、人権を等身大に捉えていく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習・復習4時間程度。 ・日頃より、国連活動や人権に関するニュースなどに関心を持つよう習慣づけること。 ・また、前回の授業の復習 (Reflection) し、次回の授業資料 (manaba) を予習して重要用語などを調べておくこと (事項調べ)。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス: 現代の人権課題フリーディスカッション 2. 近代市民社会以前の思想史と人権 (1) ギリシャ・ローマの遺産とキリスト教の伝統と人権 3. 近代市民社会以前の思想史と人権 (2) イングランドの権利と法の伝統から自然権と社会契約 4. 近代人権思想の展開 (1) 近代人権文書とその課題: アメリカ独立宣言、US憲法、フランス人権宣言 5. 近代人権思想の展開 (2) 19世紀の多様な民衆運動と人権 6. 20世紀前半2次世界大戦と人権における国際主義 7-8. 映像鑑賞(映像の世紀&世界の人々のために)とディスカッション 9. 人権思想の深化 (1) 世界人権宣言と実定法 10. 人権思想の深化 (2) 第3世代の人権 ディスカッション 11. 現代の人権課題 プレゼン/ディスカッション 12. 人権文化の創造に向けて 13. まとめ</p> <p>* 毎授業について振り返りのミニレポート(リフレクション)を manaba 提出したり次回授業始めに各自のリフレクションを共有したりするため、PC必携のこと。 * 課題提出や授業の連絡などmanabaを多用するので、必ず受信設定・登録しておくこと。また、進捗によっては、授業展開を調整することもあります。</p>				

科目名	人権思想の系譜	前期	2 単位
サブタイトル	人権の歩みと新たな人権状況への理解を深める	講義	
担当者	吉岡 志津世		

[成績評価方法]

確認テスト50%+ミニレポート(リフレクション、事項調べ)20%+映像レポート20% + 授業への取り組み10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

- ・テストは manaba で解答解説
- ・ミニレポート(リフレクション、事項調べ)は授業でフィールドバック
- ・映像レポートはmanabaからフィードバック
- ・授業の取り組み(プレゼン、ディスカッション)は授業中に講評

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

科目名	人権思想の系譜		前期	2 単位
サブタイトル	人権の歩みと新たな人権状況への理解を深める		講義	
担当者	吉岡 志津世			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 人権思想の変遷を理解し、人権に対する感性を高めることができる。</p> <p>[授業概要] 20世紀は「戦争の世紀」といわれるほど、わたしたちは大きな戦争や紛争を避けることができなかった。また科学万能主義と物質文明は自然環境の破壊をもたらし、わたしたちの生命、生活をも脅かすところまで来ている。人が人としてその生命の安全が保障され、自然との共生を図り、安心して自らの生を開花させることが今改めて求められており、その意味では、まさに21世紀は「人権の世紀」といえよう。一方、グローバル化が急速に進展する現代国際社会において、これまでの西欧中心の「人権」も再考を求められており、新たな「人権」理念の構築が模索されている。地球共生に向けた現代における人権課題と「人権文化の創造」について考えていきたい。 「世界人権宣言」に集約されている人権 (Human Rights) 概念の系譜を振り返り、連綿と継承、進化・深化してきていることを理解する。その上で、現代の人権課題、新たな人権課題についてリサーチし、ディスカッションを行うことで、人権を等身大に捉えていく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について予習・復習4時間程度。 ・日頃より、国連活動や人権に関するニュースなどに関心を持つよう習慣づけること。 ・また、前回の授業の復習 (Reflection) し、次回の授業資料 (manaba) を予習して重要用語などを調べておくこと (事項調べ)。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス: 現代の人権課題フリーディスカッション 2. 近代市民社会以前の思想史と人権 (1) ギリシャ・ローマの遺産とキリスト教の伝統と人権 3. 近代市民社会以前の思想史と人権 (2) イングランドの権利と法の伝統から自然権と社会契約 4. 近代人権思想の展開 (1) 近代人権文書とその課題: アメリカ独立宣言、US憲法、フランス人権宣言 5. 近代人権思想の展開 (2) 19世紀の多様な民衆運動と人権 6. 20世紀前半2次世界大戦と人権における国際主義 7-8. 映像鑑賞(映像の世紀&世界の人々のために)とディスカッション 9. 人権思想の深化 (1) 世界人権宣言と実定法 10. 人権思想の深化 (2) 第3世代の人権 ディスカッション 11. 現代の人権課題 プレゼン、ディスカッション 12. 人権文化の創造に向けて 13. まとめ</p> <p>* 毎授業について振り返りのミニレポート(リフレクション)を manaba 提出、リフレクションを共有する。PC必携。 * 課題提出や授業の連絡などmanabaを多用するので、必ず受信設定・登録しておくこと。また、進捗によっては、授業展開を調整することもあります。</p>				

科目名	人権思想の系譜	前期	2 単位
サブタイトル	人権の歩みと新たな人権状況への理解を深める	講義	
担当者	吉岡 志津世		

[成績評価方法]

確認テスト50%+ミニレポート(リフレクション、事項調べ)20%+映像レポート20%+授業への取り組み(プレゼン、ディスカッション)10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

- ・テスト、映像レポートは manaba でフィードバック
- ・ミニレポート(リフレクション、事項調べ)は授業でフィールドバック
- ・授業の取り組み(プレゼン、ディスカッション)は授業中に講評

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:レポート、テスト、授業への取り組み

科目名	世界の環境問題	後期	2 単位
サブタイトル	環境の変化と環境保全への道	講義	
担当者	水田 憲志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 地球規模の環境問題と日常生活とのかかわりを正確に理解し、問題解決に向けてどのように行動するかを考える。</p> <p>[授業概要] 気候を中心とした世界の自然環境を概観したうえで、現在私たちが直面する地球規模の環境問題、人口、食料、資源、エネルギー問題について講義し、ポストコロナ(コロナ以降)の世界を展望する。講義内容についての予習を課すとともに授業時に課題を出題する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業内容についての復習(1時間)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 世界の気候 3. 気候と植生 4. 気候変動 5. 生物多様性 6. 人口問題 7. 都市化する世界 8. 環境破壊 9. 食料問題 10. 水資源 11. 再生不可能エネルギー 12. 再生可能エネルギー 13. ポストコロナの世界 			

科目名	世界の環境問題	後期	2 単位
サブタイトル	環境の変化と環境保全への道	講義	
担当者	水田 憲志		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題(50%)、試験(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に出題する課題については解答例を示し、解説する。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] レジュメ・資料を作成し配布する。 著者名:なし。 出版社:なし。(なし。)</p> <p>[参考書(ISBN)]</p>			

S43200 [LGI2-002]

科目名	世界の地理・地誌学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	水田 憲志		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	<small>毎回、授業内容に関する課題(コメント作成)を課し、理解度の確認し、疑問点などについて次回で応答する。</small>	実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 世界の諸地域における地理的諸事象の特徴や関わりを広く理解し、地域の特徴や問題について説明できる能力を修得する。</p> <p>[授業概要] 世界の諸地域における自然環境と人間活動のかかわりを概観したうえで、各地域の特徴的な事象や地域の問題について講義する。講義内容についての予習を課すとともに授業時に課題を出題する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業についての復習(1時間)</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに(授業の進め方/地理学・地誌学について) 2. 東アジア 3. 東南アジア 4. 南アジア 5. 西アジアと中央アジア 6. アフリカ(1) 北アフリカ 7. アフリカ(2) サハラ以南のアフリカ 8. ヨーロッパ(1) ヨーロッパの地域区分 9. ヨーロッパ(2) ヨーロッパの地域問題 10. ロシア 11. アングロアメリカ 12. ラテンアメリカ 13. オセアニア 			

科目名	世界の地理・地誌学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	水田 憲志		
<p>[成績評価方法] 授業中課題(50%)および試験(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p>			

S42050 [LGI1-001]

科目名	世界の民族と宗教A	後期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝、莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教を特徴づける枠組みについて広い知識を得る。 2. 世界の三大宗教といわれるキリスト教、イスラム教、仏教について基本的な理解を得る。 <p>[授業概要]</p> <p>宗教は、現代人の生活や世界の平和と深くかかわっている。国際化した社会では異なった宗教文化をもつ人々と接触する機会も多く、いわゆる三大宗教(キリスト教、イスラム教、仏教)や民族宗教(ユダヤ教、ヒンドゥー教など)についての知識は不可欠である。宗教や民族が異なっているために起こる無理解や不信感が差別や暴力を招き、紛争や戦争に発展してしまう事例が後を絶たない。</p> <p>講義では、平和と国際交流を求める国際人として宗教のあり方について学んでいく。なお、この講義(A)と次年度の「世界の民族と宗教B」とを合わせて受講することで、すべての三大宗教やさまざまな民族宗教について学ぶことができる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、復習を中心に4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス:「宗教リテラシー」とは (室屋) 2. 宗教の種類と構成要素(室屋) 3. 宗教と神話・物語(室屋) 4. 信仰と奇跡・呪術(室屋) 5. 宗教と儀礼(室屋) 6. 宗教の機能と現代社会(莊) 7. ユダヤ教 (1)(室屋) 8. ユダヤ教 (2)(室屋) 9. ユダヤ教 (3)(室屋) 10. キリスト教 (1)(室屋) 11. キリスト教 (2)(室屋) 12. キリスト教 (3)(室屋) 13. まとめ(室屋) 			

科目名	世界の民族と宗教A	後期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝、莊 千慧		

[成績評価方法]

発表(25%)、課題レポート(35%)、試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

KISSシステムにてご確認ください。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

科目名	世界の民族と宗教A	後期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝、莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教を特徴づける枠組みについて広い知識を得る。 2. 世界の三大宗教といわれるキリスト教、イスラム教、仏教について基本的な理解を得る。 <p>[授業概要]</p> <p>宗教は、現代人の生活や世界の平和と深くかかわっている。国際化した社会では異なった宗教文化をもつ人々と接触する機会も多く、いわゆる三大宗教(キリスト教、イスラム教、仏教)や民族宗教(ユダヤ教、ヒンドゥー教など)についての知識は不可欠である。宗教や民族が異なっているために起こる無理解や不信感が差別や暴力を招き、紛争や戦争に発展してしまう事例が後を絶たない。</p> <p>講義では、平和と国際交流を求める国際人として宗教のあり方について学んでいく。なお、この講義(A)と次年度の「世界の民族と宗教B」とを合わせて受講することで、すべての三大宗教やさまざまな民族宗教について学ぶことができる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、復習を中心に4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス:「宗教リテラシー」とは (室屋) 2. 宗教の種類と構成要素(室屋) 3. 宗教と神話・物語(室屋) 4. 信仰と奇跡・呪術(室屋) 5. 宗教と儀礼(室屋) 6. 宗教の機能と現代社会(莊) 7. ユダヤ教 (1)(室屋) 8. ユダヤ教 (2)(室屋) 9. ユダヤ教 (3)(室屋) 10. キリスト教 (1)(室屋) 11. キリスト教 (2)(室屋) 12. キリスト教 (3)(室屋) 13. まとめ(室屋) 			

科目名	世界の民族と宗教A	後期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝、莊 千慧		

[成績評価方法]

発表(25%)、課題レポート(35%)、試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

KISSシステムにてご確認ください。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

科目名	世界の民族と宗教B	前期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

1. 世界宗教といわれるキリスト教、イスラーム(イスラム教)、仏教について広い知識を獲得する。
2. 宗教と各地域の民族・地理・歴史との関係について多面的な理解を得る。
3. 宗教の基本的な枠組みに基づいて、宗教について説明することができる。

[授業概要]

宗教は、現代人の生活や世界の平和と深くかかわっている。国際化した社会では異なった宗教文化をもつ人々と接触する機会も多く、いわゆる三大宗教(キリスト教、イスラム教、仏教)や民族宗教(ユダヤ教、ヒンドゥー教など)についての知識は不可欠である。宗教や民族が異なっているために起こる無理解や不信感が差別や暴力を招き、紛争や戦争に発展してしまう事例が後を絶たない。

講義では、平和と国際交流を求める国際人として宗教のあり方について学んでいく。なお、キリスト教とユダヤ教は「世界の民族と宗教(A)」で扱っているため、この授業では、イスラームと仏教を取り上げ、五大宗教にもあげられるヒンドゥー教と、ほかに儒教や神道などについて学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、復習と課題学習を中心に4時間程度。

[授業計画]

1. ガイダンス
2. イスラーム(6世紀のアラビア社会とムハンマド)
3. イスラーム(イスラムの拡大)
4. イスラーム(イスラームの教義と実践)
5. 仏教(古代インドの社会と思想)
6. 仏教(ブッダの生涯)
7. 仏教(仏教の興隆)
8. ヒンドゥー教(ヴェーダとウパニシャッド)
9. ヒンドゥー教(初期のヒンドゥー教)
10. ヒンドゥー教(ヒンドゥー教の思想と広がり)
11. 儒教
12. 神道
13. まとめ・宗教の現代的意義についての解説

科目名	世界の民族と宗教B	前期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝		

[成績評価方法]

発表(25%)、課題レポート(35%)、試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

科目名	世界の民族と宗教B	前期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界宗教といわれるキリスト教、イスラーム(イスラム教)、仏教について広い知識を獲得する。 2. 宗教と各地域の民族・地理・歴史との関係について多面的な理解を得る。 3. 宗教の基本的な枠組みに基づいて、宗教について説明することができる。 <p>[授業概要]</p> <p>宗教は、現代人の生活や世界の平和と深くかかわっている。国際化した社会では異なった宗教文化をもつ人々と接触する機会も多く、いわゆる三大宗教(キリスト教、イスラム教、仏教)や民族宗教(ユダヤ教、ヒンドゥー教など)についての知識は不可欠である。宗教や民族が異なっているために起こる無理解や不信感が差別や暴力を招き、紛争や戦争に発展してしまう事例が後を絶たない。</p> <p>講義では、平和と国際交流を求める国際人として宗教のあり方について学んでいく。なお、キリスト教とユダヤ教は「世界の民族と宗教(A)」で扱っているため、この授業では、イスラームと仏教を取り上げ、五大宗教にもあげられるヒンドゥー教と、ほかに儒教や神道などについて学ぶ。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、復習と課題学習を中心に4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. イスラーム(6世紀のアラビア社会とムハンマド) 3. イスラーム(イスラムの拡大) 4. イスラーム(イスラームの教義と実践) 5. 仏教(古代インドの社会と思想) 6. 仏教(ブッダの生涯) 7. 仏教(仏教の興隆) 8. ヒンドゥー教(ヴェーダとウパニシャッド) 9. ヒンドゥー教(初期のヒンドゥー教) 10. ヒンドゥー教(ヒンドゥー教の思想と広がり) 11. 儒教 12. 神道 13. まとめ・宗教の現代的意義についての解説 			

科目名	世界の民族と宗教B	前期	2 単位
サブタイトル	世界の三大宗教	講義	
担当者	室屋 安孝		

[成績評価方法]

発表(25%)、課題レポート(35%)、試験(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:発表、課題レポート、試験

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1. ガイダンス、文献の調べ方・先行研究レビュー指導 2. 各自の関心分野＋章構想＋執筆スケジュール発表① 3. 各自の関心分野＋章構想＋執筆スケジュール発表② 4. 各自の関心分野＋章構想＋執筆スケジュール発表③ 5. 卒論初期段階発表① 6. 卒論初期段階発表② 7. 卒論初期段階発表③ 8. 卒論初期段階発表④ 9. 卒論中間段階発表① 10. 卒論中間段階発表② 11. 卒論中間段階発表③ 12. 卒論中間段階発表④ 13. 学科の卒論中間発表会</p> <p>後半 1. ガイダンス、先行研究レビュー復習 2. 「はじめに」＋1章分の発表①-1 3. 「はじめに」＋1章分の発表②-1 4. 「はじめに」＋1章分の発表③-1 5. 「はじめに」＋1章分の発表④-1 6. 「はじめに」＋1章分の発表①-2 7. 「はじめに」＋1章分の発表②-2 8. 「はじめに」＋1章分の発表③-2 9. 「はじめに」＋1章分の発表④-2 10. 「表紙」＋「目次」＋「はじめに」＋「おわりに」＋「参考文献・資料」の発表① 11. 「表紙」＋「目次」＋「はじめに」＋「おわりに」＋「参考文献・資料」の発表② 12. 学科のポスター発表会準備 13. 学科のポスター発表会</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	高城 建人		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文50% ・研究プロセス40% ・ポスター発表10% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>[教科書(ISBN)] なし</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S49000 [LGH4-001]

科目名	卒業研究		前期～後期	8 単位
サブタイトル			演習	
担当者	室屋 安孝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート		○	グループワーク	
プレゼンテーション		○	実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1. 各自のテーマについて、選定動機、今後の方向性 (1) 2. 各自のテーマについて、選定動機、今後の方向性 (2) 3. 各自のテーマについて、選定動機、今後の方向性 (3) 4. 各自のテーマに関する基本文献・資料についてレポート発表 (1) 5. 各自のテーマに関する基本文献・資料についてレポート発表 (2) 6. 各自のテーマに関する基本文献・資料についてレポート発表 (3) 7. 第2次発表と、テーマと論点について修正・限定する議論 (1) 8. 第2次発表と、テーマと論点について修正・限定する議論 (2) 9. 第2次発表と、テーマと論点について修正・限定する議論 (3) 10. 第2次発表と、テーマと論点について修正・限定する議論 (4) 11. 第3次発表 (1) 12. 第3次発表 (2) 13. 第3次発表 (3) 14. 夏休みまでに書き終えた部分の報告と検討 (1) 15. 夏休みまでに書き終えた部分の報告と検討 (2) 16. 第4次発表(目次と全体構成の確定)と中間発表の準備 (1) 17. 第4次発表(目次と全体構成の確定)と中間発表の準備 (2) 18. 中間発表 19. 最終構成の決定 (1) 20. 最終構成の決定 (2) 21. 完成原稿の検討 (1) 22. 完成原稿の検討 (2) 23. 最終修正 (1) 24. 最終修正 (2) 25. 学科へ提出 26. ポスター発表会の準備</p>				

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文50% ・研究プロセス40% ・ポスター発表10% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:論文、研究プロセス、ポスター発表</p> <p>[教科書 (ISBN)]</p> <p>『アカデミック・スキルズ』 第2版 著者名:佐藤望編著 出版社:慶応義塾大学出版会 (978-4-7664-1960-3)</p> <p>[参考書 (ISBN)]</p> <p>なし(授業中に紹介する)</p>			

S49020 [LGH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	2年間研究結果の集大成	演習	
担当者	莊 千慧		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。 まず、自分の関心をもつ課題をはっきりさせ、それに関連する先行研究の文献・資料を集め、段階的に自分の考えをまとめ、授業中に発表する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に問題意識を持つこと。関係資料を早めに手元に置く。 ・発表レジュメは発表前日の17時までに配布。 ・1人の発表時間は約20分。 ・質問者は事前にテキストとレジュメを読み、2つ以上の質問を用意。 <p>[授業計画] 前期 1.オリエンテーション 2.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 3.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 4.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 5.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 6.中間発表 7.中間発表 8.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 9.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 10.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 11.各自の問題意識と選定したテーマについて報告、議論する 12.学科中間発表の準備 13.学科中間発表の準備 ※前期の期末レポートは5000字</p> <p>後期 1.前期期末レポート修正稿に基づく発表 2.卒論第二部分に基づく発表① 3.卒論第二部分に基づく発表② 4.論文指導 5.論文指導 6.卒論初稿に基づく発表 7.論文指導 8.論文指導 9.論文指導 10.学科提出の準備 11.論文指導 12.論文指導 13.口頭試問の準備</p>			

S49030 [LGH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	2年間研究結果の集大成	演習	
担当者	莊 千慧		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文50% ・研究プロセス40% ・ポスター発表10% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>manabaで行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)]</p> <p>なし</p> <p>[参考書 (ISBN)]</p> <p>なし(授業中に指定する)</p>			

S49030 [LGH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	卒業論文に取り組む	演習	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。 各自研究テーマを絞り込み、文献調査およびインタビューなど社会調査を実施し、論文としてまとめる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 4年間の集大成を完成させるという意識をもってゼミに参加し、卒業論文を書くこと。 各回、予習復習4時間程度。</p> <p>[授業計画] 1. テーマを絞り込む 2. テーマについての文献の調査方法(1) 3. テーマについての文献の調査方法(2) 4. 論文の構成(1) 5. 論文の構成(2) 6. 参考文献の引用方法(1) 7. 参考文献引用方法(2) 8. 参考文献のリスト作成方法(1) 9. 参考文献のリスト作成方法(2) 10. 文献調査(1) 11. 文献調査(2) 12. 社会調査方法(1) 13. 社会調査方法(2) 14. 中間報告準備 15. 中間報告 16. 聞き取り調査(1) 17. 聞き取り調査(2) 18. 聞き取り調査(3) 19. 聞き取り調査(4) 20. 論文校正(1) 21. 論文校正(2) 22. 論文校正(3) 23. 論文校正(4) 24. 論文校正(5) 25. 論文校正(6) 26. 最終提出</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	卒業論文に取り組む	演習	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> 論文50% 研究プロセス40% ポスタープレゼンテーション 10% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポートや論文については、コメント及び修正の指示を示す。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] ゼミ時に資料や図書を紹介する。</p> <p>[参考書 (ISBN)] 特に指定しない</p>			

S49070 [LGH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 1. 前期ガイダンス:論文作成準備進捗報告 2. 文献収集レビューと露文作成工程 3. テーマの設定・確定 4. 論立て・論文構成の留意点 5. テーマおよび論文構成演習(アウトライン) 6. ゼミ内テーマ概要発表と合評 7. 文献研究解題演習① 引用の種類・注のつけ方 8. 文献研究解題演習② 引用事例 9. 文献研究解題演習③ 文献表記のルール 10. 論文章立て作成演習:各章梗概第1校 11. 論文章立て作成演習:各章梗概第2校 12. ゼミ内卒論中間模擬発表 13. まとめ:卒論中間発表 14. 文献一覧作成演習 15. 論文構成演習(章立て) 16. 論点整理と講評 17. 論文初校作成 18. 初校講評・校正 19. 論文第2校作成 20. 2校講評・校正 21. 論文第3校作成 22. 3校講評・校正 23. 最終稿作成 24. 最終講評 25. 卒論最終チェック 26. まとめ:ゼミ内卒論発表会</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文50% ・研究プロセス40% ・ポスター発表10% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:論文作成、研究プロセス ポスター発表</p> <p>[教科書(ISBN)]</p> <p>なし。適宜資料配布</p> <p>[参考書(ISBN)]</p> <p>『アカデミック・スキルズ:大学生のための知的技法入門 新版』 著者名:佐藤・湯川・横山・近藤編 出版社:(慶応義塾大学出版会)</p>			

S49080 [LGH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。

[授業概要]

各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。

[授業計画]

1. 研究テーマの説明
研究室の研究テーマ、卒業論文課題候補を提示する
2. 研究の進め方
選択したテーマに沿って研究方法などを検討し、研究目的、研究方法を各自プレゼンテーションする(議論、指導などを含む)
3. 卒業研究①
研究計画を作成し、研究を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
4. 卒業研究②
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
5. 卒業研究③
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
6. 卒業研究④
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
7. 中間検討
研究室内で卒業研究の進捗状況、今後の課題などをプレゼンテーションし、議論する
8. 卒業研究⑤
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
9. 卒業研究⑥
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
10. 卒業研究⑦
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
11. 卒業研究⑧
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
12. 卒業研究⑨
研究計画を進める(関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む)
13. 期末発表
期末発表を行い、研究について議論する

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文50% ・研究プロセス40% ・ポスター発表10% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)]</p> <p>プリント配布</p> <p>[参考書 (ISBN)]</p> <p>随時紹介</p>			

S49090 [LGH4-001]

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	Completing an English graduation paper about diversity, identity, gender or language	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 研究テーマについて、教員の指導に基づき計画的かつ主体的に調査等を実施し、卒業論文を完成させる。</p> <p>[授業概要] 各自のテーマに沿って自ら研究計画を立てて研究を進め、授業中や担当教員に進捗状況を報告し、担当教員の指導を受けながら卒業論文を完成させていく。前期の最後には学科での卒論中間発表会、後期の最後には学科でポスター発表会を行う。 In this seminar, we will work together to complete your graduation research project/paper. We will focus on research skills and academic English writing skills. Each week, students will share their progress and receive feedback.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。</p> <p>[授業計画] 前期 1. Introduction, goals, and review 2. ~ 11. Student updates, feedback, and academic English guidance 12. Review and instructor comments 13. Presentations about research progress 後期 14. Introduction, goals, and review 15. ~ 24. Student updates, feedback, and academic English guidance 25. ~ 26. Specific guidance based on student needs</p>			

科目名	卒業研究	前期～後期	8 単位
サブタイトル	Completing an English graduation paper about diversity, identity, gender or language	演習	
担当者	E. ウィリアムズ		
<p>[成績評価方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文50% ・研究プロセス40% ・ポスター発表10% <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:発表、ディスカッション、卒論のプロセス</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)]</p> <p>なし</p> <p>[参考書 (ISBN)]</p> <p>Provided by instructor</p>			

S49100 [LGH4-001]

科目名	多文化共生論		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	チャン ティフェ、E. ウィリアムズ、ブライアン マレー、高城 建人			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 多文化する日本で起きている現実や共生社会に向けた実践に触れることから、日本の中での共生について考察し、多文化共生社会の在り方やそれを支える法制度、さらに自分の現場からできることは何かを考えることができる。</p> <p>[授業概要] 日本に生活する移民・外国人労働者の様々な現実や共生社会に向けた取り組みを映像資料、講義、参加者間のグループワークを通じて理解する。また、共生を妨げる差別や貧困などの実態を知り、それらの背景や乗り越える方法について学ぶ。授業の全体を通じて、自分たちが描く多文化共生社会とは何か、そのために必要な法制度の在り方や、自分が今いる場からできることは何かなどの議論を深めていきたい。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業に、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。毎週の授業で配布する資料を次週までにしっかり読み込むこと。また映像資料の閲覧を推奨する場合や調べ学習を課することもある。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション:授業の狙いと進め方について。私たちが考える「多文化共生とは何か？(チャン) 2. 多文化社会日本の今①:在留外国人労働者・技能実習生①(チャン) 3. 多文化社会日本の今②:在留外国人労働者・技能実習生②(チャン) 4. グループワーク①:多文化共生のために私たちにできること(チャン) 5. グループワーク②:まとめと発表(チャン) 6. 多文化社会日本の今③ (マレー) 7. 多文化社会日本の今④(マレー) 8. 多文化社会日本の今⑤:日系コミュニティ(歴史と文化なアイデンティティ)(ウィリアムズ) 9. 多文化社会日本の今⑥:日系コミュニティ (教育と言語)(ウィリアムズ) 10. 多文化社会日本の今⑦:外国人居住者コミュニティ (歴史と異文化交流)(ウィリアムズ) 11. 多文化社会日本の今⑧:外国人居住者コミュニティ (教育と社会活動)(ウィリアムズ) 12. 日本に生活する外国のルーツを持つ人々① (高城) 13. 日本に生活する外国のルーツを持つ人々② (高城) (内容と順番が変更する場合があります)</p>				

科目名	多文化共生論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ、E. ウィリアムズ、ブライアン マレー、高城 建人		
<p>[成績評価方法] 教員ごとに下記の配点で評価を行い、合算して最終的な成績を出す。 チャン(40満点):第5回のグループ・プレゼンテーション(20点)と小レポート(20点) ウィリアムズ(30満点):グループディスカッション(10点)と小レポート(20点) 高城、マレー(30点満点)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に、もしくはmanabaを通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小レポート、グループ・プレゼンテーション</p> <p>[教科書(ISBN)] 授業ごとに資料を配付</p> <p>[参考書(ISBN)] 随時紹介</p>			

科目名	地域開発論	前期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標SDGsの観点からの考察	講義	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>1.SDGsとは何か、その理念・用語・定義を知ると同時に世界規模で起きている様々な問題について学び、理解を深めること。</p> <p>2. 学生が自発的に学習課題を発見し、それを自学自習によって解決する能力を身に着ける。</p> <p>3. 課題やグループ・ワーク、プレゼンテーションを通じて、自分の考えを他人に論理的に説明し、理解させることの重要性を認識し、そのために必要なコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身に着ける。</p> <p>[授業概要]</p> <p>「持続可能な開発目標SDGs」は、全ての人類が発展を遂げながら生存を続けられることを目指して、国連で採択された目標である。持続可能な開発を実現し、目標を達成するためには、大きく「環境」「社会」「経済」の3要素が調和している状態を維持することが重要だと言われている。</p> <p>本授業では、SDGsの17目標の具体的な課題やその理念を理解しつつ、上述の3つの要素の中、①「社会」(貧困、教育機会の不平等、ジェンダー格差、健康と福祉、消費と生産等)、②「経済」(経済格差の拡大、海外労働者の受け入れ等)の問題を中心に解説し、同時に持続可能な社会づくりのための施策・解決案を履修者とともに議論し考えていく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>国内及び国際的な地域開発についての新聞記事等に目を通すこと。前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。</p> <p>* 各回、予習・復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.SDGsとは？第1目標～第17目標、グループ編成 3.SDGs課題① 貧困 4.SDGs課題② 教育機会の不平等 5. SDGs課題③ ジェンダー格差 6. SDGs課題④ 健康と福祉 7. SDGs課題⑤ 消費と生産 8. SDGs課題⑥ 経済格差の拡大 9. SDGs課題⑦ 海外労働者の受け入れ 10. ゲスト講師による講義 11.グループワーク①: 課題設定 12.グループワーク②: 成果発表 13. 総括 			

科目名	地域開発論	前期	2 単位
サブタイトル	持続可能な開発目標SDGsの観点からの考察	講義	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法] 課題(50%)、プレゼンテーション(50%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、プレゼンテーション</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜紹介</p>			

科目名	地域基礎研究A(アジアA)	前期	2 単位
サブタイトル	東南アジアに関する基礎研究	講義	
担当者	野口 和美、平松 秀樹、莊 千慧、チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] オフ・キャンパス・プログラムの留学先の国々及びそれらの近隣国の文化、社会、政治、経済について理解を深める。</p> <p>[授業概要] オフ・キャンパス・プログラム(中国、タイ)、近隣国のベトナムの文化、社会、政治、経済に関する講義。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 東アジア及び東南アジアの地図の予習及び講義に対して4時間程度の予習復習が必要である。</p> <p>[授業計画] 1. オフ・キャンパス・プログラムⅢ (野口、莊) 2. タイ 文化 (野口) 3. タイ 社会 (野口) 4. タイ 政治 (野口) 5. タイ 文学 (平松) 6. タイのサブ・カルチャー (平松) 7. 中国の地理と民族 (莊) 8. 現代中国の政治 (莊) 9. 現代中国の外交 (莊) 10. 現代中国の経済(莊) 11. 現代中国の社会(莊) 12. ベトナムの経済 (チャン) 13. ベトナムの社会 (チャン)</p>			

科目名	地域基礎研究A(アジアA)	前期	2 単位
サブタイトル	東南アジアに関する基礎研究	講義	
担当者	野口 和美、平松 秀樹、莊 千慧、チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法] 小テスト 授業後の課題</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 解説 課題については、解説及びコメント</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 指定しないが、授業中に必要な資料を配布する。</p> <p>[参考書(ISBN)] 特に指定しないが、授業時に必要な資料は配布する。</p>			

科目名	地域基礎研究B(アジアB)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	莊 千慧、高城 建人		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] OCP先の国の事情やその国と日本との関係についての理解を深める。</p> <p>[授業概要] OCP先に対する理解を深めるために、それぞれの国と地域における歴史、文化、社会を紹介し、日本との関係などについて学習する。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画] 1.オリエンテーション(莊) 2.台湾の地理・自然・先史(莊) 3.オランダ時代・明鄭時代・清代(莊) 4.日本統治時代(莊) 5.中華民国による台湾統治(莊) 6.中華文化・本土文化・日本文化——現代史にみる“われわれ”意識(莊) 7.日本と台湾との関係——切っても切れない重要な隣国(莊) 8.朝鮮半島の地理・自然・言葉(高城) 9.近代以前の日本と朝鮮半島との文化交流①6世紀～15世紀:渡来人からの文化伝授から限定的交流へ(高城) 10.近代以前の日本と朝鮮半島との文化交流②15世紀～19世紀:倭館を通じた交流から朝鮮通信使まで(高城) 11.近代における日本と朝鮮半島との文化交流:日本を通じての近代化模索の挫折と日本の植民地支配(高城) 12.韓国民主化以前(1948-1987)の日本と朝鮮半島(主に韓国)との文化交流:韓国政府による日本他者化模索と日本文化流入規制(高城) 13.韓国民主化以後(1987-現在)の日本と朝鮮半島(主に韓国)との文化交流:韓国政府による日本文化流入解禁から日本での韓流ブームへ(高城)</p>			

科目名	地域基礎研究B(アジアB)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	莊 千慧、高城 建人		
<p>[成績評価方法] 教員ごとに下記の基準により50点満点で評価を行い、それを合算して最終的な成績を出す。</p> <p>小テスト(30点)、課題(発表等の形式も含む)(20点)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] manabaやメールで行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 適宜資料を配布します。</p> <p>[参考書(ISBN)] 『台湾を知るための72章』 著者名:赤松美和子など 出版社:明石書店 (9780000000000) 『日本と韓国・朝鮮の歴史』 著者名:中塚明 出版社:高文研 (9784870000000) 『「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし』 著者名:加藤圭木監修 出版社:大月書店 (9784270000000)</p>			

S41110 [LGH1-018]

科目名	地域基礎研究C(ヨーロッパ・アメリカ)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	室屋 安孝、E. ウィリアムズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. ヨーロッパ地域とアメリカ地域の歴史・社会・文化について基礎的な知識を修得する。 2. 授業中に与えられた課題について自ら作成した資料をもとにわかりやすく発表する。</p> <p>[授業概要]</p> <p>ヨーロッパと北アメリカ(主にアメリカ合衆国とカナダ)は欧米的な価値観を作ってきた。それぞれの地域の歴史や社会、文化を幅広く理解するために、民族、言語、女性史、ジェンダー論、芸術などの視点によって、過去と現代を接続するさまざまな出来事や事象を学ぶ。なお、この授業は、2名の担当者によるオムニバス形式の講義である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>各回、予習・復習に4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス:「欧米」的な価値観とは何か(室屋) 2. アメリカ(1) 基礎知識とアメリカとカナダの始まり(ウィリアムズ) 3. アメリカ(2) 文化的、言語的な多様性(ウィリアムズ) 4. アメリカ(3) ジェンダー平等(ウィリアムズ) 5. アメリカ(4) 食文化(ウィリアムズ) 6. アメリカ(5) ポップカルチャー(ウィリアムズ) 7. アメリカ(6) ペア口頭発表とグループディスカッション(ウィリアムズ) 8. ヨーロッパ(1) 多言語主義(室屋) 9. ヨーロッパ(2) ユダヤ人と「記憶」文化(室屋) 10. ヨーロッパ(3) ルネサンス(室屋) 11. ヨーロッパ(4) 女性史とジェンダー論(室屋) 12. ヨーロッパ(5) 社会と文化(室屋) 13. ヨーロッパ(6) プレゼンテーション(室屋) 			

科目名	地域基礎研究C(ヨーロッパ・アメリカ)	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	室屋 安孝、E. ウィリアムズ		
<p>[成績評価方法] 教員ごとに下記の基準により50点満点で評価を行い、それを合算して最終的な成績を出す。 小テスト(30点)、課題(発表等の形式も含む)(20点)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 課題は授業中に、もしくはmanaba等を通じてフィードバックを行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:小テスト、課題</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(レジュメ・資料を配布する)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし(授業中に紹介する)</p>			

S41120 [LGH1-019]

科目名	地域専門研究A(アジアA)	前期	2 単位
サブタイトル	韓国現代史	演習	
担当者	高城 建人		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

日本の植民地支配から解放後、韓国はどのような発展過程を歩んできたのかに関する基礎知識を取得し、日韓関係の相互理解を理解するためにより広い視野を持つことを目指す。一方的な情報を鵜呑みせずに、交差検証を行い、適切な判断能力を養うメディアリテラシー能力を涵養する。

[授業概要]

解放後、韓国の人々がどのような歴史的過程を経て現在まで生きて来たのか、激動に満ちた解放から現在までの韓国のダイナミックな道のりについて、当時の政治指導者と人々の苦悩について理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。

[授業計画]

1. ガイダンス、現代韓国政治・社会の特徴
2. 南北分断胎動期(1945-1948)の朝鮮半島の動向

- 【第1部】: 民主化以前(1948-1987)の韓国政治・社会
3. 李承晩政権期(1948-1960)の韓国政治・社会と朝鮮戦争
 4. 朴正熙政権期(1961-1979)の韓国政治・社会
 5. 日韓国交正常化(1965)と韓国の経済発展
 6. 全斗煥政権期(1980-1988)の韓国
 7. 光州事件(1980)と民主化運動

- 【第2部】: 民主化以後(1987-現在)の韓国政治・社会

8. 民主化と社会政策
9. 保守と進歩の対立
10. 韓国の外交政策の変遷
11. 日本との関係の変遷
12. グローバル化と大衆文化の隆盛
13. 問題先進国家へ: 少子化・高齢化・貧富の格差・世代間対立など

科目名	地域専門研究A(アジアA)	前期	2 単位
サブタイトル	韓国現代史	演習	
担当者	高城 建人		

[成績評価方法]

授業への参加度(30%)、小テスト(30%)、レポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力

成績評価方法:授業への参加度、小テスト、レポート

[教科書(ISBN)]

なし

[参考書(ISBN)]

韓国:民主化と経済発展のダイナミズム 著者名:木宮正史 出版社:ちくま新書(978-4480061263)

国際政治のなかの韓国現代史 著者名:木宮正史 出版社:山川出版社(978-4634640566)

民主化以後の韓国民主主義——起源と危機 著者名:崔章集 出版社:岩波書店(978-4000248631)

K-POP現代史——韓国大衆音楽の誕生からBTSまで 著者名:山本 浄邦 出版社:ちくま新書(978-4480075475)

韓国現代史:大統領たちの栄光と蹉跎 著者名:木村幹 出版社:中公新書(978-4121019592)

科目名	地域専門研究B(アジアB)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>本講義では、アジア経済の発展メカニズム、グローバリゼーション下での新しい動き、現代のアジアが直面する様々な課題を概観することで、アジア経済のダイナミズムを把握するとともに、アジア域内及び日本とアジアとの相互関係を理解することを目標とします。</p> <p>[授業概要]</p> <p>かつて貧困と停滞で形容されたアジアは、ここ50年間に、貿易、投資の拡大、市場経済化、地域経済統合など様々な動きを見せ、世界の中でも最も活性化した地域となっています。これまでアジア諸国との国際分業体制を構築し、経済的依存度を深めてきた日本にとって、アジア経済を的確に捉えることが重要な意味を持つようになった。本講義では、アジア地域内の相互依存・価値共創関係を意識しながら、アジア経済の体系的な知識・理論について最新情報をベースに解説していく。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業中に示す参考文献をよく読んで理解を深めておくこと。 各回、予習復習合わせて4時間程度が必要。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 講義の構成、進め方、評価方法等について説明する。 2. 世界の中のアジア 「世界の工場」から「世界の消費市場」へと変貌を遂げている要因 3. アジア経済はなぜ発展したのか アジア経済の特徴、アジア経済発展の要因・メカニズム 4. 中国などの新興経済の台頭 新興経済とはどこの国・地域を指すのか、新興アジア経済の現状 5. 中国が変えるアジア 中国の経済発展はアジア地域経済にどのような影響を与えているのか 6. アジアの工業化とグローバル化 アジア経済地域における多国籍企業とグローバルバリューチェーン 7. アジア経済のデジタル化とイノベーション デジタル化時代におけるアジア経済、アジアのイノベーションの源泉となる要因 8. アジアにおける国際労働移動 アジアにおける国際労働移動とその関連の政策・制度 9. アジアにおけるインフォーム経済 インフォーム経済とは何か、アジアにおけるインフォーム経済の動向とその機能 10. アジア経済と日本の役割 日本経済はアジア地域にどのような影響を与えているのか 日本の外国人労働者の受入れの現状、技能実習生の制度 11. 国際舞台で活躍するアジア ASEAN、ASEANの経済共同体、ASEANの経済統合 12. アジアの抱える諸問題 中所得の罅、少子高齢化、貧困と格差 13. 総括 			

科目名	地域専門研究B(アジアB)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法] 課題(30%)、グループ・プレゼンテーション(30%)、期末試験(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、プレゼンテーション、期末試験</p> <p>[教科書(ISBN)] 『現代アジア経済論「アジアの世紀を学ぶ」』 著者名:遠藤 環, 伊藤 亜聖, 大泉 啓一郎, 後藤 健太 編 出版社:有斐閣 (978-4641184428)</p>			

S43310 [LGH3-018]

科目名	地域専門研究C(ヨーロッパ)		後期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	室屋 安孝			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	○
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標]</p> <p>1. ヨーロッパ地域の民族・言語・社会・文化について幅広い知識を身につけることができる。 2. ヨーロッパについて多角的な視点を持ち、他者に分かりやすく説明することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>ヨーロッパは現代で重視される価値観の基礎を築き、グローバリゼーションという世界的現象を生み出す一つの母体となっています。そのヨーロッパにも、ローカルと言うべき多様な地域や民族があり、言語、歴史、宗教、文化によるさまざまな個性があります。この講義では、ヨーロッパにおける異文化理解のあり方を、政治、ジェンダー、環境問題などのマクロな視点と、言語教育、社会、宗教、文化というローカルな視点から学びます。また、課題学習やグループワークを通じて、自分の考えと関心を持ちながら、他者とのコミュニケーション力を高めていきます。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>授業での理解をより深めるための資料を配布します。各回、予習・復習に4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス: ヨーロッパの地理と民族 2. EU: 多言語主義 3. フランス① パリ 4. フランス② 「ライシテ」 5. フィンランド① ジェンダー平等 6. フィンランド② 「ネウボラ」 7. ドイツ① 安楽死と生命の倫理 8. ドイツ② 環境問題とゲルマン文化 9. チェコ① 文化遺産と観光 10. チェコ② 過去と「記憶」 11. イタリア① 食文化とライフスタイル 12. イタリア② 歴史とブランド 13. プレゼンテーション 				

科目名	地域専門研究C(ヨーロッパ)	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	室屋 安孝		
<p>[成績評価方法] 課題 (40%)、発表 (30%)、レポート (30%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、発表、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] なし(レジュメ・資料を配布します)</p>			

S43320 [LGH3-019]

科目名	地域専門研究D(アメリカ)		前期	2 単位
サブタイトル			演習	
担当者	吉岡 志津世			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)			反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○		グループワーク	
プレゼンテーション	○		実習、フィールドワーク	
その他			実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 多様性と統合に向けたアメリカ多民族共生社会の文化的諸相を理解でき、併せて自国文化を相対して考えることができる。</p> <p>[授業概要] ドル紙幣に刻印された「多なる一」が象徴するように、アメリカ合衆国は独立以前以後を通じてその内に多様な人種・民族集団を抱え対立と衝突を繰り返しながらも、各集団の文化的個性を圧殺することなく曲りなりにでも一つの社会に共存してきている。そのアメリカ社会のダイナミクスを、縦軸にアメリカの成り立ちを、横軸にさまざまな文化現象を見ていく。</p> <p>受講生は分担して、各単元についてテキストを中心に周辺・関連事項を調べppt作成、プレゼンを行い、質疑を通して各文化現象を批判的に読み解く。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回、予習復習合わせて4時間程度。 ・日頃より、国際ニュース報道や日米関係について関心を持つ習慣をつけておくこと。 ・前回の授業内容を振り返り(Reflection paper)をmanabaに提出、次回授業の予習と重要用語・事項、人物等について下調べしておくこと。</p> <p>[授業計画] ＜植民地建設から独立・建国まで(-1799)＞ 1. ガイダンス / ポカホンタスの神話:白人を救うインディアン娘(ディスカッション) 2-3. ポカホンタスとディズニー表象:アメリカインディアンの悲劇(映像とディスカッション) 4. 「丘の上の町」:ピューリタンの使命と「われら人民」:合衆国の土台(プレゼン/ディスカッション) ＜西部開拓から産業国家へ(1800~1899)＞ 5. 『アンクル・トムの小屋』:大戦争を引き起こした本(プレゼン/ディスカッション) 6. 万国博覧会:「世界の八番目の不思議」(プレゼン/ディスカッション) ＜世界進出から超大国へ(1900~1969)＞ 7. デパート・ストア消費文化の殿堂と摩天楼:アメリカ文化の象徴(プレゼン/ディスカッション) 8-9. パラダイムシフト:公民権獲得運動と立ち上がるエスニック・マイノリティーズ(プレゼン/ディスカッション)+映像鑑賞) 10. ヒッピー:放埒な求道者たちとフォークソング:民衆・放浪・反体制(プレゼン/ディスカッション) ＜文化革命、そして宇宙へ(1970年~)＞ 11. ユートピアを求めて:性革命の70年代~(プレゼン/ディスカッション) 12. 宇宙探索:「なぜ月へ行く?」(プレゼン/ディスカッション) 13. まとめ:21世紀アメリカの行方(+ディスカッション)</p>				

科目名	地域専門研究D(アメリカ)	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉岡 志津世		
<p>[成績評価方法] まとめのレポート40%+ミニレポート20%+授業の取り組み(プレゼンテーション、ディスカッション) 40%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-1/日本と世界の動きを双方向に俯瞰できる基本的な歴史観と教養を備えている。 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-3/海外留学先の歴史・文化・宗教・社会構成などに深い関心と基本的な知識を持っている。 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-1/物事を複眼的・多面的に観察・理解しようとする思考力を備え、公正・批判的に判断できる基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-3/グローバルな時代だからこそローカルの重要性を認識できる視点を備えている。 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:レポート、授業の取り組み</p> <p>[教科書(ISBN)] Introduction to American Culture 著者名:亀井俊介監修杉山他編 出版社:南雲堂 (978-4-523-17910-8)</p>			

S43330 [LGH3-020]

科目名	入門会計論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	都築 洋一郎		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 会計学の基礎知識の習得を目的とします。具体的には、会計情報の利用目的を理解すること、初級程度の財務諸表分析をできるようにすることを目標とします。</p> <p>[授業概要] 近年、あらゆるビジネスシーンにおいて、会計の知識が求められるようになってきています。そこで、本講義では、会計学を初めて学ぶ学生に対して、会計学の基礎知識について解説を行います。具体的には、企業会計の目的や財務諸表の仕組みと見方を解説します。化粧品メーカーの資生堂やコーセーが公表している財務諸表を使って解説する予定です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業につき、予習・復習4時間程度。 前回の授業内容を復習し、わからないことがあれば質問すること。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションー会計学を学ぶ意義ー 2. 会計情報の役立ち 3. 損益計算書の仕組みと見方 4. 資生堂の損益計算書 5. 貸借対照表の仕組みと見方 6. 資生堂の貸借対照表 7. キャッシュ・フロー計算書の仕組みと見方 8. 収益性に関する分析①(P/Lを中心とした分析)ー資生堂とコーセーの比較ー 9. 収益性に関する分析②(P/LとB/Sを中心とした分析)ー資生堂とコーセーの比較ー 10. 成長性に関する分析ー資生堂とコーセーの比較ー 11. 安全性に関する分析ー資生堂とコーセーの比較ー 12. 財務諸表分析の練習問題 13. まとめ <p>※なお、小テストを数回行う予定です。また学生の理解度などによって、内容を変更する場合があります。</p>			

科目名	入門会計論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	都築 洋一郎		
<p>[成績評価方法] 授業参加態度(30%)、定期試験(70%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中およびmanabaにてフィードバックします。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] なし。プリントおよび企業の財務諸表を配布する。(なし。)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし(なし。)</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[授業概要] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the first term we will mainly focus on honing our writing skills. Through sentence combining exercises, we will learn how to increase the diversity of our writing by making compound and complex sentences from basic simple sentences. We will also learn how to brainstorm, structure and compose mini essays on a wide variety of topics. Practice makes perfect so expect to do a lot of writing this first term. Write, revise, then write again will make you a confident writer in English!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students must bring to class all their written assignments in a timely manner. Students must also be willing to work with a partner to assist them in proofreading, commentary, and other editing tasks. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Sentence combining exercise 1 2. Writing about yourself 3. Focus on simple sentence and basic paragraphs 4. Writing about your family 5. Free Time Activities 6. Writing about Healthy habits 7. Learning how to Give Instructions 8. Using Imperative forms 9. Expressing an Opinion 10. Learning about transitions 11. Describing a place 12. Writing a simple narrative about an experience 13. Summary 			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
<p>[成績評価方法] Class participation (40%), Homework (10%), Written work (including revisions) (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] Ready to Write with Essential Online Resources Book 2, Perfecting Paragraphs Fifth Edition 著者名:Karen Blanchard and Christine Root 出版社:Pearson Education (9780130000000)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[授業概要] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the first term we will mainly focus on honing our writing skills. Through sentence combining exercises, we will learn how to increase the diversity of our writing by making compound and complex sentences from basic simple sentences. We will also learn how to brainstorm, structure and compose mini essays on a wide variety of topics. Practice makes perfect so expect to do a lot of writing this first term. Write, revise, then write again will make you a confident writer in English!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students must bring to class all their written assignments in a timely manner. Students must also be willing to work with a partner to assist them in proofreading, commentary, and other editing tasks. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Sentence combining exercise 1 2. Writing about yourself 3. Focus on simple sentence and basic paragraphs 4. Writing about your family 5. Free Time Activities 6. Writing about Healthy habits 7. Learning how to Give Instructions 8. Using Imperative forms 9. Expressing an Opinion 10. Learning about transitions 11. Describing a place 12. Writing a simple narrative about an experience 13. Summary 			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[成績評価方法] Class participation (40%), Homework (10%), Written work (including revisions) (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] Ready to Write with Essential Online Resources Book 2, Perfecting Paragraphs Fifth Edition 著者名:Karen Blanchard and Christine Root 出版社:Pearson Education (9780130000000)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[授業概要] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the first term we will mainly focus on honing our writing skills. Through sentence combining exercises, we will learn how to increase the diversity of our writing by making compound and complex sentences from basic simple sentences. We will also learn how to brainstorm, structure and compose mini essays on a wide variety of topics. Practice makes perfect so expect to do a lot of writing this first term. Write, revise, then write again will make you a confident writer in English!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students must bring to class all their written assignments in a timely manner. Students must also be willing to work with a partner to assist them in proofreading, commentary, and other editing tasks. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Sentence combining exercise 1 2. Writing about yourself 3. Focus on simple sentence and basic paragraphs 4. Writing about your family 5. Free Time Activities 6. Writing about Healthy habits 7. Learning how to Give Instructions 8. Using Imperative forms 9. Expressing an Opinion 10. Learning about transitions 11. Describing a place 12. Writing a simple narrative about an experience 13. Summary 			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
<p>[成績評価方法] Class participation (40%), Homework (10%), Written work (including revisions) (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] Ready to Write with Essential Online Resources Book 2, Perfecting Paragraphs Fifth Edition 著者名:Karen Blanchard and Christine Root 出版社:Pearson Education (9780130000000)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[授業概要] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the first term we will mainly focus on honing our writing skills. Through sentence combining exercises, we will learn how to increase the diversity of our writing by making compound and complex sentences from basic simple sentences. We will also learn how to brainstorm, structure and compose mini essays on a wide variety of topics. Practice makes perfect so expect to do a lot of writing this first term. Write, revise, then write again will make you a confident writer in English!</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students must bring to class all their written assignments in a timely manner. Students must also be willing to work with a partner to assist them in proofreading, commentary, and other editing tasks. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Sentence combining exercise 1 2. Writing about yourself 3. Focus on simple sentence and basic paragraphs 4. Writing about your family 5. Free Time Activities 6. Writing about Healthy habits 7. Learning how to Give Instructions 8. Using Imperative forms 9. Expressing an Opinion 10. Learning about transitions 11. Describing a place 12. Writing a simple narrative about an experience 13. Summary 			

科目名	Public Speaking & Report Writing I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[成績評価方法] Class participation (40%), Homework (10%), Written work (including revisions) (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書 (ISBN)] Ready to Write with Essential Online Resources Book 2, Perfecting Paragraphs Fifth Edition 著者名:Karen Blanchard and Christine Root 出版社:Pearson Education (9780130000000)</p> <p>[参考書 (ISBN)] なし</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	E. ラポーズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[授業概要] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the second term we will mainly focus on public speaking and presentation skills in English. Using a step by step approach, we will compare and contrast the differences and similarities in giving a presentation in English vs. giving a presentation in Japanese. As the course progresses, students will be able to construct a solid and flowing presentation in both a simple poster style presentation in addition to a technologically advanced one.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students must prepare in advance of class and be ready to work on their assignments. Preparation includes doing the necessary footwork, research, and data gathering prior to the class. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画] 1. Introduction to Public Speaking and Oral Presentation 2. Part 1 The Physical Message 3. Posture and Eye Contact 4. Gestures 5. Voice Inflection and Intonation 6. Part 2 The Visual Message 7. Effective Use of Visual Materials 8. Explaining Visuals 9. Part 3 The Story Message 10. Developing a Good Introduction 11. Working on the Main Body of the presentation 12. Wrapping Up – Focus on the Conclusion 13. Summary</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	E. ラポータ		
<p>[成績評価方法] Class Participation 40% Oral Presentations 60%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] English Presentations Today 著者名:Christopher Pond 出版社:南雲堂 (978-4-523-17864-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 出版社:なし</p>			

S40090 [LGH2-002]

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[授業概要] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the second term we will mainly focus on public speaking and presentation skills in English. Using a step by step approach, we will compare and contrast the differences and similarities in giving a presentation in English vs. giving a presentation in Japanese. As the course progresses, students will be able to construct a solid and flowing presentation in both a simple poster style presentation in addition to a technologically advanced one.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students must prepare in advance of class and be ready to work on their assignments. Preparation includes doing the necessary footwork, research, and data gathering prior to the class. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画] 1. Introduction to Public Speaking and Oral Presentation 2. Part 1 The Physical Message 3. Posture and Eye Contact 4. Gestures 5. Voice Inflection and Intonation 6. Part 2 The Visual Message 7. Effective Use of Visual Materials 8. Explaining Visuals 9. Part 3 The Story Message 10. Developing a Good Introduction 11. Working on the Main Body of the presentation 12. Wrapping Up – Focus on the Conclusion 13. Summary</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[成績評価方法] Class Participation 40% Oral Presentations 60%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Speaking of Speech (premium edition)</p> <p>注意点:Be sure to buy the PREMIUM EDITION by using the ISBN number. There are other editions in print but they are older versions. 著者名:Charles LeBeau 出版社:National Geographic Learning (978-4-86312-385-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 出版社:なし</p>			

S40091 [LGH2-002]

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	E. ラポーズ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[授業概要] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the second term we will mainly focus on public speaking and presentation skills in English. Using a step by step approach, we will compare and contrast the differences and similarities in giving a presentation in English vs. giving a presentation in Japanese. As the course progresses, students will be able to construct a solid and flowing presentation in both a simple poster style presentation in addition to a technologically advanced one.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students must prepare in advance of class and be ready to work on their assignments. Preparation includes doing the necessary footwork, research, and data gathering prior to the class. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画] 1. Introduction to Public Speaking and Oral Presentation 2. Part 1 The Physical Message 3. Posture and Eye Contact 4. Gestures 5. Voice Inflection and Intonation 6. Part 2 The Visual Message 7. Effective Use of Visual Materials 8. Explaining Visuals 9. Part 3 The Story Message 10. Developing a Good Introduction 11. Working on the Main Body of the presentation 12. Wrapping Up – Focus on the Conclusion 13. Summary</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	E. ラポータ		
<p>[成績評価方法] Class Participation 40% Oral Presentations 60%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] English Presentations Today 著者名:Christopher Pond 出版社:南雲堂 (978-4-523-17864-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 出版社:なし</p>			

S40092 [LGH2-002]

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] To develop confidence and skill in public speaking.</p> <p>[授業概要] In this one year course we will be learning and practicing good writing and presentational skills in English.</p> <p>In the second term we will mainly focus on public speaking and presentation skills in English. Using a step by step approach, we will compare and contrast the differences and similarities in giving a presentation in English vs. giving a presentation in Japanese. As the course progresses, students will be able to construct a solid and flowing presentation in both a simple poster style presentation in addition to a technologically advanced one.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Students must prepare in advance of class and be ready to work on their assignments. Preparation includes doing the necessary footwork, research, and data gathering prior to the class. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画] 1. Introduction to Public Speaking and Oral Presentation 2. Part 1 The Physical Message 3. Posture and Eye Contact 4. Gestures 5. Voice Inflection and Intonation 6. Part 2 The Visual Message 7. Effective Use of Visual Materials 8. Explaining Visuals 9. Part 3 The Story Message 10. Developing a Good Introduction 11. Working on the Main Body of the presentation 12. Wrapping Up – Focus on the Conclusion 13. Summary</p>			

科目名	Public Speaking & Report Writing II	後期	1 単位
サブタイトル	Saying what you mean and meaning what you say.	演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[成績評価方法] Class Participation 40% Oral Presentations 60%</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-1-1/体験から学び、主体的・自立的に問題を発見し解決する基本的な力を持っている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 主体性/自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Speaking of Speech (premium edition)</p> <p>注意点: Be sure to buy the PREMIUM EDITION by using the ISBN number. There are other editions in print but they are older versions. 著者名: Charles LeBeau 出版社: National Geographic Learning (978-4-86312-385-4)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし 出版社: なし</p>			

S40093 [LGH2-002]

科目名	ビジネス英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]

ビジネスで必要とされる基本的な知識や英語表現を学びながら、ビジネスに対する理解を深め、英語で対応できる基礎的な力を養う。

[授業概要]

テキストを基に、初対面の挨拶や製品の紹介など実際の仕事現場を再現した具体的なやり取りを通じて、リスニング・スピーキングのスキルを訓練する。また、関連記事を読み解き、emailを作成することでビジネスに必要な基本知識や語彙力を身につけ、リーディング・ライティングスキルも強化する。特にemailの作成では、相手との関係性によりformal, semi-formal, casualの3種類のタイプがあることを知り、それらを書き分けることができるように練習する。ダイアログの練習や予備知識・専門知識の確認などの場面では、ペアやグループワークを多用し、受講生間のコミュニケーション能力を高める。さらに、レポート課題や口頭発表によって知識の定着や英語力の強化、プレゼンテーション能力の育成をはかる。授業内外での学びを通じてグローバルな視野を広げ、異文化・風習に対する思考を深めると同時に、自国の文化や風習を見つめ直していく。英語を使用する職場での就職希望者にはもちろん、そうでない者も、将来身近にいる外国人と直接会話をしたり、電話や電子媒体でやり取りをしたりする際にも役立つ内容とする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

- ・不定期の小レポート作成
 - ・学期に一度の口頭発表の準備(練習)
 - ・日頃から授業に関係するニュースに関心を持ち、「自主的、積極的な学び」を行う
- 以上をふまえ、各回予習復習合わせて2時間程度を目安とする

[授業計画]

1. Orientation, Unit 1: Introducing Yourself
2. Unit 1: Introducing Yourself
3. Unit 2: Introducing Companies
4. Unit 2: Introducing Companies
5. Unit 3: Explaining Your Role
6. Unit 3: Explaining Your Role
7. Unit 4: Introducing Products
8. Unit 4: Introducing Products
9. Unit 5: Checking Information
10. Unit 5: Checking Information
11. Unit 6: Giving your Opinion
12. Unit 6: Giving your Opinion
13. まとめ

科目名	ビジネス英語 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
<p>[成績評価方法] 筆記試験(40%)、口頭発表(20%)、小レポート(20%)、小テストなどの提出物(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験終了後、解答をmanabaに掲載する ・口頭発表の点数的な評価は、授業内で説明する評価基準にしたがって講師が行う ・小レポートはmanabaにて提出後、受講生同士相互閲覧可能とし、後日授業内またmanabaにて講評を行う <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Go Global グローバル時代のビジネスコミュニケーション 著者名:Garry Pearson, Graham Skerritt, 吉塚 弘 出版社:成美堂 (978-4-7919-7184-8)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	ビジネス英語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] ビジネスで必要とされる基本的な知識や英語表現を学びながら、ビジネスに対する理解を深め、英語で対応できる基礎的な力を養う。</p> <p>[授業概要] 前期に引き続き、テキストを基に、ミーティングの取り付け方や行先案内の仕方など実際の仕事現場を再現した具体的なやり取りを通じて、リスニング・スピーキングのスキルを訓練する。また、関連記事を読み解き、emailを作成することでビジネスに必要な基本知識や語彙力を身につけ、リーディング・ライティングスキルも強化する。特にemailの作成では、相手との関係性によりformal, semi-formal, casualの3種類のタイプがあることを知り、それらを書き分けることができるように練習を重ねる。ダイアログの練習や予備知識・専門知識の確認などの場面では、ペアやグループワークを多用し、受講生間のコミュニケーション能力を高める。さらに、レポート課題や口頭発表によって知識の定着や英語力の強化、プレゼンテーション能力の育成をはかる。授業内外での学びを通じてグローバルな視野を広げ、異文化・風習に対する思考を深めると同時に、自国の文化や風習を見つめ直していく。英語を使用する職場での就職希望者にはもちろん、そうでない者も、将来身近にいる外国人と直接会話をしたり、電話や電子媒体でやり取りをしたりする際にも役立つ内容とする。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・不定期の小レポート作成 ・学期に一度の口頭発表の準備(練習) ・日頃から授業に関係するニュースに関心を持ち、「自主的、積極的な学び」を行う 以上をふまえ、各回予習復習合わせて2時間程度を目安とする</p> <p>[授業計画] 1. Orientation, Unit 7: Making Requests 2. Unit 7: Making Requests 3. Unit 8: Asking Permission 4. Unit 8: Asking Permission 5. Unit 9: Making Invitations 6. Unit 9: Making Invitations 7. Unit 10: Making Appointments 8. Unit 10: Making Appointments 9. Unit 11: Cancelling and Rescheduling 10. Unit 11: Cancelling and Rescheduling 11. Unit 12: Describing Locations 12. Unit 12: Describing Locations 13. まとめ</p>			

科目名	ビジネス英語Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤 由美		
<p>[成績評価方法] 筆記試験(40%)、口頭発表(20%)、小レポート(20%)小テストなどの提出物(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験終了後、解答をmanabaに掲載する ・口頭発表の点数的な評価は、授業内で説明する評価基準にしたがって講師が行う ・小レポートはmanabaにて提出後、受講生同士相互閲覧可能とし、後日授業内またmanabaにて講評を行う <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際2-2/自らの主張や意見を口頭あるいは文書によって論理的・説得的に伝える力を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] Go Global グローバル時代のビジネスコミュニケーション 著者名:Garry Pearson, Graham Skerritt, 吉塚 弘 出版社:成美堂 (978-4-7919-7184-8)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	ビジネス情報処理演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	河野 幸		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] Excelを使った実習を通してデータの分析と活用方法を習得することを目標とする。</p> <p>[授業概要] Excelのピボットテーブルやグラフを利用したデータ傾向の把握、分析ツールを利用した仮説検定など、データ分析の手順を学習します。データ分析に必要な、Excelの関数、グラフ、ピボットテーブル、分析ツールの使いかたも学びます。関数やグラフ、ピボットテーブル、分析ツールを使ったデータの視覚化、現状や傾向の把握、分析の手順や結果の読み取り方などを学び、ビジネスで活用するために必要な知識やスキルの習得を目指します。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] スムーズにタイピングが行えるよう日頃からタイピングソフトなどで練習しておくこと。また、毎回の授業の内容をしっかりと復習しておくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。</p> <p>[授業計画] 第1回 オリエンテーション・データ分析をはじめる前に 第2回 データの傾向を把握することからはじめよう① 第3回 データの傾向を把握することからはじめよう② 第4回 データを視覚化しよう① 第5回 データを視覚化しよう② 第6回 仮説を立てて検証しよう① 第7回 仮説を立てて検証しよう② 第8回 関係性を分析してビジネスヒントを見つけよう① 第9回 関係性を分析してビジネスヒントを見つけよう② 第10回 シミュレーションして最適な解を探ろう① 第11回 シミュレーションして最適な解を探ろう② 第12回 まとめ① 第13回 まとめ②</p>			

科目名	ビジネス情報処理演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	河野 幸		
<p>[成績評価方法] 試験(50%)・授業中の課題(30%)・授業態度(20%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による 教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_:問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] よくわかる Excelではじめるデータ分析 関数・グラフ・ピボットテーブルから分析ツールまで Microsoft Excel 2019/2016対応 著者名:富士通エフ・オー・エム 出版社:FOM出版 (978-4-938927-41-7)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	Follow-up English I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Achieve a greater degree of skill in English.</p> <p>[授業概要] This course is a tutorial style class for more extensive practice and individual support for the work covered in Intensive English 1A and 1B.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction/Essential English 2. Support and additional practice for Unit 1 3. Support and additional practice for Unit 1 4. Support and additional practice for Unit 2 5. Support and additional practice for Unit 2 6. Support and additional practice for Unit 3 7. Support and additional practice for Unit 3 8. Mid term assessment/presentation 9. Support and additional practice for Unit 4 10. Support and additional practice for Unit 4 11. Support and additional practice for Unit 5 12. Support and additional practice for Unit 5 13. Summary 			

科目名	Follow-up English I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[成績評価方法] Assignments, class work, quizzes, reports, presentations. (50%) Participation and effort in class (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] E. ラポーザ: プリント配布 No additional texts are required.</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	Follow-up English I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Achieve a greater degree of skill in English.</p> <p>[授業概要] This course is a tutorial style class for more extensive practice and individual support for the work covered in Intensive English 1A and 1B.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction/Essential English 2. Support and additional practice for Unit 1 3. Support and additional practice for Unit 1 4. Support and additional practice for Unit 2 5. Support and additional practice for Unit 2 6. Support and additional practice for Unit 3 7. Support and additional practice for Unit 3 8. Mid term assessment/presentation 9. Support and additional practice for Unit 4 10. Support and additional practice for Unit 4 11. Support and additional practice for Unit 5 12. Support and additional practice for Unit 5 13. Summary 			

科目名	Follow-up English I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[成績評価方法] Assignments, class work, quizzes, reports, presentations. (50%) Participation and effort in class (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布No additional texts are required.</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	Follow-up English II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポータ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Achieve a greater degree of skill in English</p> <p>[授業概要] This course is a tutorial style class for more extensive practice and individual support for the work covered in Intensive English 1A and 1B.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画] 1. Introduction/Essential English 2. Support and additional practice for Unit 7 3. Support and additional practice for Unit 7 4. Support and additional practice for Unit 8 5. Support and additional practice for Unit 8 6. Support and additional practice for Unit 9 7. Support and additional practice for Unit 9 8. Mid term assessment/presentation 9. Support and additional practice for Unit 10 10. Support and additional practice for Unit 10 11. Support and additional practice for Unit 11 12. Support and additional practice for Unit 11 13. Summary</p>			

科目名	Follow-up English II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	E. ラポーザ		
<p>[成績評価方法] Assignments, class work, quizzes, reports, presentations. (50%) Participation and effort in class (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] E. ラポーザ: プリント配布 No additional texts are required.</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	Follow-up English II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] Achieve a greater degree of skill in English</p> <p>[授業概要] This course is a tutorial style class for more extensive practice and individual support for the work covered in Intensive English 1A and 1B.</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] Review the previous lesson. ※各回の授業について、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction/Essential English 2. Support and additional practice for Unit 7 3. Support and additional practice for Unit 7 4. Support and additional practice for Unit 8 5. Support and additional practice for Unit 8 6. Support and additional practice for Unit 9 7. Support and additional practice for Unit 9 8. Mid term assessment/presentation 9. Support and additional practice for Unit 10 10. Support and additional practice for Unit 10 11. Support and additional practice for Unit 11 12. Support and additional practice for Unit 11 13. Summary 			

科目名	Follow-up English II	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	ブライアン マレー		
<p>[成績評価方法] Assignments, class work, quizzes, reports, presentations. (50%) Participation and effort in class (50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中に指示する</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際1-2-1/国内外で意見交換や発表ができる基礎的な英語運用力を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] プリント配布No additional texts are required.</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

科目名	貿易・投資論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標] 貿易・投資に関する基礎的な理論と実務の理解。</p> <p>[授業概要] 情報通信や物流機能の進展に伴い、国境を越えたモノ・サービスの行き来が一層活発になってきている。一方、自由貿易協定やEUといった地域統合の拡大など貿易・投資に関わる各国間の取り組みも多様化している。これら経済のグローバル化に伴う貿易・投資の動きについて、貿易の実務も含めて講義する。講義にあたっては、統計データなどの情報分析にも取り組む。もって創造性の基礎となる国際教養の涵養を図る。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要。日頃から授業に関係するニュース等に関心を持つこと。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 貿易投資論の基礎概念 3. 国際収支からみた貿易・投資の変遷 4. 国際貿易のルールと貿易交渉(GATT, WTO) 5. 地域貿易協定(FTA, EU) 6. 多国籍企業と直接投資 7. 発展途上国の貿易政策 8. 産業間貿易と産業内貿易 9. 労働の国際移動と外国人の受け入れ問題 10. 貿易の流れと基礎知識① 輸出 11. 貿易の流れと基礎知識② 輸入 12. 貿易の流れと基礎知識③ 貿易決済と外国為替相場 13. 総括 <p>(学習の効果を高めるために、履修者の理解度に応じて授業計画を調整することも可能)</p>			

科目名	貿易・投資論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	チャン ティフェ		
<p>[成績評価方法] 小課題(50%)、期末試験(50%)により評価する。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート課題に関する解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-1-2/国際関係分野における幅広い知識と教養を持ち、グローバルな諸課題への理解と深い関心を持っている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際1-3-2/多様な社会経済活動・経営管理に関する基礎的な知識やビジネス情報処理の基本的な技法を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-1/世界の多様性や他者の多様な価値観を理解し尊重できる素養を備えている。 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容.:計画・実行力/課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法:課題、期末試験</p> <p>[教科書(ISBN)] プリントを配布する</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜指示する</p>			

科目名	ローカル研究	前期	2 単位
サブタイトル	グローバルとローカルの接点ーフェア・トレードを事例として	講義	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 持続可能な開発目標2030(SDGs)11 持続可能な住みよいまちや地域を軸に、地域で実施されているフェア・トレードやエシカルな行動を理解する。</p> <p>[授業概要] グローバルな課題の解決には、ローカルな関わりが大きく影響してきます。特に、今回のパンデミックの経験で明らかになったように、グローバルレベルで政策を方針を決定してはいるものの、私たちの身近なローカルレベルでの対策が私たちの生活に影響を及ぼしてくる。 本授業では、グローバルな課題のひとつであるフェア・トレード推進活動について、欧米のフェア・トレード・タウンの取り組みについて理解を深める。ローカルレベルのアクター(都道府県、自治体、民間企業、NGO)の連携について講義した後、教員と履修学生と一緒に調査し、実際に、自治体、民間企業、NGO等を訪問し調査する。訪問日は、土曜日となる可能性もあることを申し添える。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] フェア・トレード・タウン及び欧米の事例について調べる。兵庫県やふるさとの地方自治体のホームページを見て地域協働に関する取り組みを調べるとともに、テレビや新聞などで紹介される地域のニュースを見ること。 ※各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画] 1. 持続可能なまちとはどのようなところか。 2. 世界におけるローカルなエシカル(ethical)活動の動向ー事例研究 3. 都道府県におけるエシカル(ethical)活動 4. 自治体におけるエシカル(ethical)活動 5. 市民主導のエシカル(ethical)活動 6. フェア・トレード・タウンとは何か。 7. 日本のフェア・トレードタウン 8. 神戸におけるフェア・トレードに関わるNGO (学外講師) 9. フェア・トレードと民間企業 (学外講師) 10. フェア・トレードをめぐる協働事例 11. 市民主導のフェア・トレード 12. 大学とフェア・トレード活動 13. 学生によるプレゼンテーション * フィールドワークに外出することがある。</p>			

科目名	ローカル研究	前期	2 単位
サブタイトル	グローバルとローカルの接点ーフェア・トレードを事例として	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] 授業への積極性(30%)、発表のための調査活動(30%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート課題に関する解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的に関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 講義レジュメ等を適宜利用</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜指示する</p>			

科目名	ローカル研究	前期	2 単位
サブタイトル	グローバルとローカルの接点ーフェア・トレードを事例として	講義	
担当者	野口 和美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	
<p>[到達目標] 持続可能な開発目標2030(SDGs)11 持続可能な住みよいまちや地域を軸に、地域で実施されているフェア・トレードやエシカルな行動を理解する。</p> <p>[授業概要] グローバルな課題の解決には、ローカルな関わりが大きく影響してきます。特に、今回のパンデミックの経験で明らかになったように、グローバルレベルで政策を方針を決定してはいるものの、私たちの身近なローカルレベルでの対策が私たちの生活に影響を及ぼしてくる。 本授業では、グローバルな課題のひとつであるフェア・トレード推進活動について、欧米のフェア・トレード・タウンの取り組みについて理解を深める。ローカルレベルのアクター(都道府県、自治体、民間企業、NGO)の連携について講義した後、教員と履修学生と一緒に調査し、実際に、自治体、民間企業、NGO等を訪問し調査する。訪問日は、土曜日となる可能性もあることを申し添える。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] フェア・トレード・タウン及び欧米の事例について調べる。兵庫県やふるさとの地方自治体のホームページを見て地域協働に関する取り組みを調べるとともに、テレビや新聞などで紹介される地域のニュースを見ること。 ※各回の授業について、予習復習合わせて4時間程度の学習が必要です</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持続可能なまちとはどのようなところか。 2. 世界におけるローカルなエシカル(ethical)活動の動向ー事例研究 3. 都道府県におけるエシカル(ethical)活動 4. 自治体におけるエシカル(ethical)活動 5. 市民主導のエシカル(ethical)活動 6. フェア・トレード・タウンとは何か。 7. 日本のフェア・トレードタウン 8. 神戸におけるフェア・トレードに関わるNGO (学外講師) 9. フェア・トレードと民間企業 (学外講師) 10. フェア・トレードをめぐる協働事例 11. 市民主導のフェア・トレード 12. 大学とフェア・トレード活動 13. 学生によるプレゼンテーション <p>*フィールドワークに外出することがある。</p>			

科目名	ローカル研究	前期	2 単位
サブタイトル	グローバルとローカルの接点ーフェア・トレードを事例として	講義	
担当者	野口 和美		
<p>[成績評価方法] 授業への積極性(30%)、発表のための調査活動(30%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] レポート課題に関する解説を行う。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-1-2/グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容:国際3-2-2/地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:自己理解/自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:協働性/立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 講義レジュメ等を適宜利用</p> <p>[参考書(ISBN)] 適宜指示する</p>			